足立区

『教育・保育施設等の整備に関するニーズ調査』

『学童保育室の利用に関するニーズ調査』

調査結果報告書

平成 30 年 3 月

足立区

目　次

Ⅰ　調査の概要 1

1　調査の目的 1
2　調査対象 1
3　調査種別 1
4　調査期間 1
5　調査方法 1
6　回収状況 1
7　調査結果の表示方法 2
8　ブロック区分図及びブロック地区町丁目対応表 2

Ⅱ　調査結果 3

1　就学前児童（０歳～５歳）調査 3
（１）居住地区について 3
（２）子どもと家族の状況について 4
（３）保護者の就労状況について 6
（４）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について 28
（５）職場の両立支援制度について 51
2　就学後児童（１年生～６年生）調査 63
（１）居住地区について 63
（２）子どもと家族の状況について 64
（３）保護者の就労状況について 68
（４）放課後の過ごし方について 90

Ⅲ　参考資料 113

1　就学前児童（０歳～５歳）調査票 113
2　就学後児童（１年生～６年生）調査票 120

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

平成２７年３月に策定した『足立区子ども・子育て支援事業計画』の必須記載事項（教育・保育施設等の量の見込みと確保方策）について、中間年の見直しを検討するにあたり、子育て世帯の保護者の就労状況や教育・保育施設等の利用に関する意向、その他の事情を把握するために実施したものです。

2　調査対象

足立区に在住する０歳から１１歳の子どもを持つ保護者の中から、９，９５０人を住民基本台帳から無作為で抽出しました。

3　調査種別

①就学前児童（０歳～５歳）の保護者を対象とした『教育・保育施設等の整備に関するニーズ調査』と②就学後児童（小学１～６年生）の保護者を対象とした『学童保育室の利用に関するニーズ調査』の２つの調査を実施しました。

※平成２５年度にも同様に２つの調査を実施しましたが、そのときの就学後児童の対象は小学１～３年生となっています。

4　調査期間

平成２９年１１月１０日（金）から１１月２７日（月）まで。

5　調査方法

郵送による配布・回収。

6　回収状況

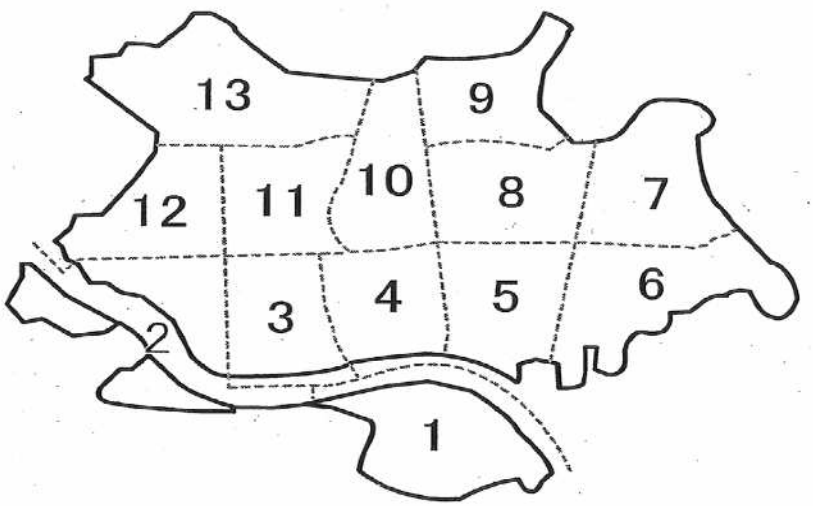
	配　布　数	有効回答数	有効回答率
就学前児童（０～５歳）の保護者	６,９３０通	３,６５５通	５２.７％
就学後児童（１～６年生）の保護者	３,０２０通	１,４１１通	４６.７％
合計	９,９５０通	５,０６６通	５０.９％

7　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを　で網かけをしています（無回答を除く）。

8　ブロック区分図及びブロック地区町丁目対応表

・Ｐ３とＰ６３の居住地区割は、以下のとおりです。



ブロック名	地区町丁目名
第1ブロック	千住関屋町、千住隅町、千住東一～二丁目、千住旭町、柳原一～二丁目、日の出町、千住橋戸町、千住河原町、千住仲町、千住緑町一～三丁目、千住宮元町、千住中居町、千住龍田町、千住桜木一～二丁目、千住一～五丁目、千住大川町、千住寿町、千住元町、千住柳町
第2ブロック	小台一～二丁目、宮城一～二丁目、新田一～三丁目、堀浜一丁目、堀之内一～二丁目、椿一丁目、江北一～五丁目、扇二丁目
第3ブロック	西新井本町一～五丁目、扇一丁目、扇三丁目、梅島一～二丁目、本木一～二丁目、本木東町、本木西町、本木南町、本木北町、西新井栄町三丁目
第4ブロック	西新井栄町一～二丁目、関原一～三丁目、梅田一～八丁目、梅島一～三丁目
第5ブロック	足立一～四丁目、西綾瀬一～四丁目、中央本町一～五丁目、弘道一～二丁目、古井一～六丁目
第6ブロック	加平一丁目、綾瀬一～七丁目、東綾瀬一～三丁目、谷中一～二丁目、東和一～五丁目、中川一～五丁目
第7ブロック	大谷田一～五丁目、佐野一～二丁目、辰沼一～二丁目、六木一～四丁目、神明一～三丁目、神明南一～二丁目、北加平町、加平二～三丁目、谷中三～五丁目
第8ブロック	西加平一～二丁目、六町一～四丁目、一ツ家一～四丁目、保塚町、東六月町、平野一～三丁目、保木間一～二丁目、南花畑一～三丁目、東保木間一～二丁目
第9ブロック	花畑一～八丁目、南花畑四～五丁目、保木間三～五丁目
第10ブロック	西保木間一～四丁目、竹の塚一～七丁目、六月一～三丁目、鳥根一～四丁目、栗原一～二丁目
第11ブロック	西新井一～七丁目、谷在家一丁目、西伊興町、栗原三～四丁目、西伊興一～二丁目、伊興一～三丁目、西竹の塚一～二丁目
第12ブロック	鹿浜二～八丁目、椿二丁目、江北六～七丁目、谷在家二～三丁目、加賀一～二丁目、皿沼一～三丁目
第13ブロック	舎人一～六丁目、入谷一～九丁目、古千谷一～二丁目、古千谷本町一～四丁目、入谷町、伊興四～五丁目、西伊興町、西伊興三～四丁目、東伊興一～四丁目、舎人町、舎人公園、伊興本町一～二丁目

（注）本調査では番地まで質問していないので、保木間二丁目は「第８ブロック」、古千谷一丁目は「第１３ブロック」、西竹の塚二丁目は「第１１ブロック」とした。

Ⅱ　調査結果

1　就学前児童（０歳～５歳）調査

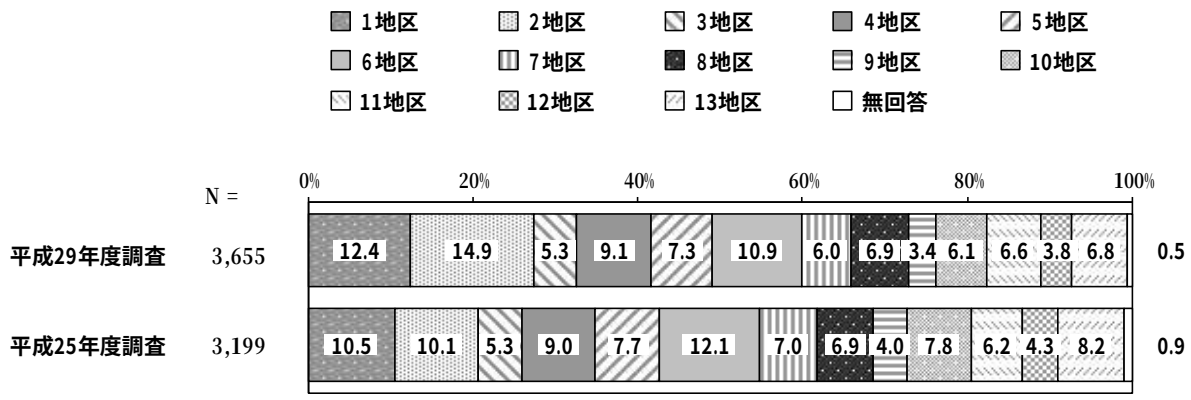
（1）居住地区について

問１．お住まいの地区をご記入ください。

「２地区」の割合が 14.9%と最も高く、次いで「１地区」の割合が 12.4%、「６地区」の割合が 10.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【居住地区】



（２）子どもと家族の状況について

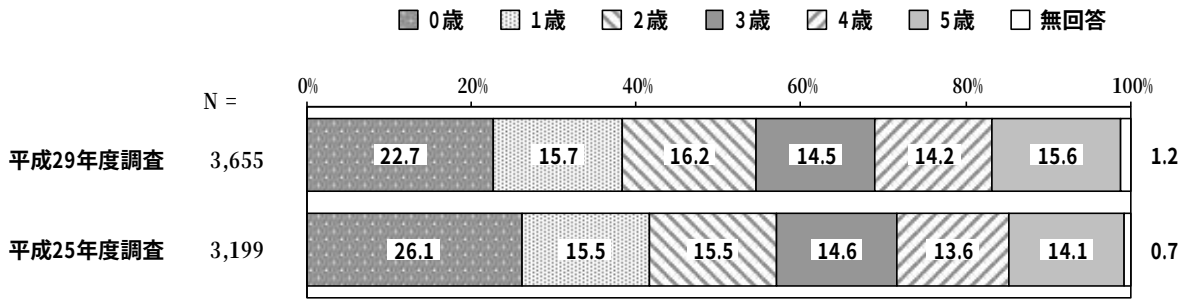
① お子さんの年齢

問２．お子さんの生年月をご記入ください。

「０歳」の割合が 22.7%と最も高く、次いで「２歳」の割合が 16.2%、「１歳」の割合が 15.7%となっています。「０歳」の回答割合が若干高くはなっていますが、ほぼ均等の回答比率となっています。０歳児は平成２８年度生まれに加えて、平成２９年度生まれのうち４～９月生まれの新生児も調査対象としたため、回答比率が若干高くなっているものと思われます。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【児童の年齢（生年月）】



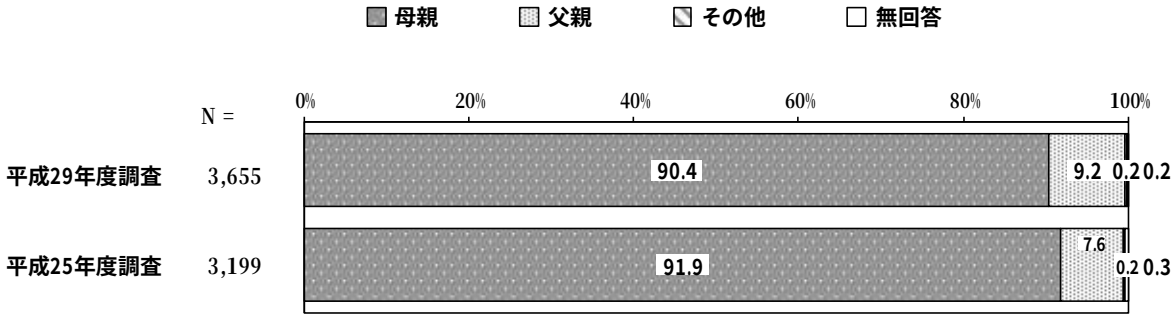
② 調査票の記入者

問３．この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください（◯は１つだけ）。

「母親」の割合が 90.4%、「父親」の割合が 9.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【調査票の記入者】



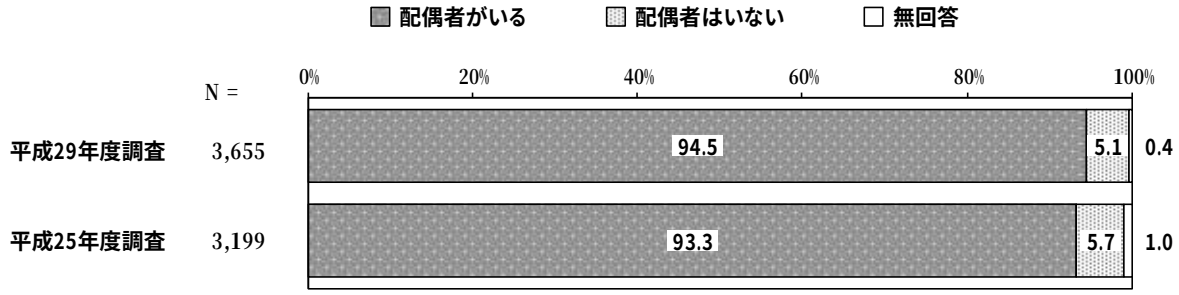
③ 調査票の記入者の配偶者の有無

問４．この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか（◯は１つだけ）。

「配偶者がいる」の割合が 94.5%、「配偶者はいない」の割合が 5.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【記入者の配偶者】



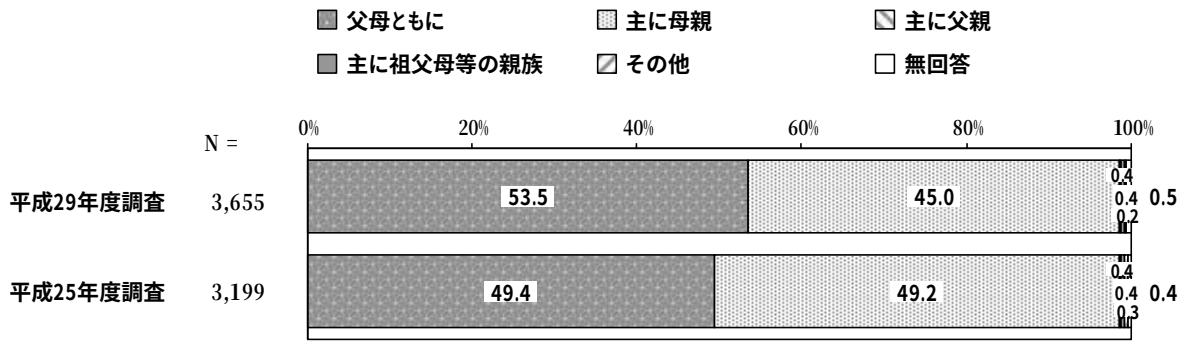
④ 子育てを主に行っている方

問５．お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください（◯は１つだけ）。

「父母ともに」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 45.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【子育てを主に行っている方】



（３）保護者の就労状況について

① 母親

ア 母親の就労状況と就労形態

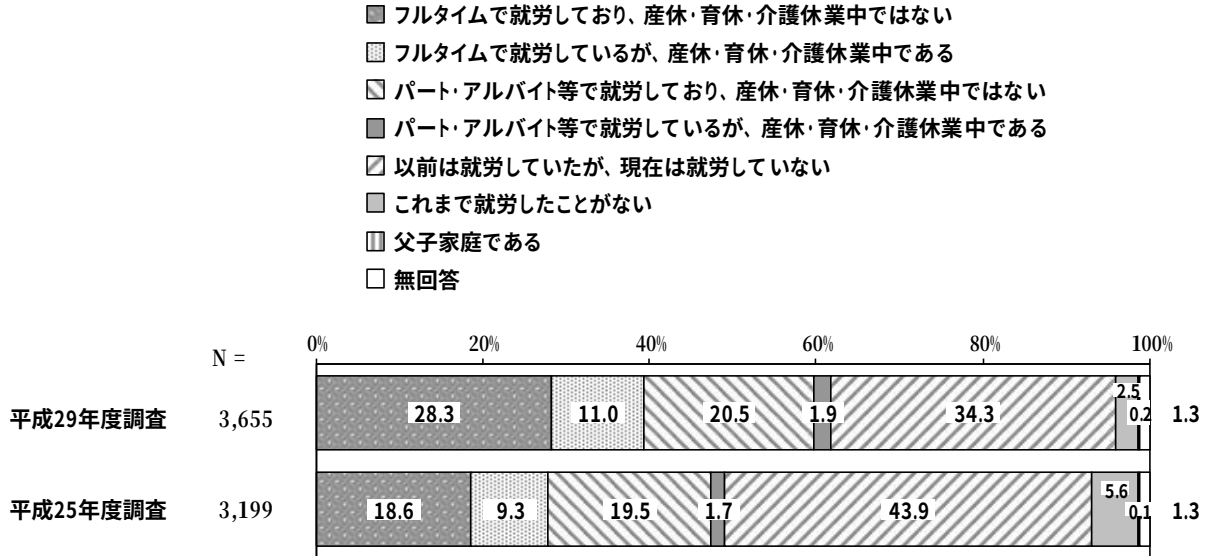
問６．お母さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（◯は１つだけ）。

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 28.3%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 20.5%となっています。

フルタイムで就労中（休業中を含む）が 39.3%、パート・アルバイト等で就労中（休業中を含む）が 22.4%であり、合わせると 61.7%が何らかの形で就労中と回答しています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。

【母親の就労状況と就労形態】



イ フルタイムの母親の就労状況

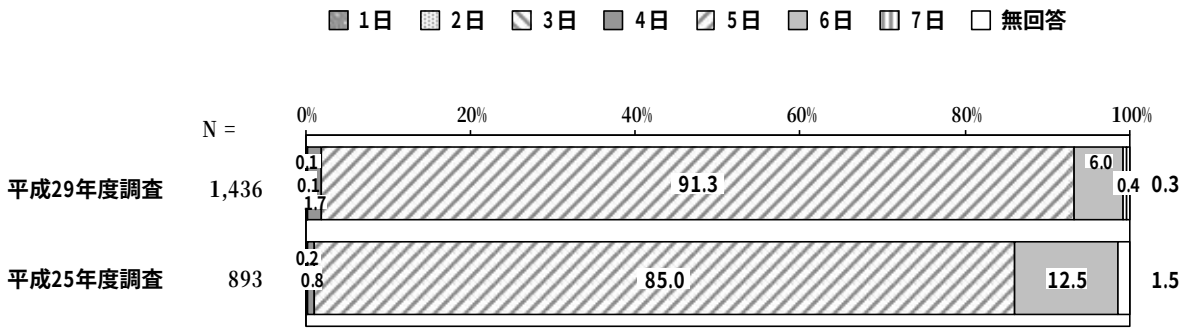
問６－1．お母さまの「（ａ）就労日数」「（ｂ）就労時間（通勤時間・残業時間を含む）」「（ｃ）出勤時刻」「（ｄ）「帰宅時刻」についてお答えください（かっこ内に数字で）。

（ａ）１週あたり就労日数

「５日」の割合が 91.3%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。一方、「６日」の割合が減少しています。

【フルタイムの母親の就労日数（１週あたり）】

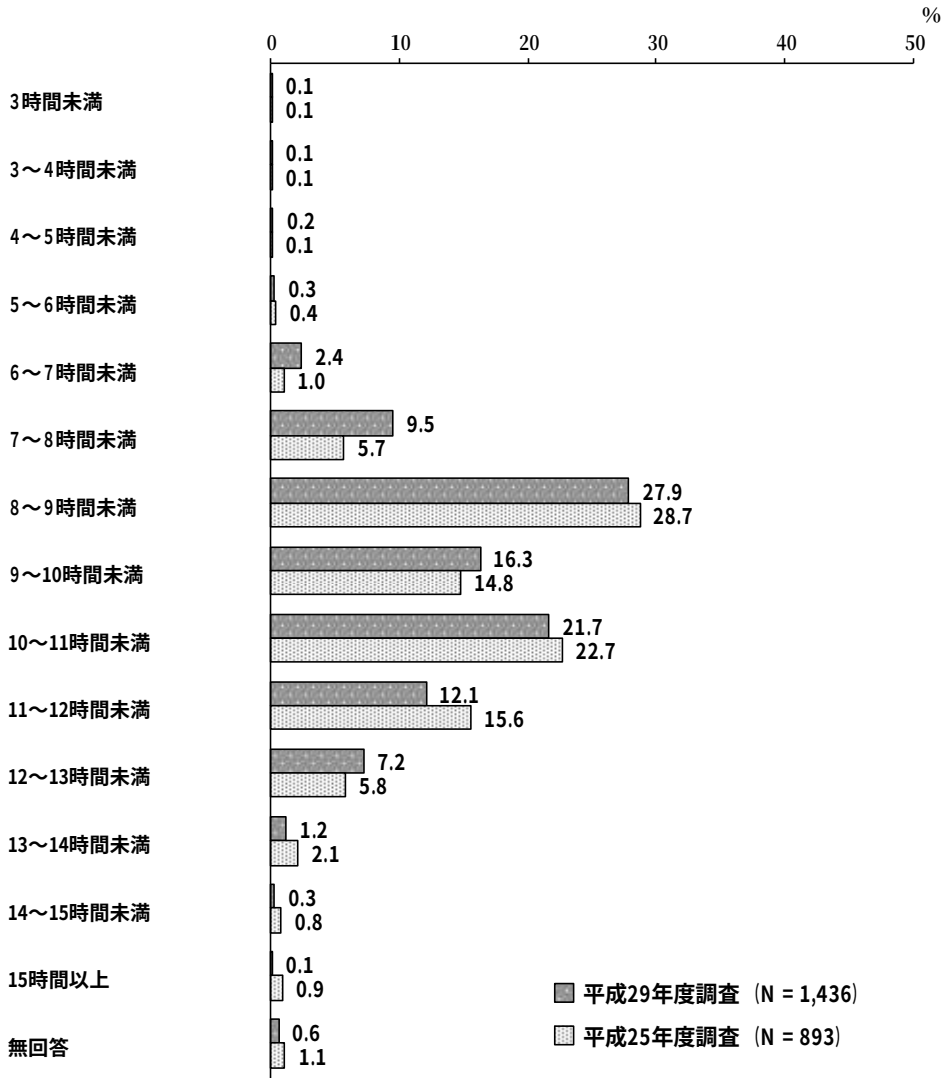


（ｂ）１日あたり就労時間（通勤、残業時間を含む）

「８～９時間未満」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「10～11 時間未満」の割合が 21.7%、「９～10 時間未満」の割合が 16.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【フルタイムの母親の就労時間（１日あたり）】

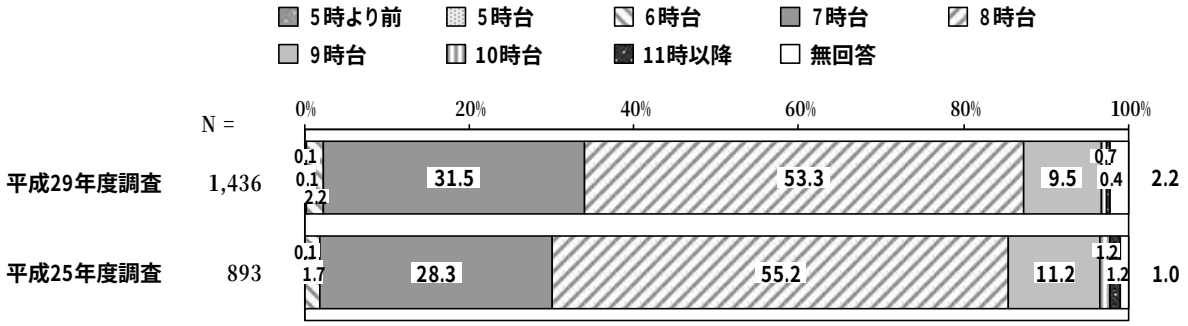


（ｃ）出勤時刻

「８時台」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「７時台」の割合が 31.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【フルタイムの母親の出勤時刻】

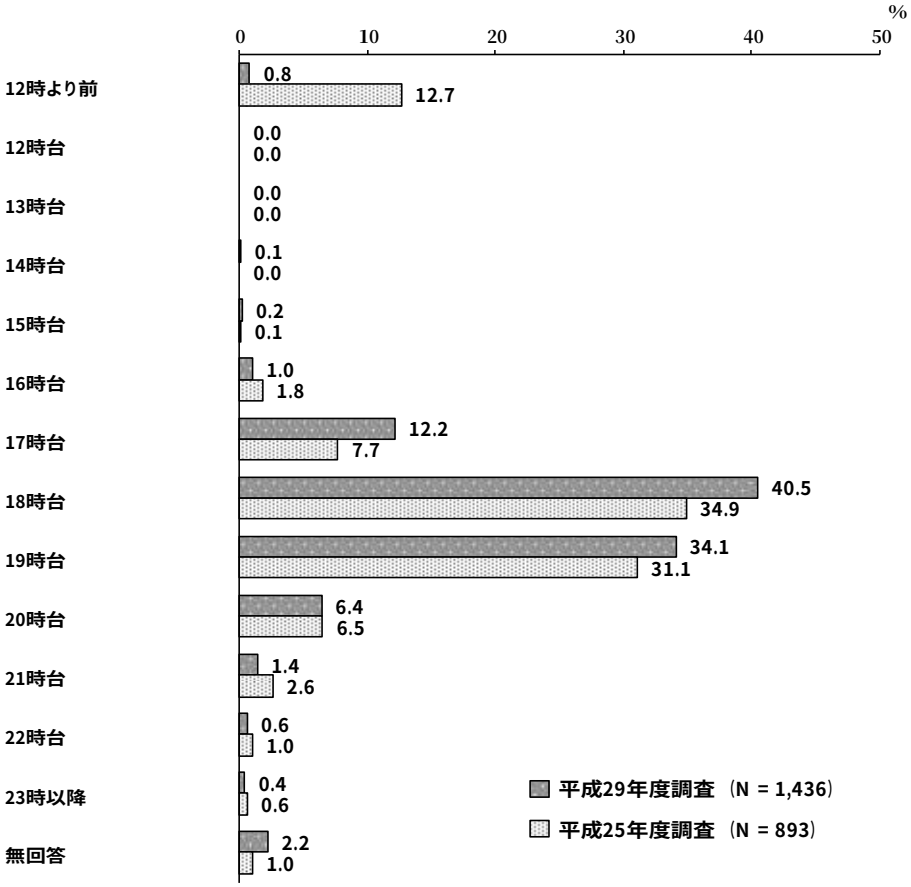


（ｄ）帰宅時刻

「18 時台」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 34.1%、「17 時台」の割合が 12.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「12 時より前」の割合が減少しています。

【フルタイムの母親の帰宅時刻】



ウ パート・アルバイト等の母親の就労状況

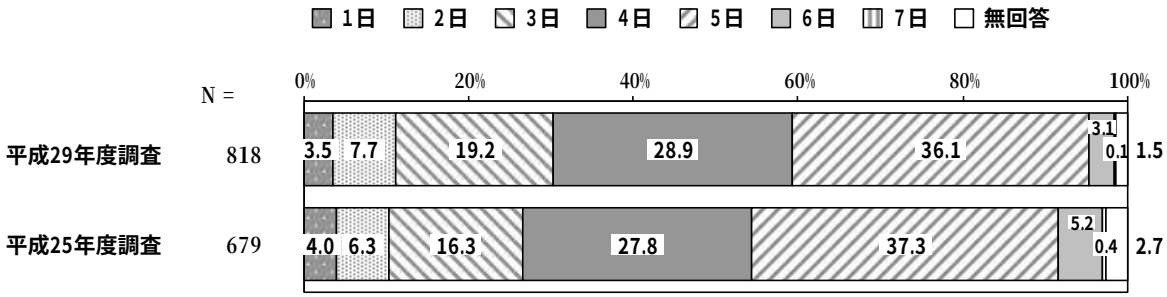
問６－1．お母さまの「（ａ）就労日数」「（ｂ）就労時間（通勤時間・残業時間を含む）」「（ｃ）出勤時刻」「（ｄ）「帰宅時刻」についてお答えください（かっこ内に数字で）。

（ａ）１週あたり就労日数

「５日」の割合が 36.1%と最も高く、次いで「４日」の割合が 28.9%、「３日」の割合が 19.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【パート・アルバイト等の母親の就労日数（１週あたり）】

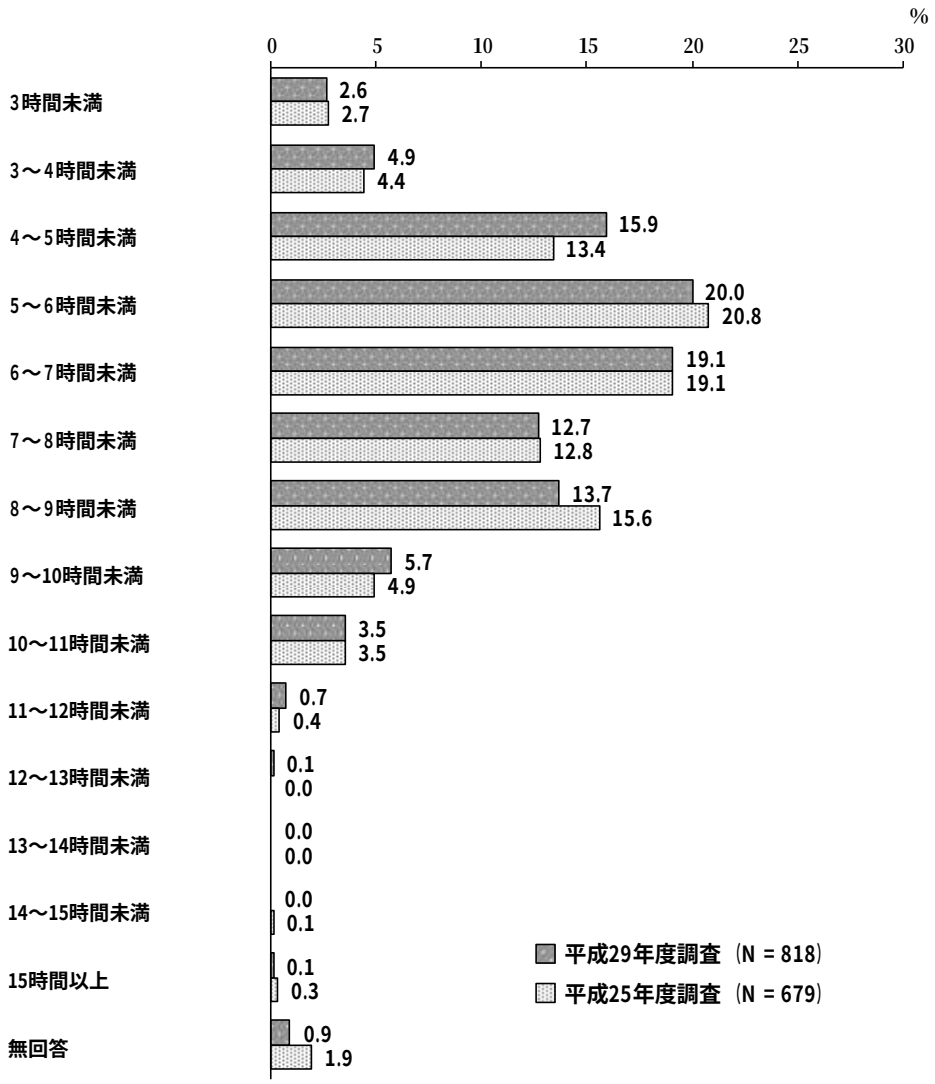


（ｂ）１日あたり就労時間

「５～６時間未満」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「６～７時間未満」の割合が 19.1%、「４～５時間未満」の割合が 15.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【パート・アルバイト等の母親の就労時間（１日あたり）】



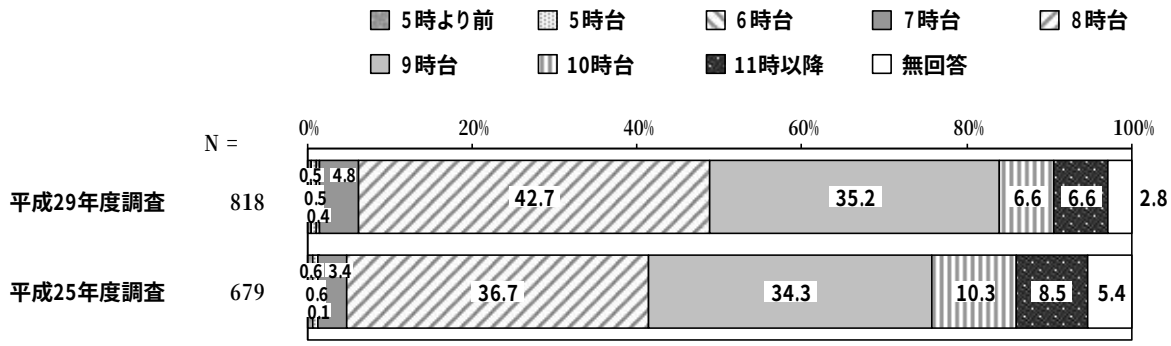
Ⅱ　調査結果　就学前児童（０歳～５歳）

（ｃ）出勤時刻

「８時台」の割合が 42.7%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 35.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「８時台」の割合が増加しています。

【パート・アルバイト等の母親の出勤時刻】

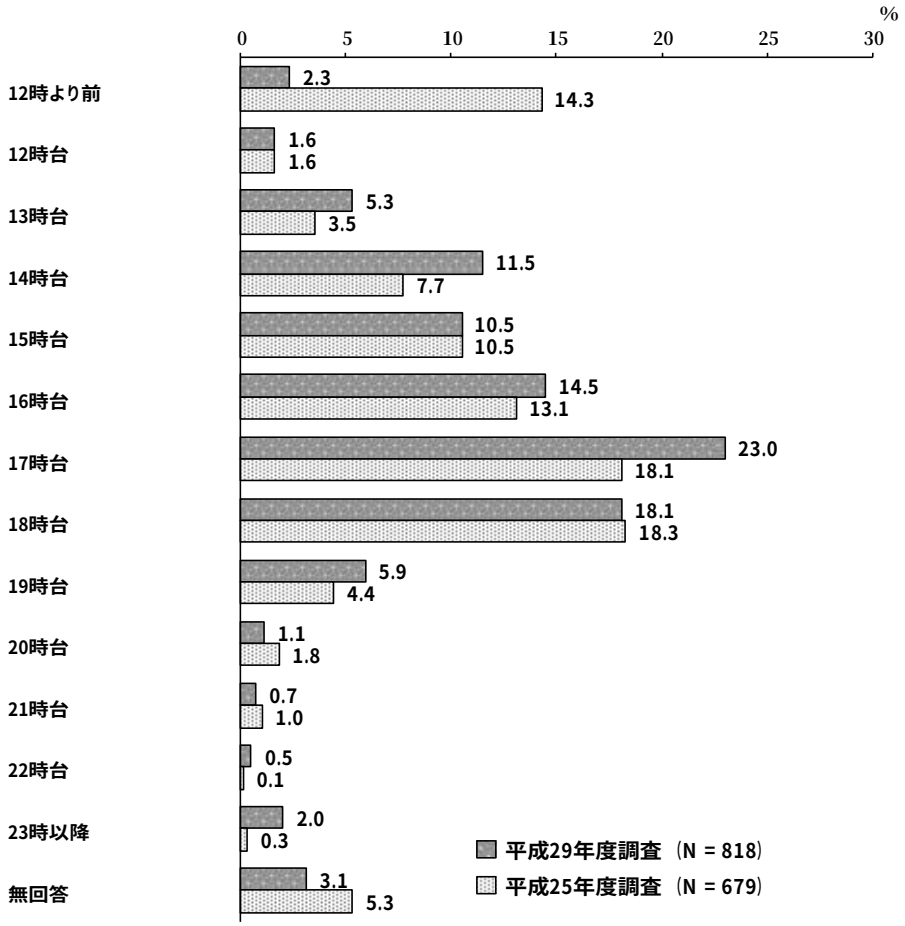


（ｄ）帰宅時刻

「17 時台」の割合が 23.0%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 18.1%、「16 時台」の割合が 14.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「12 時より前」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等の母親の帰宅時刻】



エ パート・アルバイト等の母親の今後の就労希望

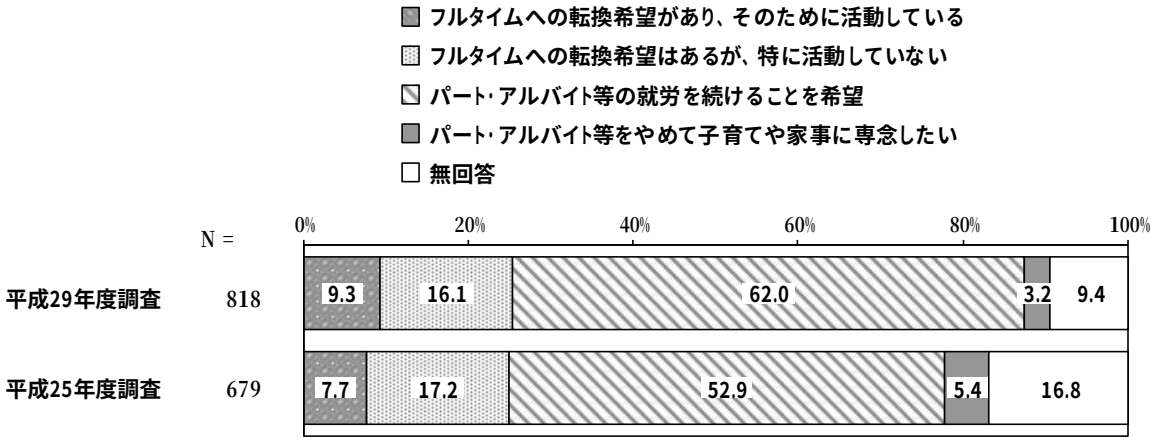
問８．今後の就労希望は、次のどれにあたりますか（◯は１つだけ）。

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」の割合が 16.1%となっています。

フルタイムへの転換希望を持っている人は、25.4%と全体の４分の１程度となっています。

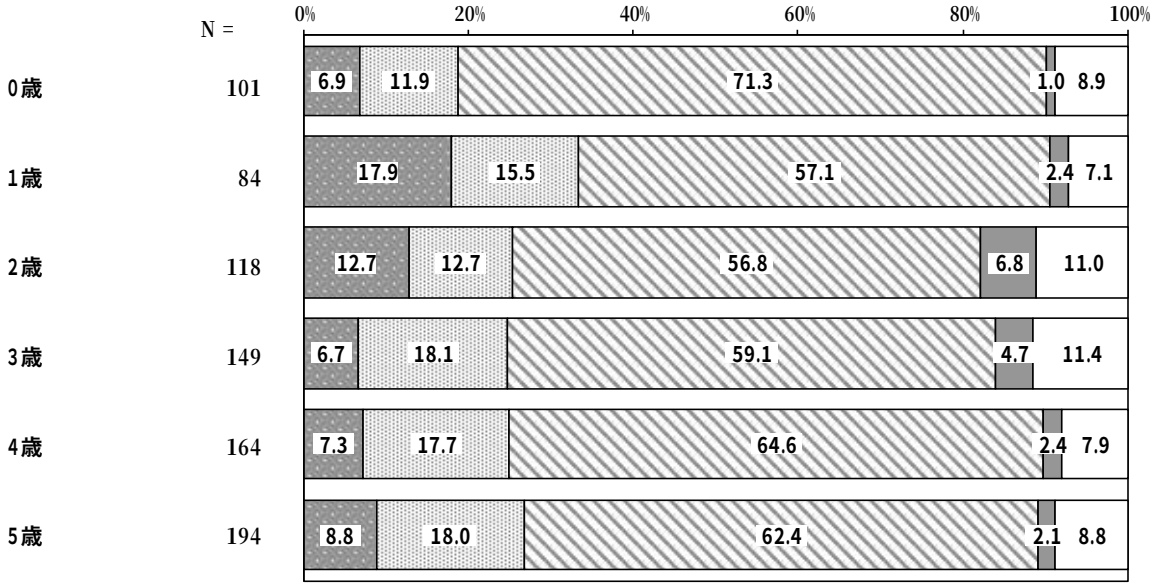
平成 25 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。

【パート・アルバイト等の母親のフルタイムへの転換希望】



【パート・アルバイト等の母親のフルタイムへの転換希望・子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、０歳で「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が高くなっています。また、１歳で「フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している」の割合が高くなっています。



オ 非就労の母親の今後の就労希望

問９．今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ１つだけ）。
また、「今後の就労希望として、パート・アルバイト等で就労したい」に○をつけた方は、希望する「就労日数」および「就労時間」についてもお答えください（かっこ内に数字で）。

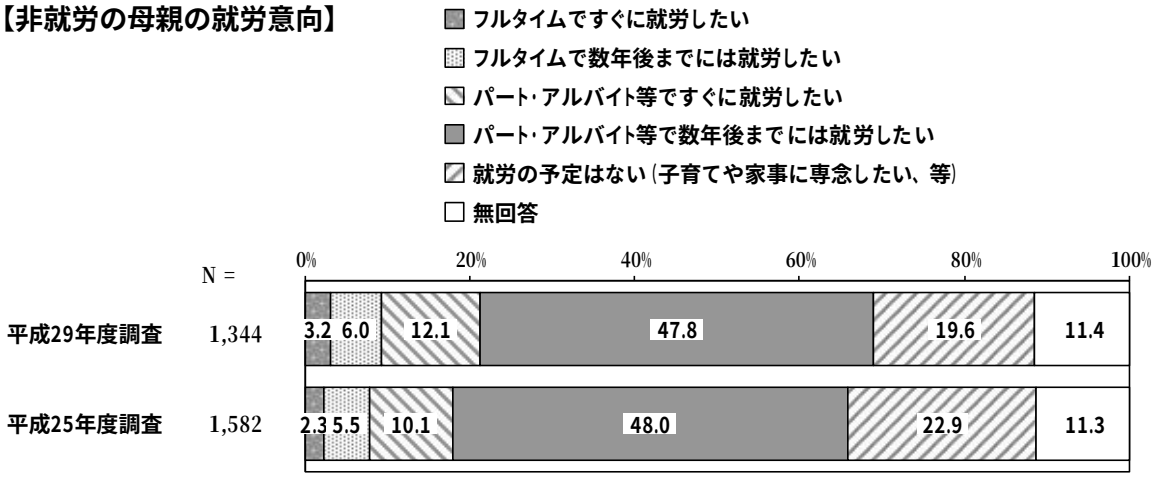
（ａ）非就労の母親の就労意向

「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「就労の予定はない（子育てや家事に専念したい、等）」の割合が 19.6%、「パート・アルバイト等ですぐに就労したい」の割合が 12.1%となっています。

パート・アルバイト等での就労希望が 59.9%と、フルタイムでの就労希望 9.2%よりも高くなっています。

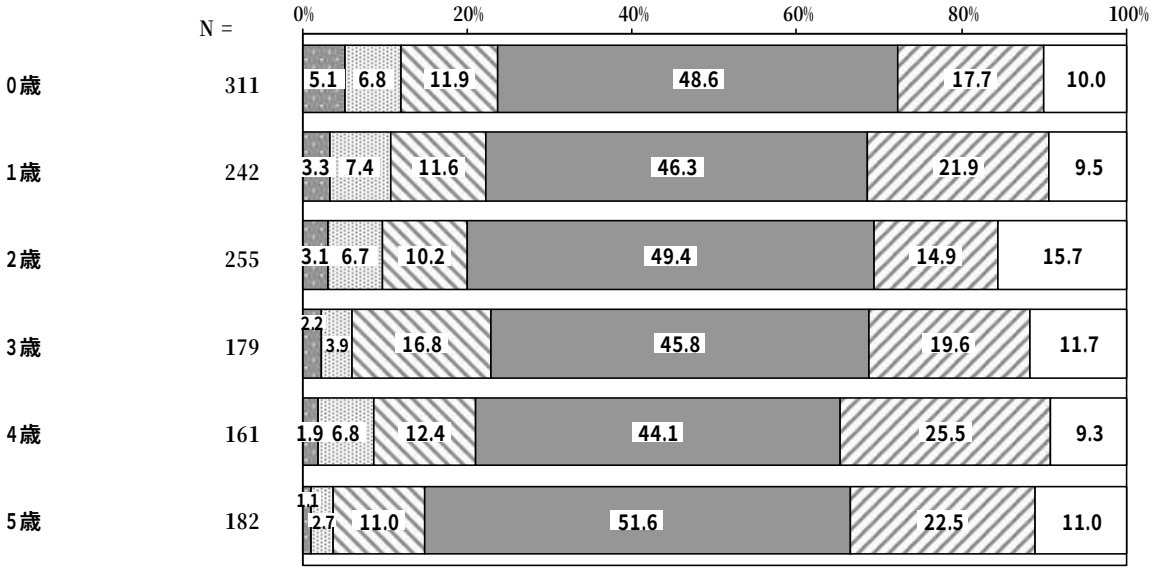
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【非就労の母親の就労意向】



【非就労の母親の就労意向・子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、４歳で「就労の予定はない（子育てや家事に専念したい、等）」の割合が高くなっていますが、はっきりとした特徴はあらわれていません。

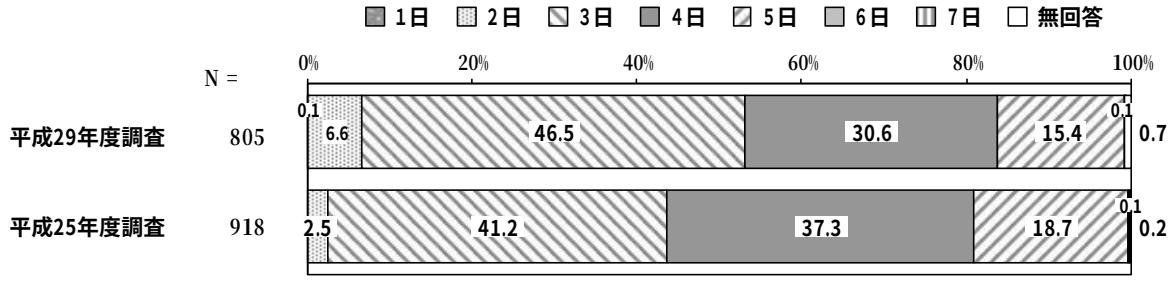


（ｂ）現在は非就労だが、パート・アルバイト等で就労したい母親の１週あたり希望就労日数

「３日」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「４日」の割合が 30.6%、「５日」の割合が 15.4%となっています。

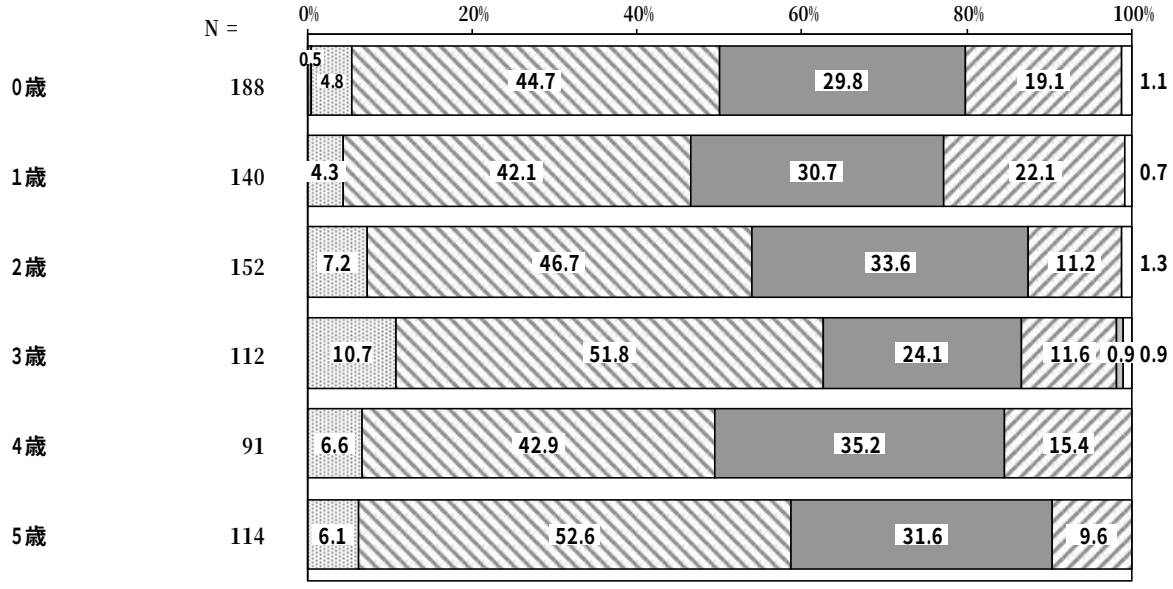
平成 25 年度調査と比較すると、「３日」の割合が増加しています。一方、「４日」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労日数（１週あたり）】



【パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労日数（１週あたり）・子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、３歳、５歳で「３日」の割合が高くなっています。また、０歳、１歳で「５日」の割合が高くなっています。

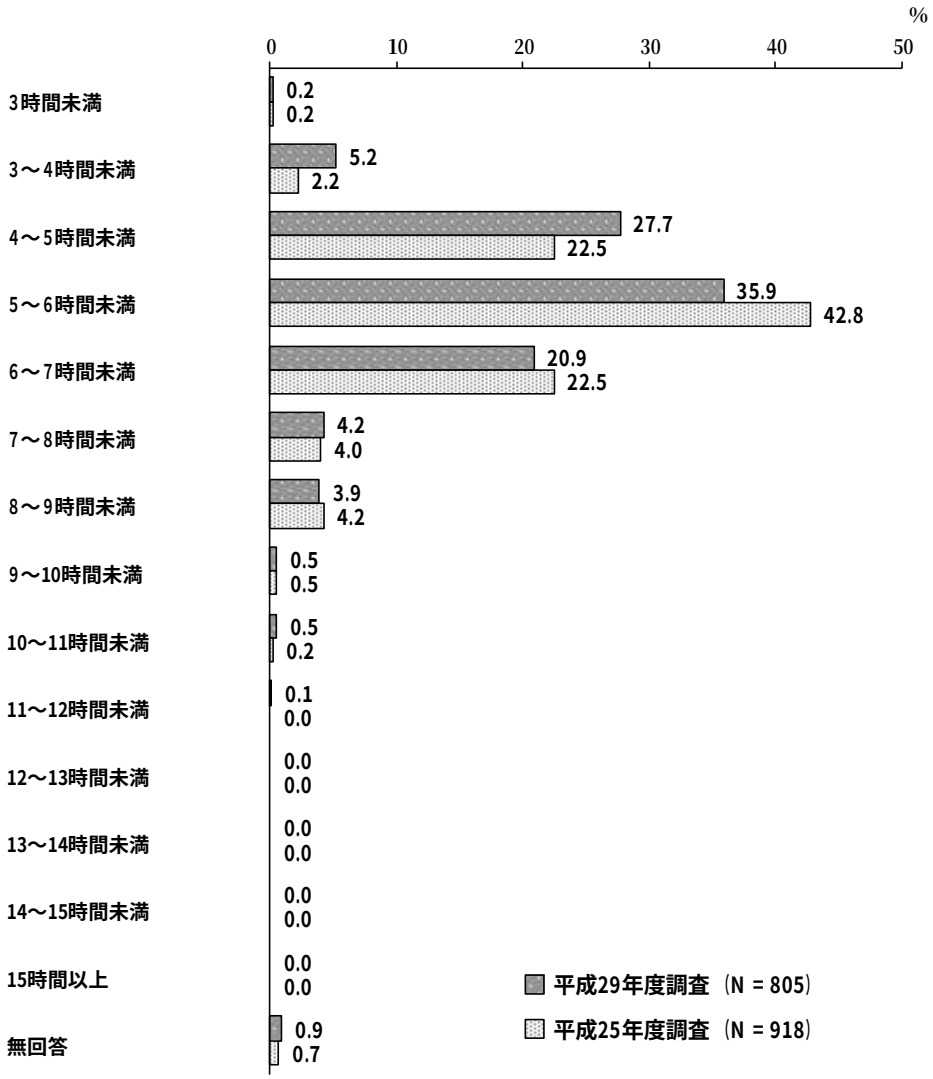


（ｃ）現在は非就労だが、パート・アルバイト等で就労したい母親の１日あたり希望就労時間

「５～６時間未満」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「４～５時間未満」の割合が 27.7%、「６～７時間未満」の割合が 20.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「４～５時間未満」の割合が増加しています。一方、「５～６時間未満」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する就労時間（１日あたり）】



② 父親

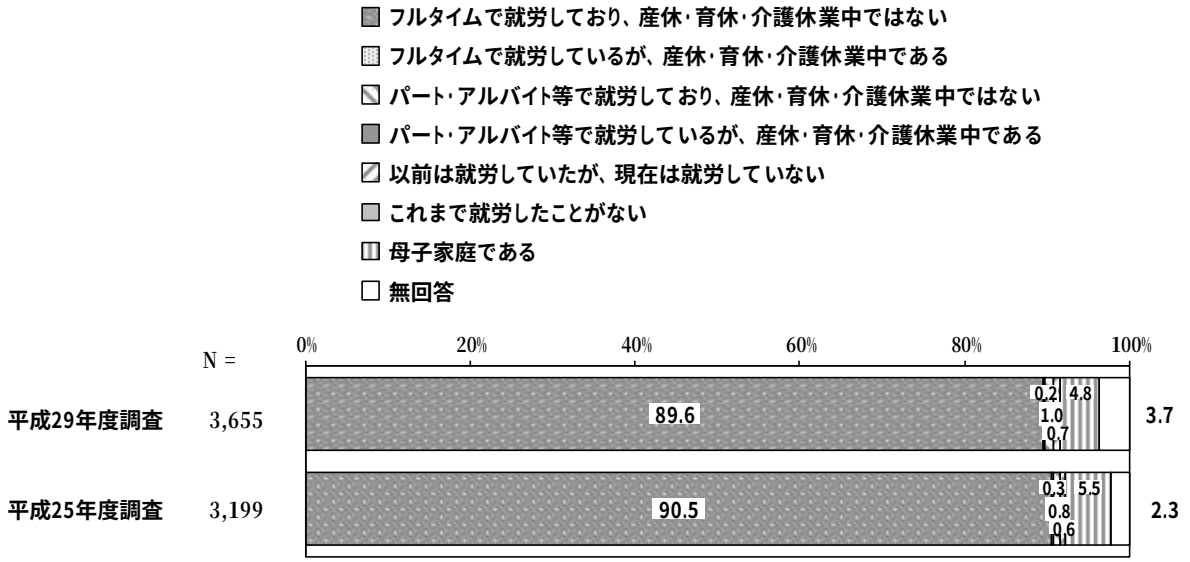
ア 父親の就労状況と就労形態

問７．お父さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（○は１つだけ）。

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 89.6%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【父親の就労状況と就労形態】



イ フルタイムの父親の就労状況

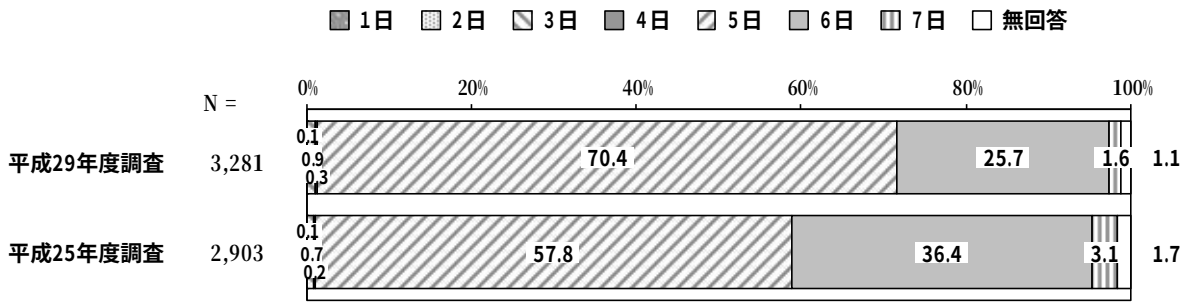
問７－1．お父さまの「(a) 就労日数」「(b) 就労時間（通勤時間・残業時間を含む)」「(c) 出勤時刻」「(d)「帰宅時刻」についてご記入ください（かっこ内に数字で)。

（a）就労日数

「５日」の割合が 70.4%と最も高く、次いで「６日」の割合が 25.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。一方、「６日」の割合が減少しています。

【フルタイムの父親の就労日数（１週あたり)】

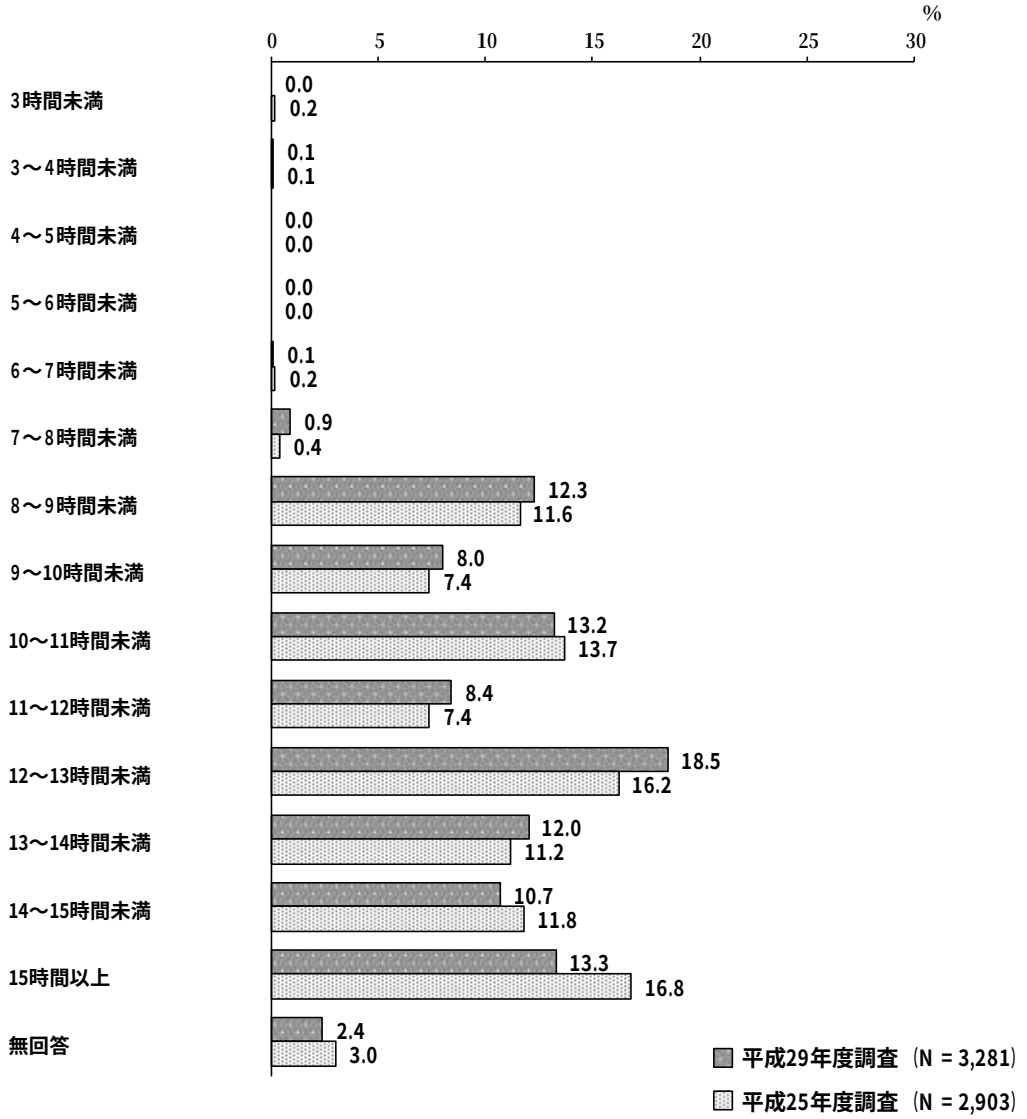


（ｂ）就労時間（通勤、残業時間を含む）

「12～13 時間未満」の割合が 18.5%と最も高く、次いで「15 時間以上」の割合が 13.3%、「10～11 時間未満」の割合が 13.2%となっています。フルタイムの父親の就労時間は、比較的長い傾向にあることがうかがえます。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【フルタイムの父親の就労時間（１日あたり）】



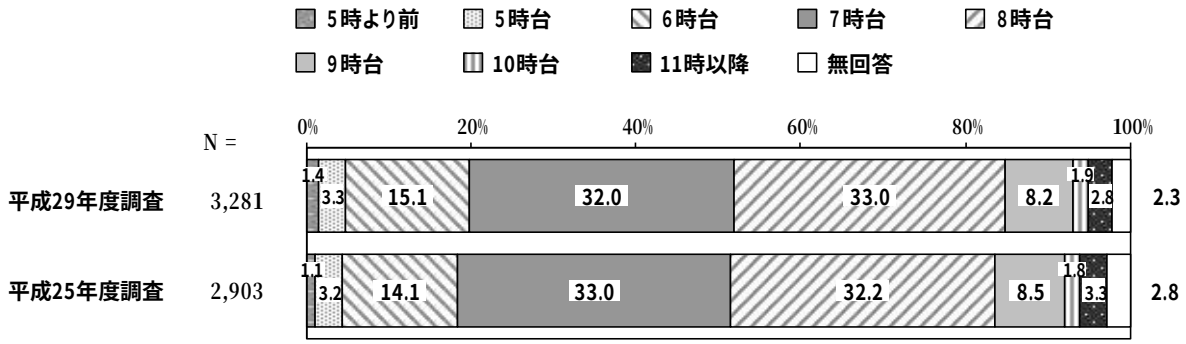
Ⅱ　調査結果　就学前児童（０歳～５歳）

（ｃ）出勤時刻

「８時台」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「７時台」の割合が 32.0%、「６時台」の割合が 15.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【フルタイムの父親の出勤時刻】

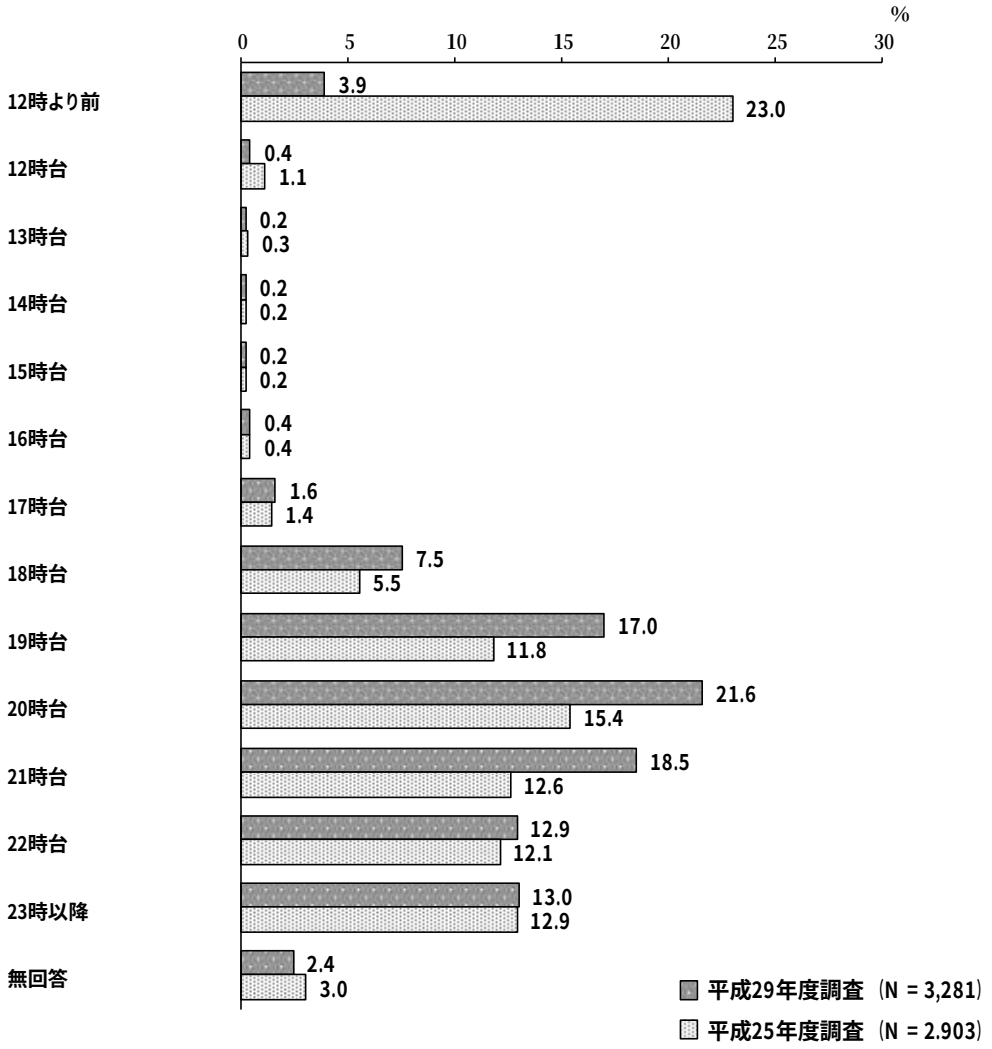


（ｄ）帰宅時刻

「20 時台」の割合が 21.6%と最も高く、次いで「21 時台」の割合が 18.5%、「19 時台」の割合が 17.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「19 時台」「20 時台」「21 時台」の割合が増加しています。一方、「12 時より前」の割合が減少しています。

【フルタイムの父親の帰宅時刻】



ウ パート・アルバイト等の父親の就労状況

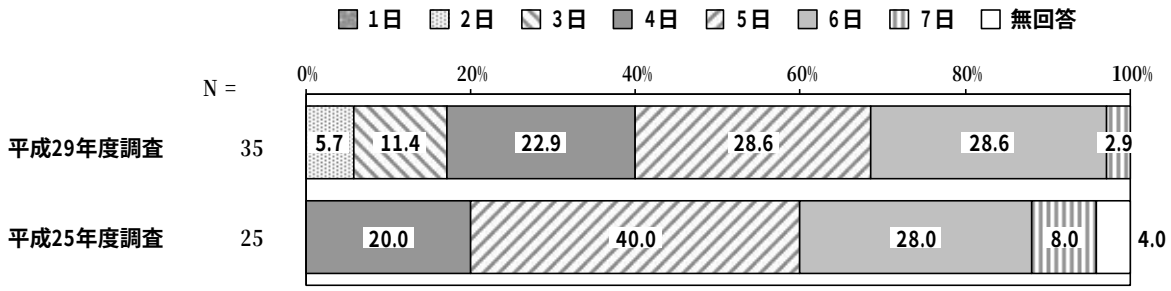
問７－1．お父さまの「(a) 就労日数」「(b) 就労時間（通勤時間・残業時間を含む)」「(c) 出勤時刻」「(d)「帰宅時刻」についてご記入ください（かっこ内に数字で)。

（a）１日あたり就労日数

パート・アルバイト等で就労する父親はサンプル数が３５名と少ないが、「５日」、「６日」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「４日」の割合が 22.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「２日」「３日」の割合が増加しています。一方、「５日」「７日」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等の父親の就労日数（１週あたり)】

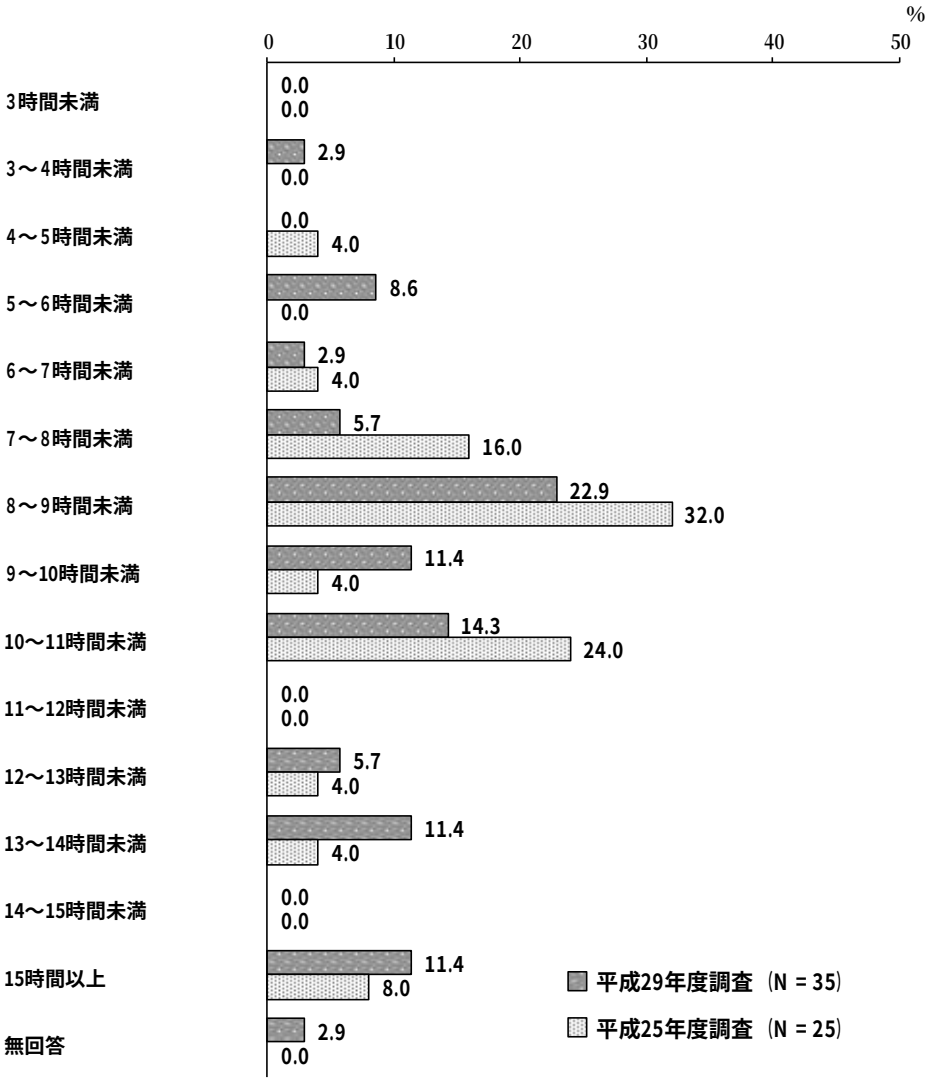


（ｂ）就労時間（通勤、残業時間を含む）

「８～９時間未満」の割合が 22.9%と最も高く、次いで「10～11 時間未満」の割合が 14.3%、「９～10 時間未満」、「13～14 時間未満」、「15 時間以上」の割合が 11.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「５～６時間未満」「９～10 時間未満」「13～14 時間未満」の割合が増加しています。一方、「７～８時間未満」「８～９時間未満」「10～11 時間未満」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等の父親の就労時間（１日あたり）】

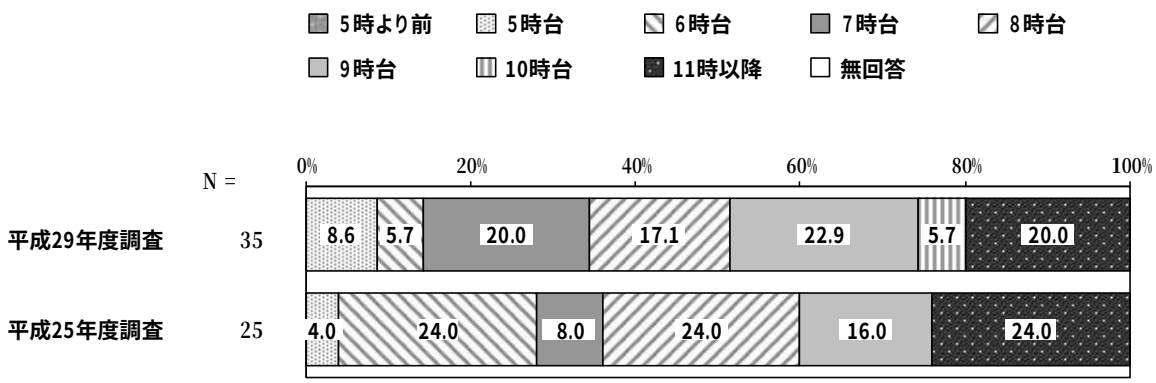


（ｃ）出勤時刻

「９時台」の割合が 22.9%と最も高く、次いで「７時台」、「11 時以降」の割合が 20.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「７時台」「９時台」「10 時台」の割合が増加しています。一方、「６時台」「８時台」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等の父親の出勤時刻】

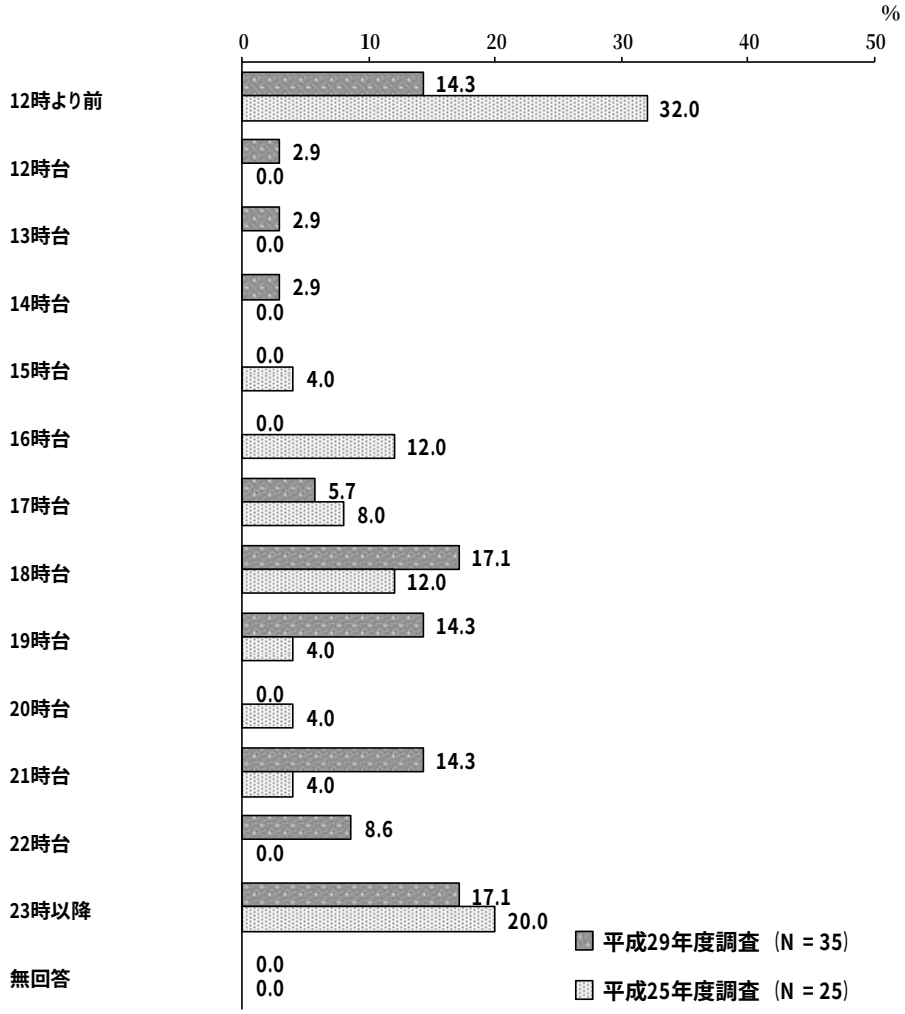


（ｄ）帰宅時刻

「18 時台」、「23 時以降」の割合が 17.1%と最も高く、次いで、「12 時より前」、「19 時台」、「21 時台」の割合が 14.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「18 時台」「19 時台」「21 時台」「22 時台」の割合が増加しています。一方、「12 時より前」「16 時台」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等の父親の帰宅時刻】



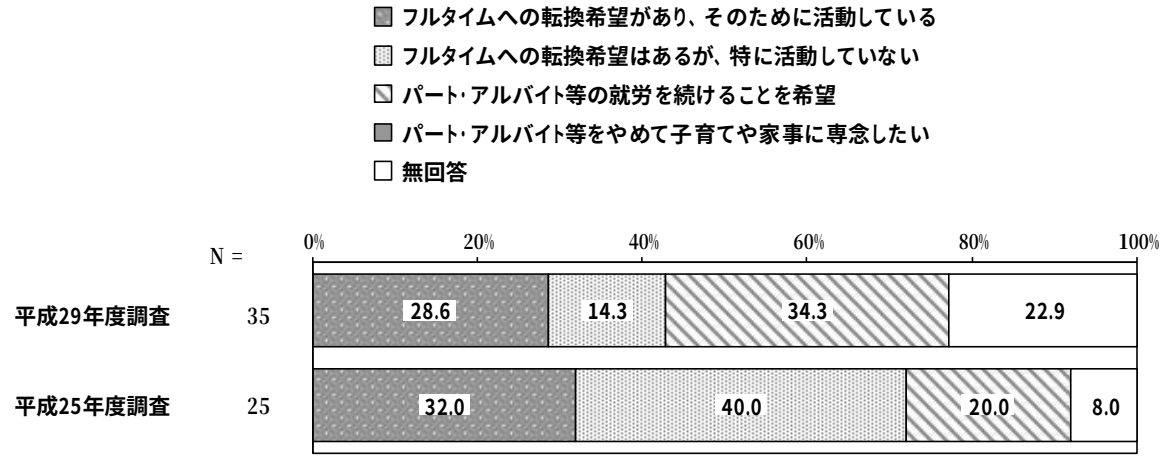
エ パート・アルバイト等の父親の今後の就労希望

問８．今後の就労希望は、次のどれにあたりますか（◯は１つだけ）。

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している」の割合が 28.6%、「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」の割合が 14.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。一方、「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」の割合が減っており、フルタイムへの転換希望が 72%から 42.9%に減少しています。

【パート・アルバイト等の父親のフルタイムへの転換希望】



オ 非就労の父親の今後の就労希望

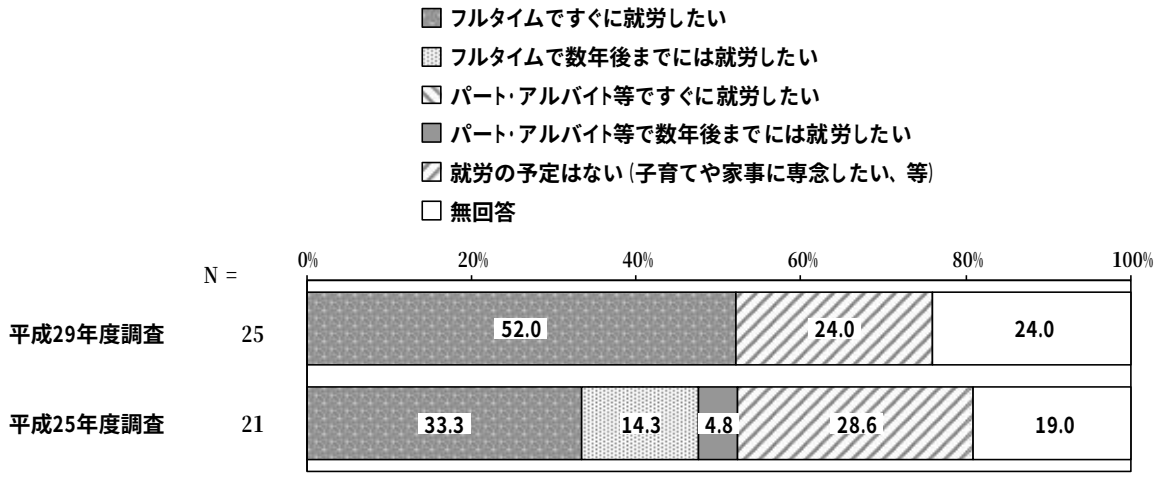
問９．今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ１つだけ）。
また、「今後の就労希望として、パート・アルバイト等で就労したい」に○をつけた方は、希望する「就労日数」および「就労時間」についてもお答えください（かっこ内に数字で）。

（ａ）非就労の父親の就労意向

「フルタイムですぐに就労したい」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「就労の予定はない（子育てや家事に専念したい、等）」の割合が 24.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムですぐに就労したい」の割合が増加しています。一方、「フルタイムで数年後までには就労したい」の割合が減少しています。

【非就労の父親の就労意向】



（ｂ）現在は非就労だが、パート・アルバイト等で就労したい父親の希望就労日数など

有効回答はありません。

（４）平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

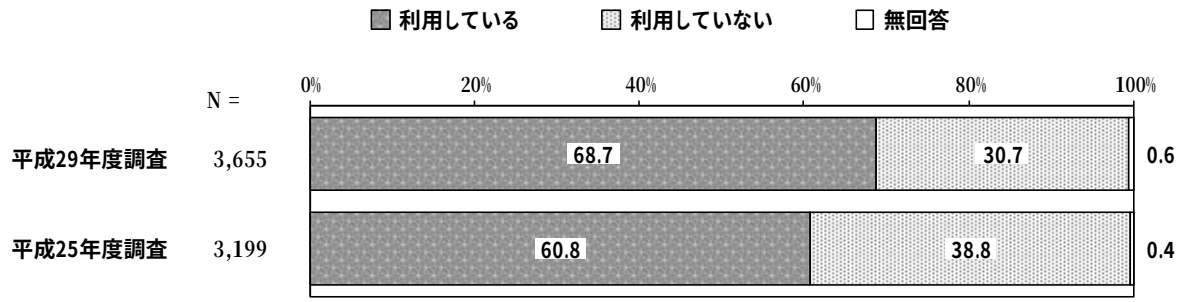
① 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無

問 10．お子さんは現在、幼稚園や保育園などの平日の定期的な教育・保育事業を利用されていますか（◯は１つだけ）。

「利用している」の割合が 68.7%、「利用していない」の割合が 30.7%となっています。

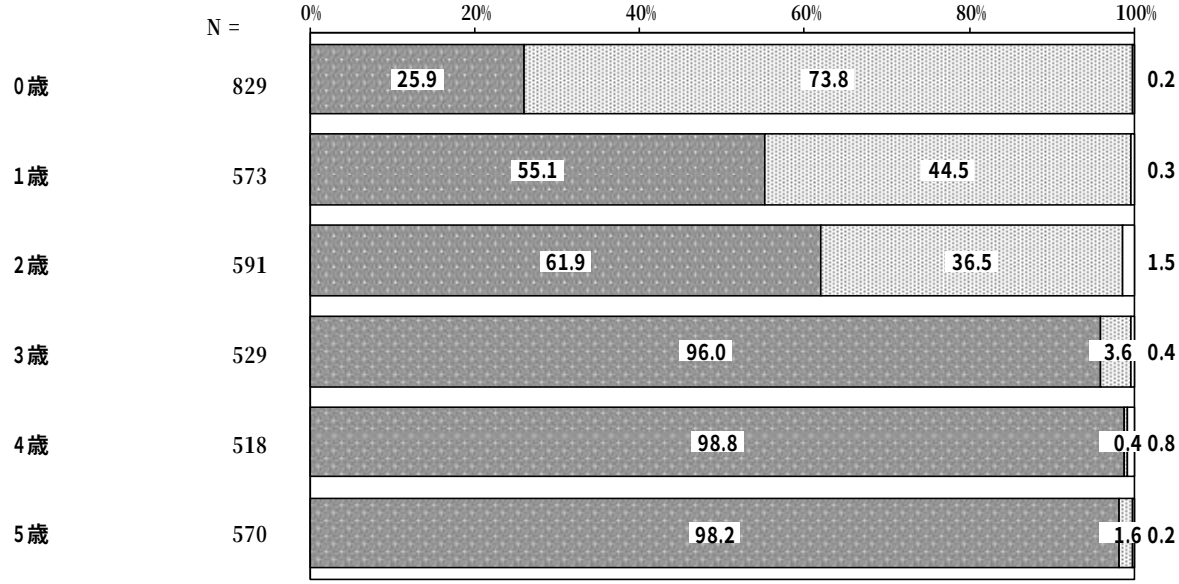
平成 25 年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。

【平日の定期的な教育・保育事業の利用有無】



【平日の定期的な教育・保育事業の利用有無・子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「利用している」の割合が高くなる傾向があり、特に３歳以上で９割を超えています。



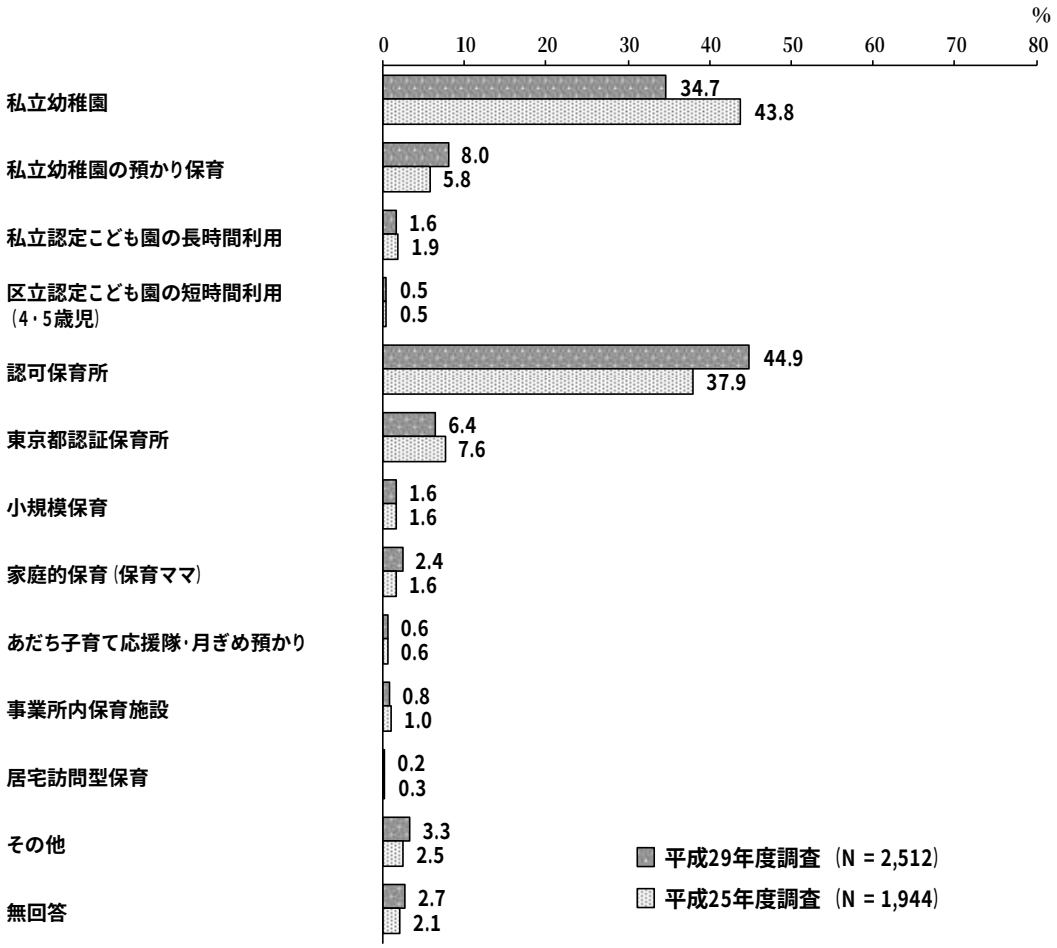
② 利用している教育・保育事業の内容

問 10－1 ．お子さんは、平日、年間を通じて定期的にどのような教育・保育事業を利用していますか（○はあてはまるものすべて）。

「認可保育所（国が定める基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が 34.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「認可保育所（国が定める基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が増加しています。一方、「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が減少しています。

【利用している教育・保育事業の内容】



Ⅱ　調査結果　就学前児童（０歳～５歳）

【利用している教育・保育事業の内容・子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、１歳、２歳で「認可保育所」の割合が、３歳以上で「私立幼稚園」の割合が高くなっています。また、０歳で「東京都認証保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	私立幼稚園	私立幼稚園の預かり保育	私立認定こども園の長時間利用	区立認定こども園の短時間利用（４・５歳児）	認可保育所	東京都認証保育所
0歳	215	4.2	－	1.4	0.5	45.1	22.8
1歳	316	2.5	0.9	1.6	－	57.6	15.2
2歳	366	14.8	3.0	2.2	－	56.0	7.9
3歳	508	46.1	7.7	1.8	0.2	42.7	2.6
4歳	512	51.4	12.7	1.4	0.8	40.0	1.8
5歳	560	51.8	14.1	1.4	1.3	36.8	2.5

区分	小規模保育	家庭的保育（保育ママ）	あだち子育て応援隊・月ぎめ預かり	事業所内保育施設	居宅訪問型保育	その他	無回答
0歳	6.0	6.5	1.4	2.8	0.5	5.6	5.1
1歳	3.5	7.9	1.3	1.9	0.6	6.6	2.2
2歳	3.8	5.2	1.4	1.4	－	5.5	1.9
3歳	－	0.4	0.2	0.2	0.2	2.8	3.3
4歳	－	－	－	0.6	0.2	1.8	2.1
5歳	0.2	0.2	0.5	－	－	1.3	2.0

【利用している教育・保育事業の内容・母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」で「私立幼稚園」の割合が、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で「認可保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	私立幼稚園	私立幼稚園の預かり保育	私立認定こども園の長時間利用	区立認定こども園の短時間利用（4・5歳児）	認可保育所	東京都認証保育所
フルタイムで就労しており、産休･育休･介護休業中ではない	1014	5.9	4.1	2.4	0.1	73.7	7.8
フルタイムで就労しているが、産休･育休･介護休業中である	144	8.3	1.4	2.1	－	68.8	11.1
パート･アルバイト等で就労しており、産休･育休･介護休業中ではない	666	38.9	16.8	1.7	0.5	35.4	6.9
パート･アルバイト等で就労しているが、産休･育休･介護休業中である	38	21.1	7.9	5.3	5.3	47.4	7.9
以前は就労していたが、現在は就労していない	557	83.5	5.9	0.2	0.7	3.1	3.1
これまで就労したことがない	53	88.7	7.5	－	3.8	1.9	1.9

区分	小規模保育	家庭的保育（保育ママ）	あだち子育て応援隊・月ぎめ預かり	事業所内保育施設	居宅訪問型保育	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休･育休･介護休業中ではない	1.7	2.1	0.7	0.6	0.4	2.1	3.5
フルタイムで就労しているが、産休･育休･介護休業中である	1.4	2.1	－	1.4	－	2.8	2.1
パート･アルバイト等で就労しており、産休･育休･介護休業中ではない	2.9	4.1	1.1	1.5	－	3.0	2.7
パート･アルバイト等で就労しているが、産休･育休･介護休業中である	－	10.5	－	2.6	－	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	6.8	1.8
これまで就労したことがない	－	1.9	－	－	－	－	－

③ 現在の利用日数と希望する利用日数

問 10－2．平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか（かっこ内に数字で）。

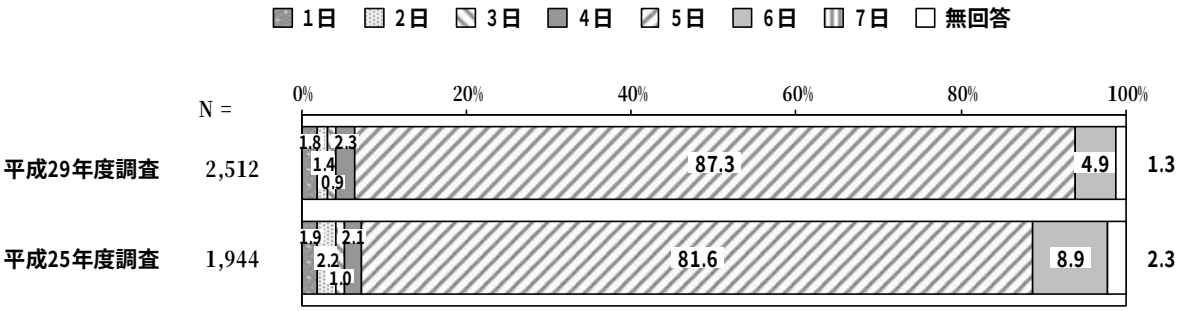
ア １週あたりの利用日数

（a）現在

「５日」の割合が 87.3%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。

【現在の利用日数】

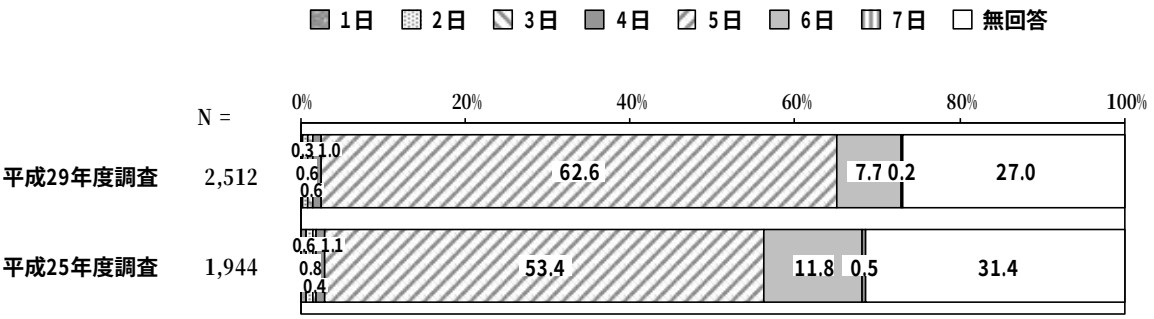


（b）希望

「５日」の割合が 62.6%と、現在の利用日数と同じく最も高くなっています。無回答が 27%と高くなっていますが、現状と同じであるとして希望する利用日数への回答がなかった方が含まれていると推測されます。

平成 25 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。

【希望する利用日数】



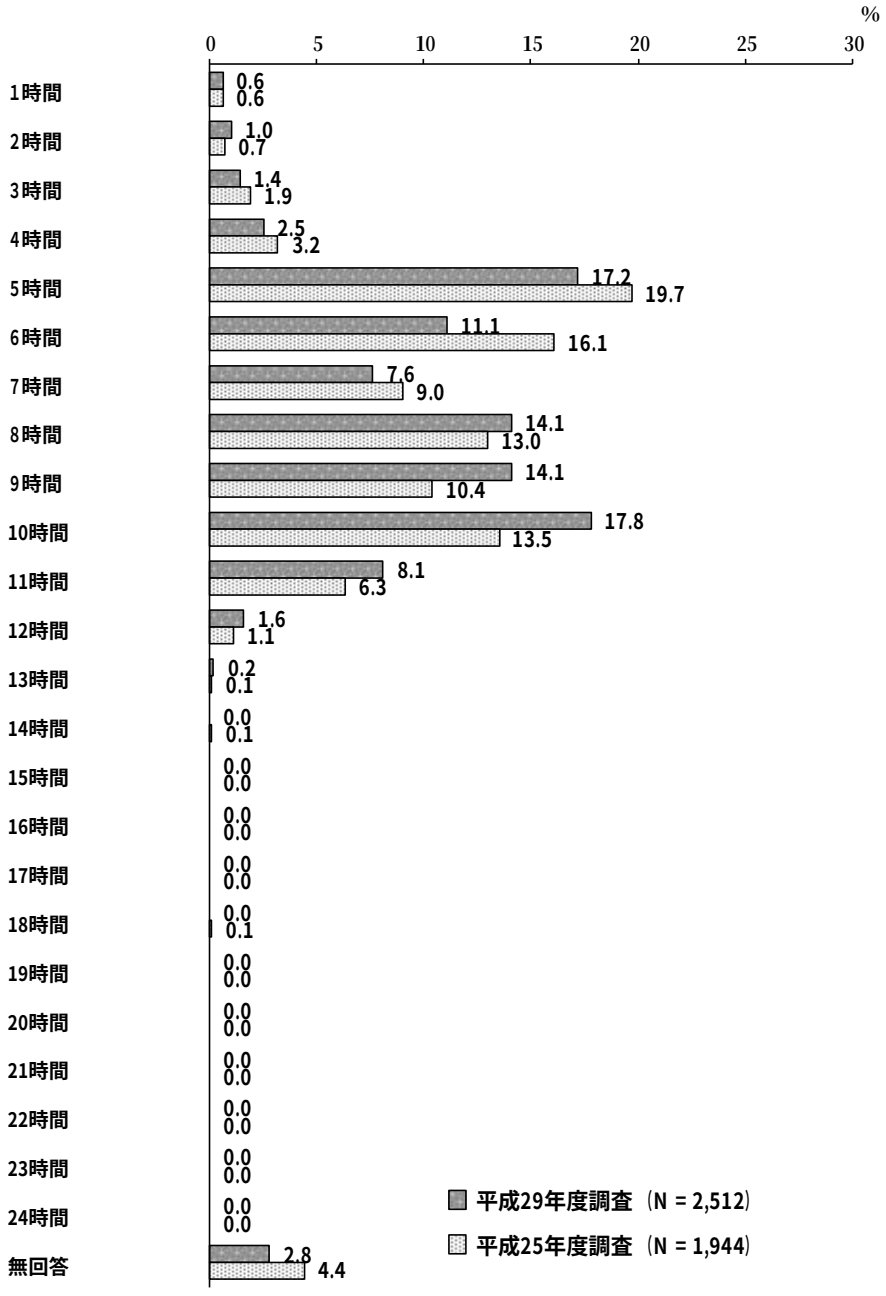
イ １日あたりの利用時間

（ａ）現在

「10 時間」の割合が 17.8%と最も高く、次いで「５時間」の割合が 17.2%、「８時間」、「９時間」の割合が 14.1%となっています。幼稚園の利用者の回答（5、6 時間）と保育所の利用者の回答（8～10 時間）に分かれていると推測されます。

平成 25 年度調査と比較すると、「６時間」の割合が減少しています。

【現在の利用時間】

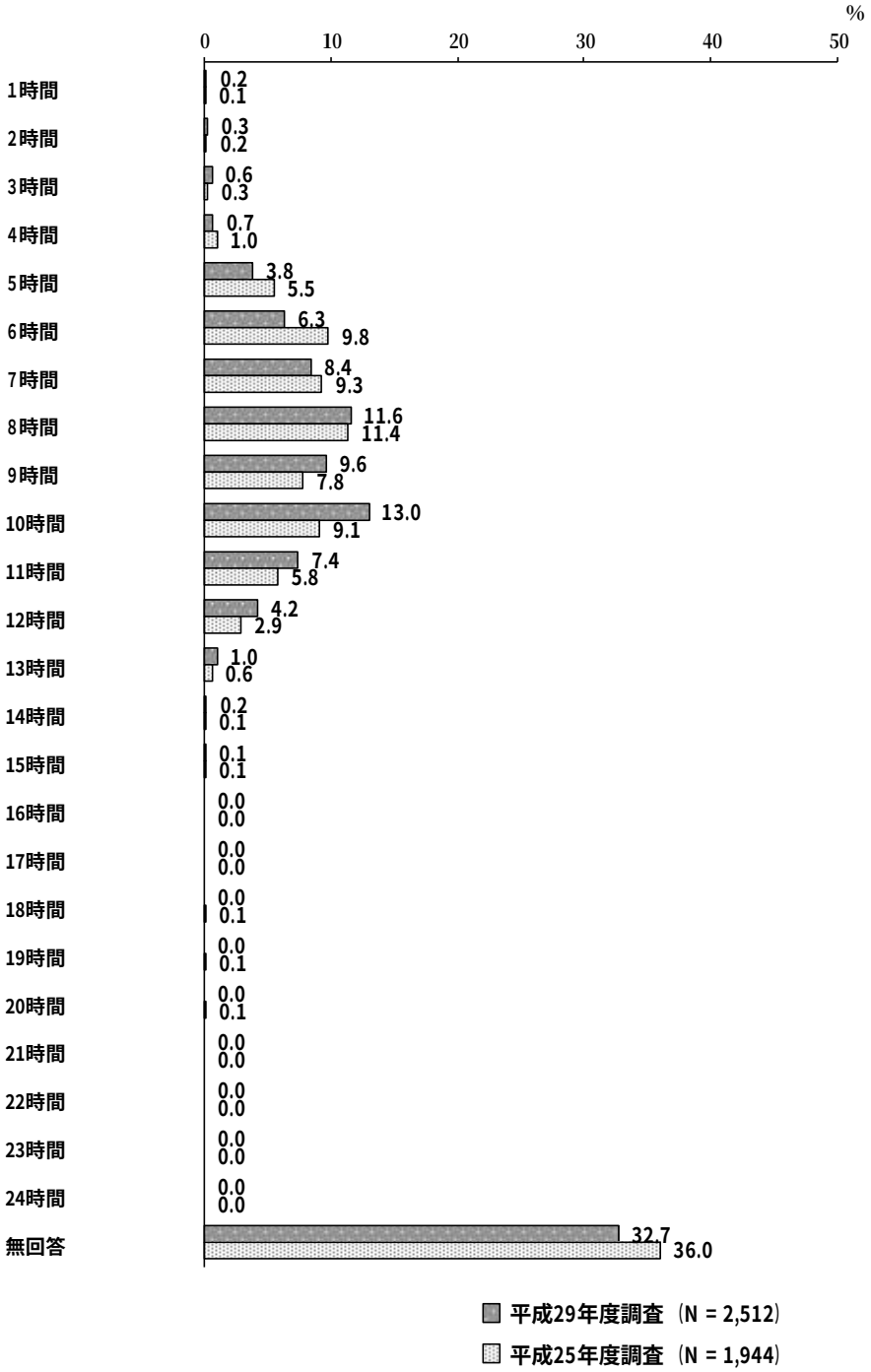


（ｂ）希望

「10 時間」の割合が 13.0%と最も高く、次いで「８時間」の割合が 11.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【希望する利用時間】



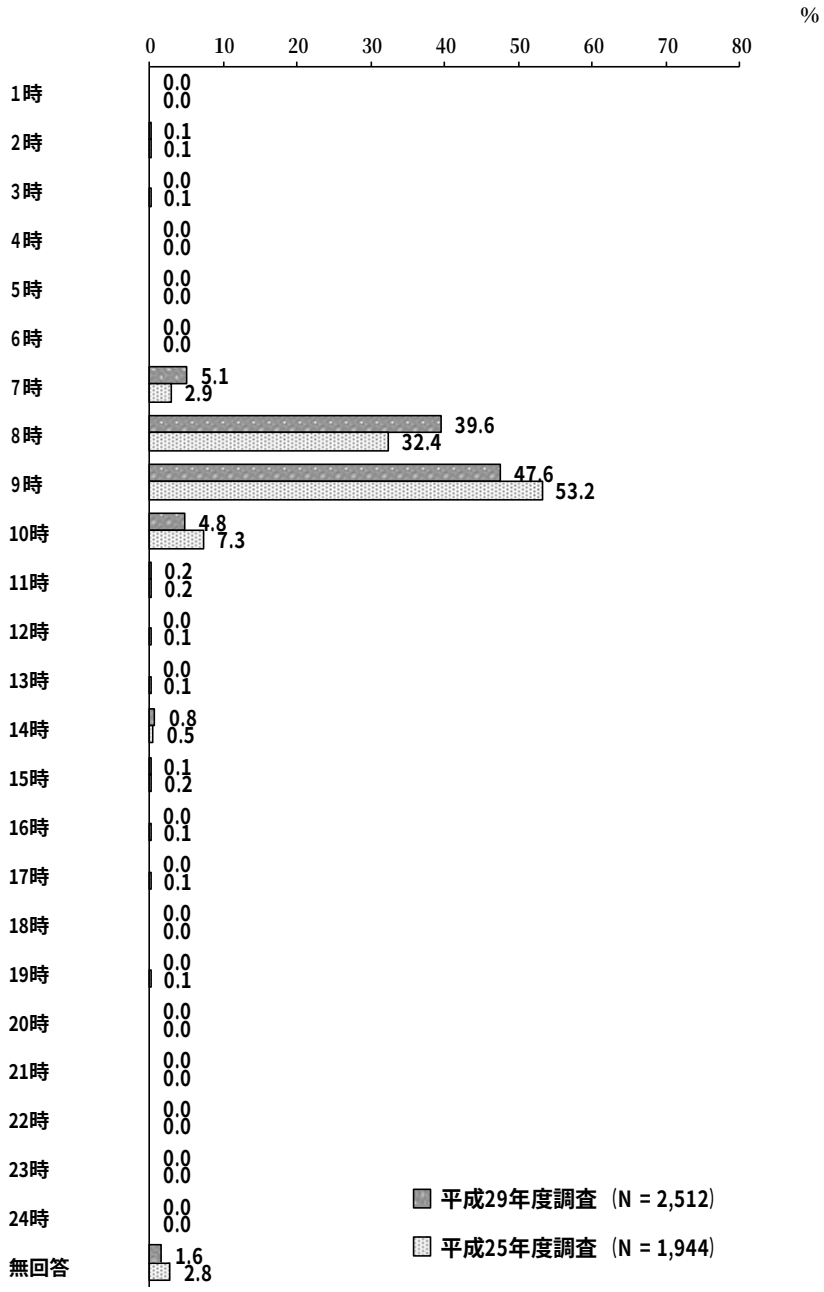
ウ 利用開始時間

（ａ）現在

「９時」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「８時」の割合が 39.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「８時」の割合が増加しています。一方、「９時」の割合が減少しています。

【現在の利用開始時間】

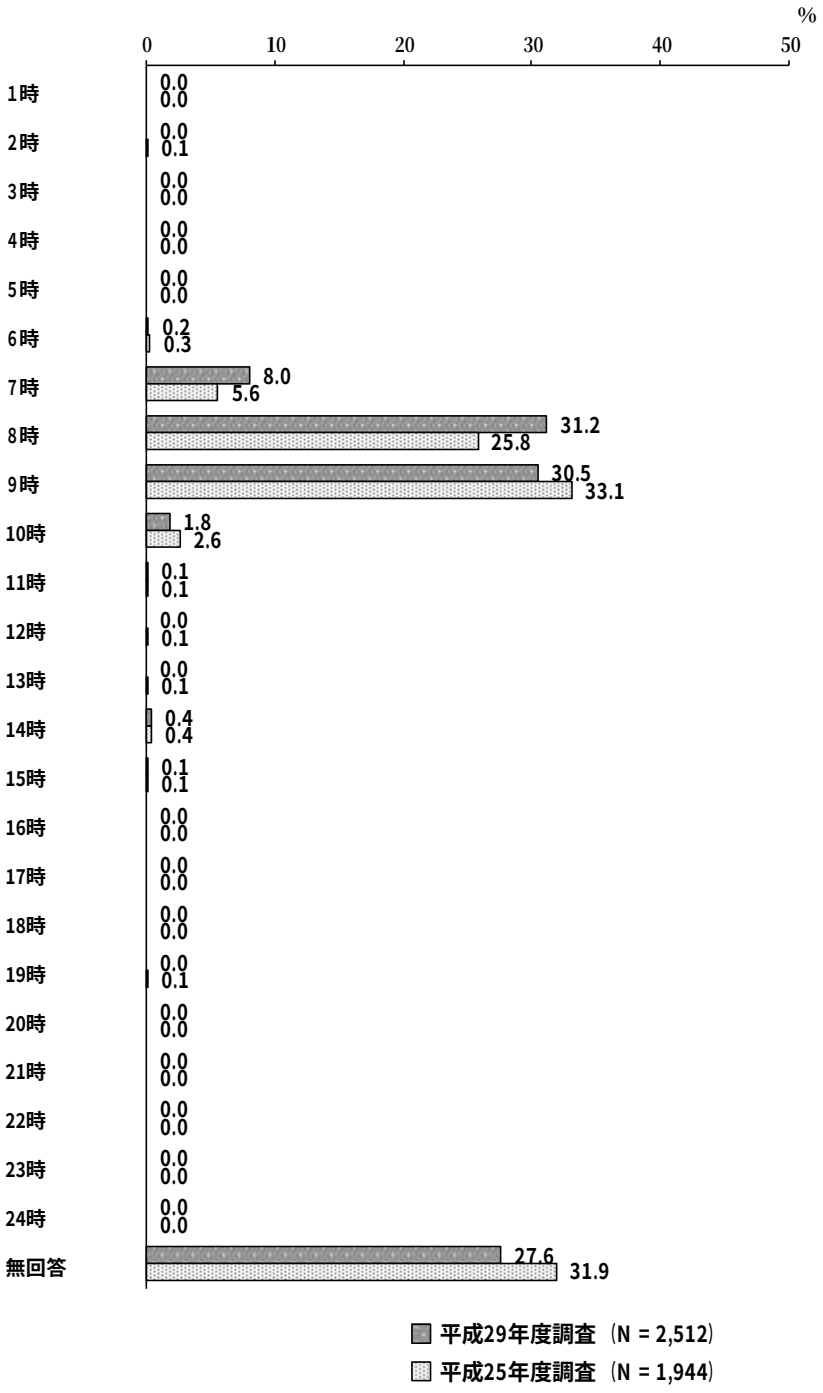


（ｂ）希望

「８時」の割合が 31.2%と最も高く、次いで「９時」の割合が 30.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「８時」の割合が増加しています。

【希望する利用開始時間】



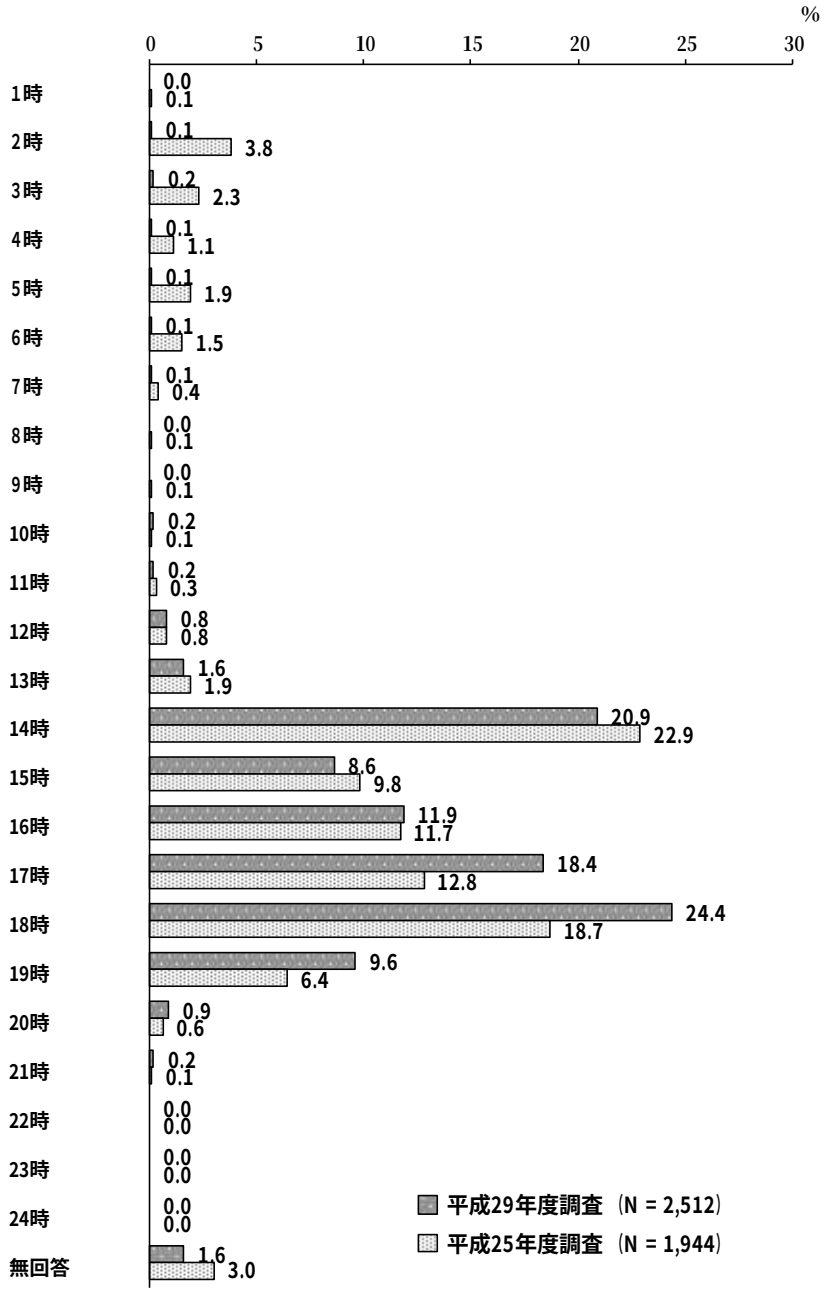
エ 利用終了時間

（ａ）現在

「18 時」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「14 時」の割合が 20.9%、「17 時」の割合が 18.4%となっています。幼稚園（14 時）と保育所（18 時）でピークが分かれていると推測されます

平成 25 年度調査と比較すると、「17 時」「18 時」の割合が増加しています。

【現在の利用終了時間】

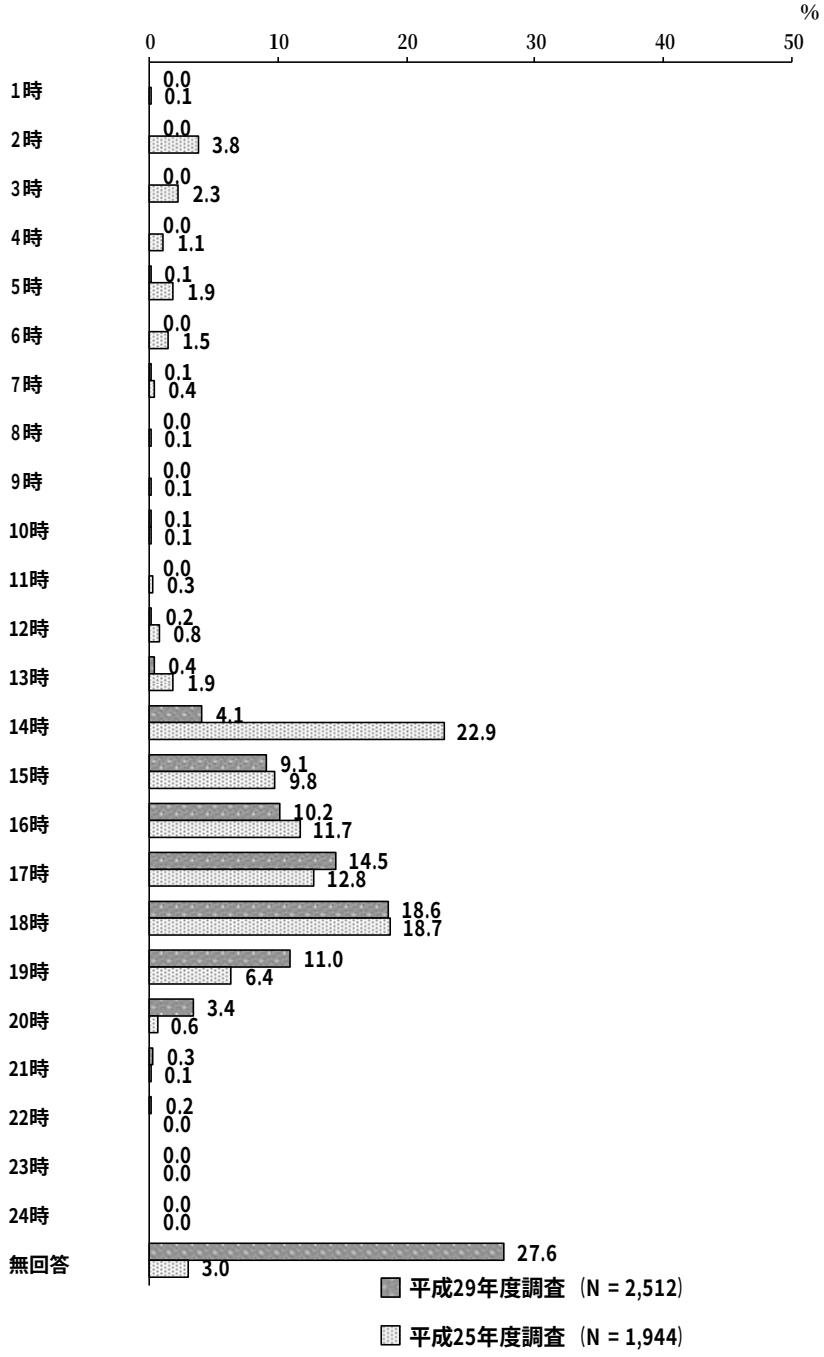


（ｂ）希望

「18 時」の割合が 18.6%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 14.5%、「19 時」の割合が 11.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「14 時」の割合が減少しています。

【希望する利用終了時間】



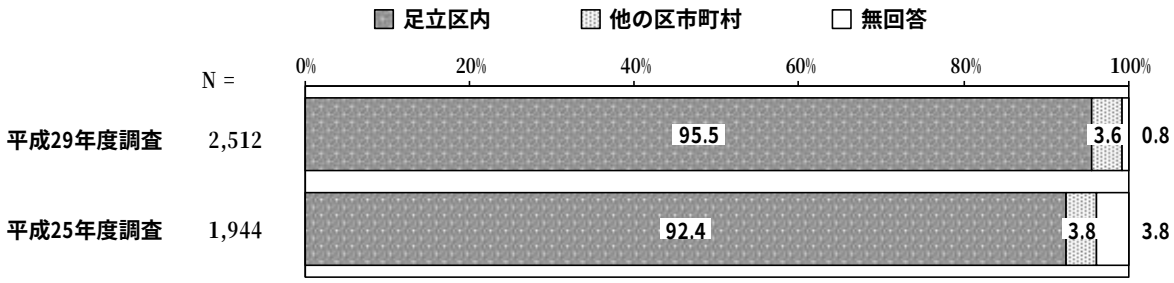
オ 現在利用している教育・保育事業の利用場所

問 10－3 ．現在、利用している教育・保育事業の利用場所は次のどれですか（◯は１つだけ）。

「足立区内」の割合が 95.5%、「他の区市町村」の割合が 3.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【現在利用している教育・保育事業の利用場所】



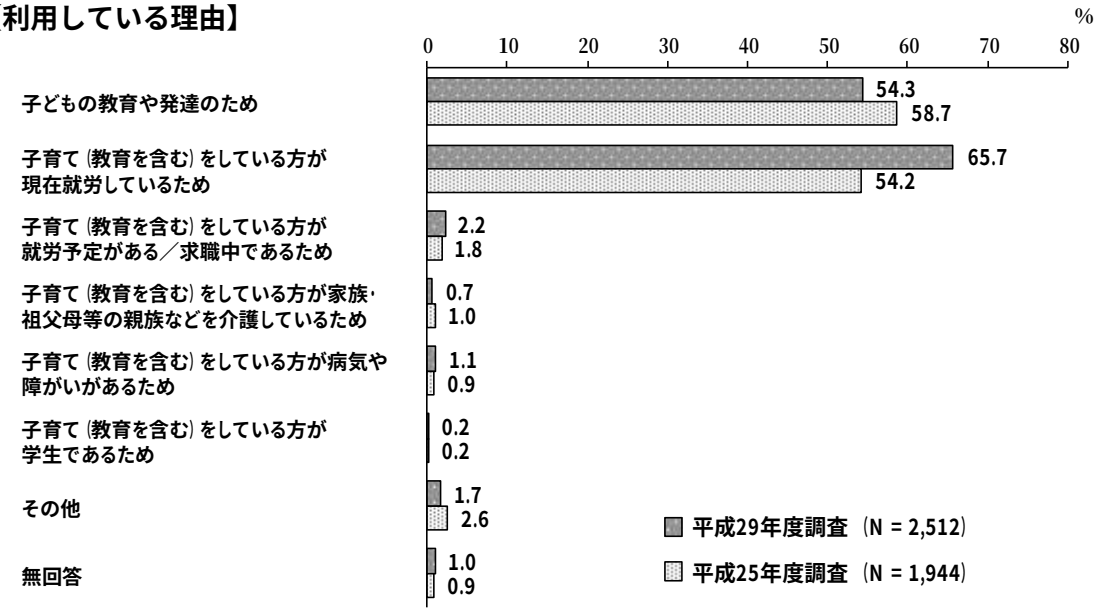
カ 教育・保育事業を定期的に利用している理由

問 10－4 ．平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由は次のどれですか（◯はあてはまるものすべて）。

「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 54.3%となっています。この２つの項目以外の回答は非常に少なくなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため」の割合が増加しています。

【利用している理由】



Ⅱ　調査結果　就学前児童（０歳～５歳）

【利用している理由・子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「子どもの教育や発達のため」の割合が高くなっています。また、０歳から２歳で「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	子どもの教育や発達のため	子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため	子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中であるため	子育て（教育を含む）をしている方が家族・祖父母等の親族などを介護しているため	子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがあるため	子育て（教育を含む）をしている方が学生であるため	その他	無回答
0歳	215	27.9	86.0	4.7	1.9	0.5	－	4.2	1.9
1歳	316	32.9	89.2	2.8	1.3	2.5	0.3	2.5	1.3
2歳	366	40.2	74.9	2.5	0.8	0.3	－	2.2	0.8
3歳	508	63.2	55.9	2.2	0.2	1.0	－	1.4	1.2
4歳	512	65.2	56.6	2.3	0.6	1.4	0.4	0.6	0.4
5歳	560	67.3	55.9	0.9	0.4	1.1	0.4	1.4	0.9

【利用している理由・母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」など就労している母親において「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため」の割合が高く、また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」と非就労の母親において「子どもの教育や発達のため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	子どもの教育や発達のため	子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため	子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中であるため	子育て（教育を含む）をしている方が家族・祖父母等の親族などを介護しているため	子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがあるため	子育て（教育を含む）をしている方が学生であるため	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1014	30.3	97.2	0.1	0.4	0.4	0.1	0.5	0.9
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	144	38.2	73.6	13.2	1.4	1.4	－	5.6	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	666	57.8	75.8	0.6	0.9	1.5	0.2	0.5	0.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	38	55.3	78.9	13.2	2.6	－	－	－	2.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	557	94.4	1.4	4.5	0.5	1.6	0.5	4.5	1.4
これまで就労したことがない	53	94.3	－	3.8	1.9	1.9	－	－	－

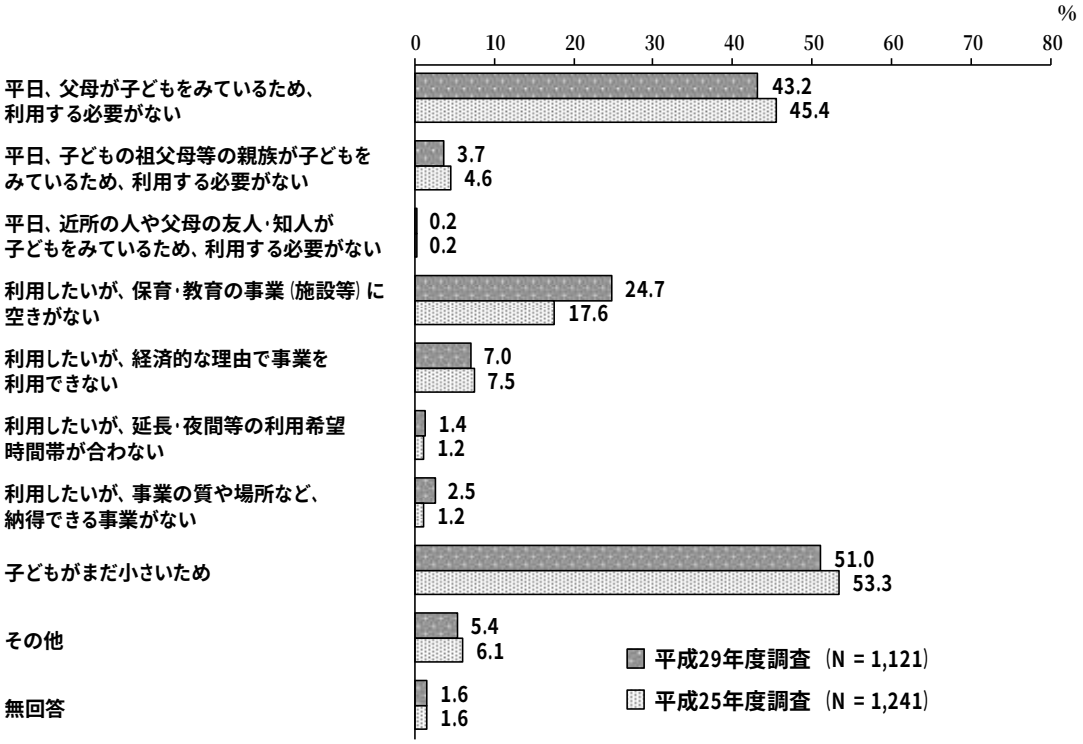
キ 教育・保育事業を定期的に利用していない理由

問 10－5 ．平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由は次のどれですか（◯はあてはまるものすべて）。

「子どもがまだ小さいため」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない」の割合が 43.2%、「利用したいが、保育・教育の事業（施設等）に空きがない」の割合が 24.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「利用したいが、保育・教育の事業（施設等）に空きがない」の割合が増加しています。

【利用していない理由】



【利用していない理由・子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、０～２歳で年齢が高くなるにつれ「平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、０歳で「子どもがまだ小さいため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない	平日、子どもの祖父母等の親族が子どもをみているため、利用する必要がない	平日、近所の人や父母の友人・知人が子どもをみているため、利用する必要がない	利用したいが、保育・教育の事業（施設等）に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
0歳	612	35.1	2.9	0.2	27.5	4.9
1歳	255	49.4	2.7	0.4	27.1	7.1
2歳	216	58.8	5.6	－	15.7	10.6
3歳	19	42.1	－	－	15.8	21.1
4歳	2	50.0	－	－	－	50.0
5歳	9	33.3	22.2	－	22.2	11.1

区分	利用したいが、延長・夜間等の利用希望時間帯が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため	その他	無回答
0歳	1.6	2.8	56.7	5.2	1.5
1歳	1.2	2.0	47.8	4.3	1.2
2歳	1.4	2.3	44.0	5.6	1.4
3歳	－	5.3	15.8	26.3	10.5
4歳	－	－	－	－	－
5歳	－	－	22.2	11.1	－

【利用していない理由・母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、「これまで就労したことがない」で「平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない」の割合が高く、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「利用したいが、保育・教育の事業（施設等）に空きがない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない	平日、子どもの祖父母等の親族が子どもをみているため、利用する必要がない	平日、近所の人や父母の友人・知人が子どもをみているため、利用する必要がない	利用したいが、保育・教育の事業（施設等）に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	18	11.1	16.7	－	66.7	11.1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	259	29.0	1.2	－	34.4	1.2
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	83	28.9	21.7	－	33.7	14.5
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	30	23.3	3.3	3.3	40.0	6.7
以前は就労していたが、現在は就労していない	680	51.2	2.2	0.1	19.1	8.5
これまで就労したことがない	37	67.6	－	－	13.5	5.4

区分	利用したいが、延長・夜間等の利用希望時間帯が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	16.7	－	27.8	5.6	5.6
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1.2	0.8	52.5	7.7	0.8
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3.6	3.6	42.2	8.4	2.4
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3.3	3.3	30.0	13.3	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	0.7	3.1	52.8	3.7	1.6
これまで就労したことがない	2.7	－	48.6	10.8	2.7

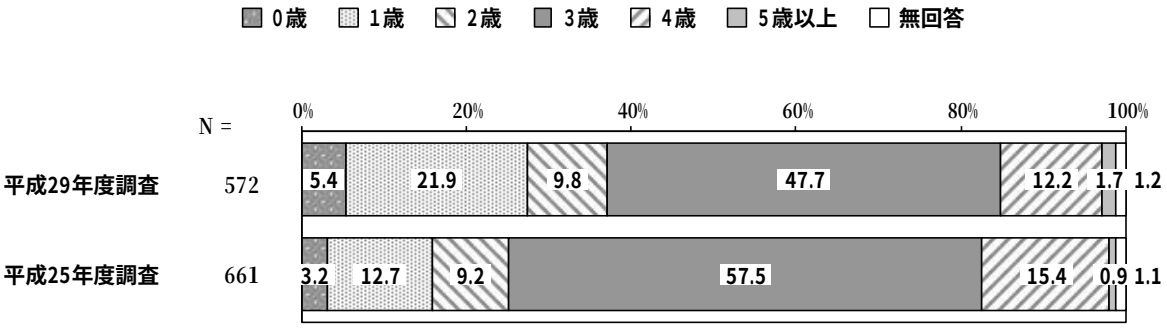
ク 教育・保育事業の利用希望年齢

問 10－６　「子どもがまだ小さいため」教育・保育事業を定期的に利用していないと回答した方に伺います。お子さんが何歳くらいになったら、平日に定期的に教育・保育事業を利用しようと考えていますか（かっこ内に数字で）。

「３歳」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「１歳」の割合が 21.9%、「４歳」の割合が 12.2%となっています。

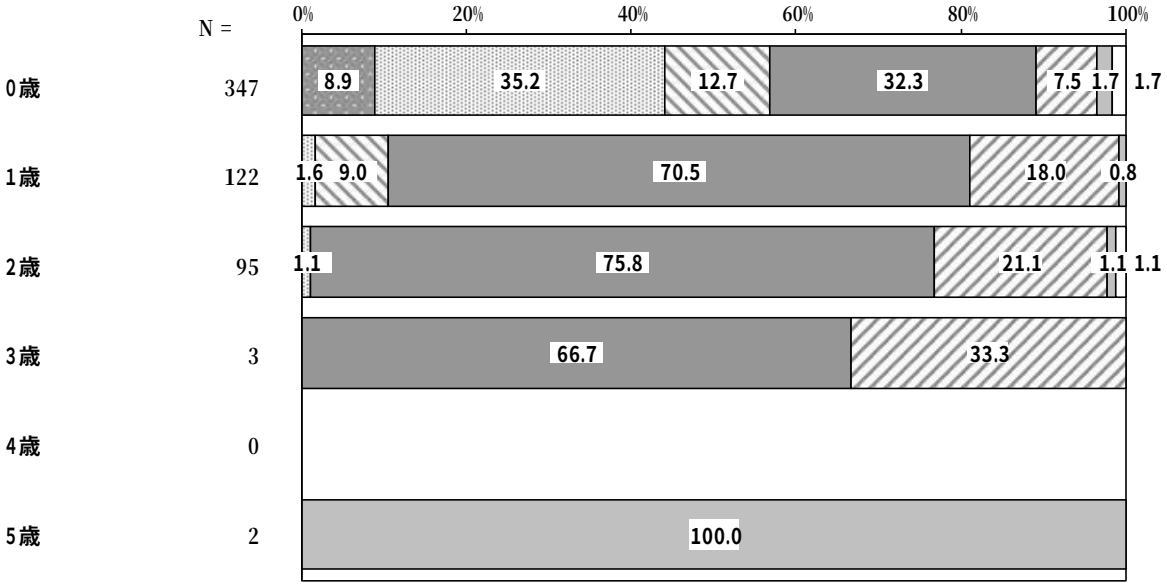
平成 25 年度調査と比較すると、「１歳」の割合が増加しています。一方、「３歳」の割合が減少しています。

【利用希望年齢】



【利用希望年齢・子どもの年齢別】

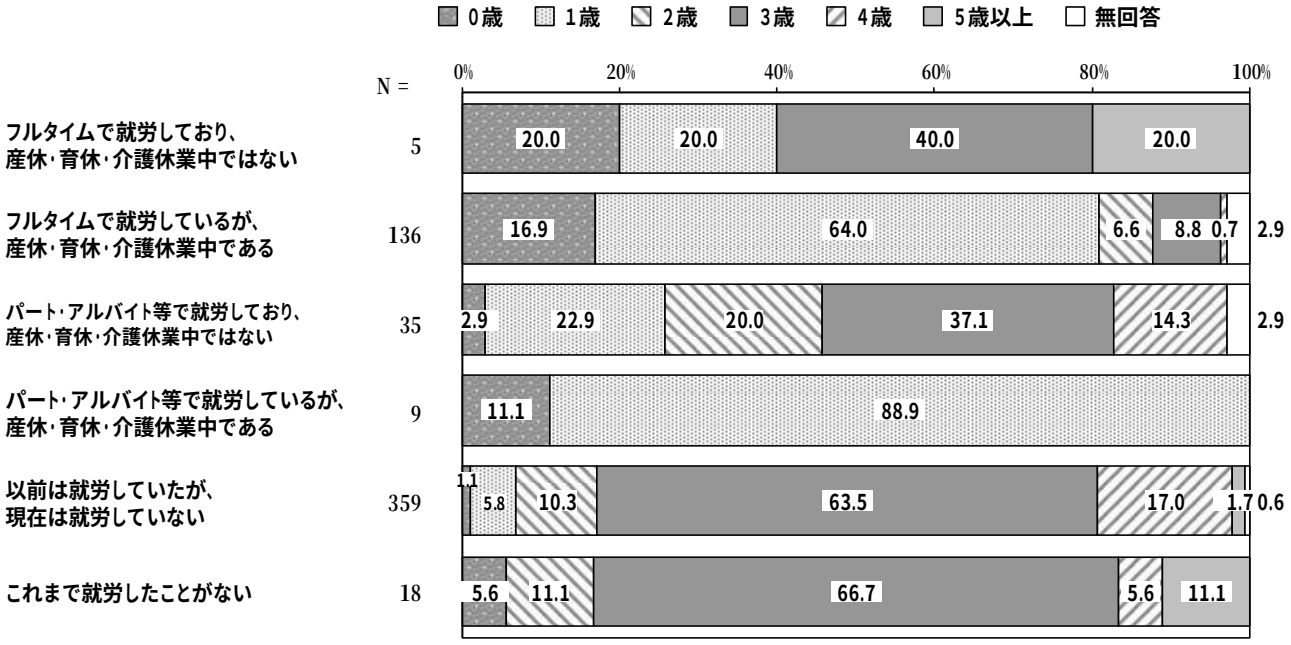
子どもの年齢別でみると、他に比べ、０歳で「１歳」の割合が、１歳、２歳で「３歳」の割合が高くなっています。



Ⅱ　調査結果　就学前児童（０歳～５歳）

【利用希望年齢・母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で「０歳」「１歳」の割合が高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」で「３歳」の割合が高くなっています。



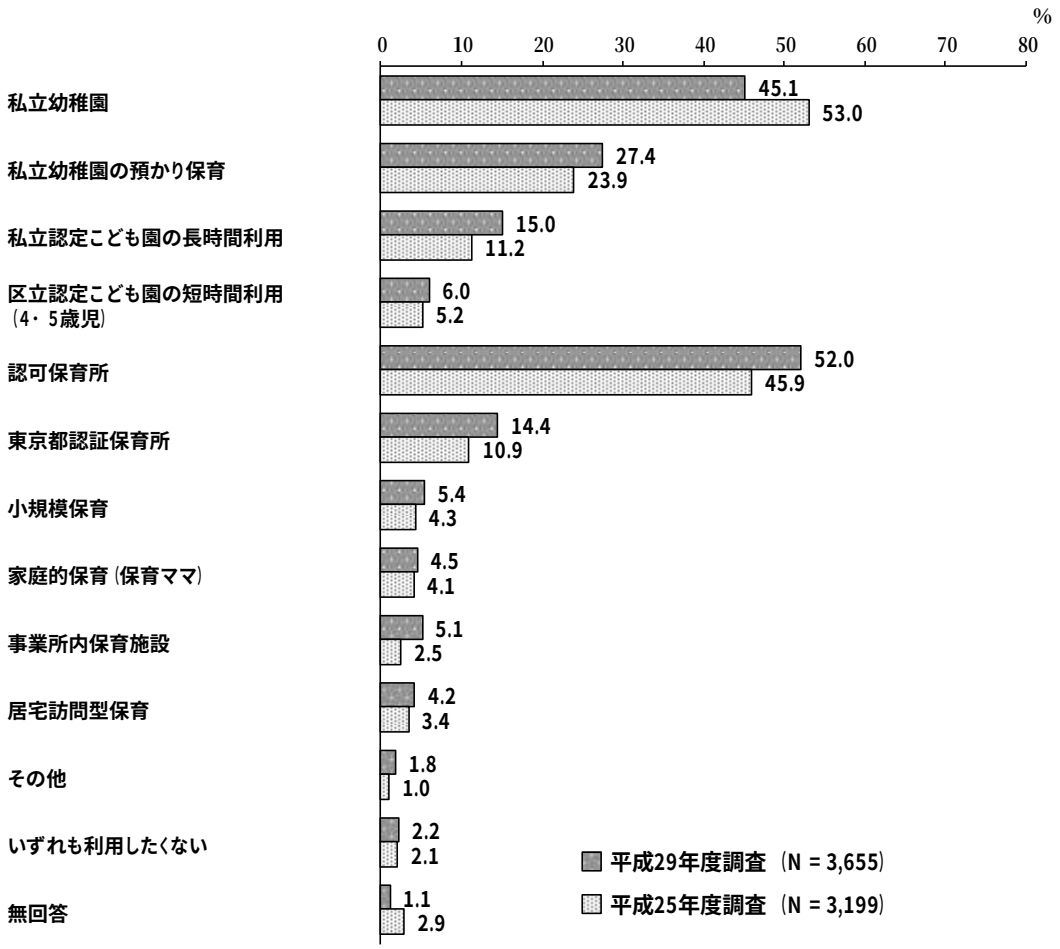
ケ 今後の定期的な教育・保育事業の利用意向

問 11．お子さんの平日の教育・保育事業について、現在、利用している、利用していないにかかわらず、定期的に利用したいと考える事業は次のどれですか（◯はあてはまるものすべて）。

「認可保育所」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「私立幼稚園」の割合が 45.1%、「私立幼稚園の預かり保育」の割合が 27.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「認可保育所」の割合が増加しています。一方、「私立幼稚園」の割合が減少しています。

【利用したい教育・保育事業の内容】



Ⅱ　調査結果　就学前児童（０歳～５歳）

【利用したい教育・保育事業の内容・子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「認可保育所」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、２歳、４歳、、５歳で「私立幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	私立幼稚園	私立幼稚園の預かり保育	私立認定こども園の長時間利用	区立認定こども園の短時間利用（4・5歳児）	認可保育所	東京都認証保育所
0歳	829	36.3	21.2	18.3	7.0	66.8	30.0
1歳	573	40.5	24.3	16.2	6.5	58.1	15.9
2歳	591	50.1	26.7	14.2	5.1	46.5	10.5
3歳	529	46.5	30.6	15.1	6.6	47.8	7.2
4歳	518	51.0	32.2	15.4	5.2	46.1	6.4
5歳	570	51.2	32.8	9.1	5.1	38.8	8.4

区分	小規模保育	家庭的保育（保育ママ）	事業所内保育施設	居宅訪問型保育	その他	いずれも利用したくない	無回答
0歳	13.1	8.4	6.4	3.7	1.7	1.4	0.6
1歳	5.2	5.2	5.2	4.5	1.7	2.4	1.0
2歳	3.0	3.2	4.2	4.9	1.7	2.4	1.2
3歳	3.2	3.2	4.9	4.0	1.9	3.2	0.8
4歳	2.5	2.9	6.0	5.0	2.3	1.7	1.2
5歳	1.6	2.5	3.9	3.7	1.2	2.6	1.8

【利用したい教育・保育事業の内容・母親の就労状況別別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で「認可保育所」の割合が高くなっています。また、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「私立幼稚園の預かり保育」の割合が高く、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で「東京都認証保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	私立幼稚園	私立幼稚園の預かり保育	私立認定こども園の長時間利用	区立認定こども園の短時間利用（4・5歳児）	認可保育所	東京都認証保育所
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1033	15.3	17.4	17.8	3.4	79.7	11.5
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	403	14.4	15.9	19.1	1.7	87.3	29.5
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	750	44.8	34.7	14.3	6.4	48.3	11.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	68	23.5	19.1	14.7	7.4	67.6	27.9
以前は就労していたが、現在は就労していない	1254	77.9	36.7	12.9	9.2	22.7	13.6
これまで就労したことがない	90	81.1	21.1	6.7	8.9	15.6	10.0

区分	小規模保育	家庭的保育（保育ママ）	事業所内保育施設	居宅訪問型保育	その他	いずれも利用したくない	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	2.4	2.4	5.1	6.6	2.7	2.0	1.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10.2	4.7	6.5	3.0	1.7	0.7	0.2
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	4.7	5.1	4.5	2.9	1.9	1.5	1.5
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	13.2	13.2	7.4	4.4	－	－	1.5
以前は就労していたが、現在は就労していない	6.3	5.0	5.3	3.7	1.2	3.2	1.1
これまで就労したことがない	5.6	5.6	2.2	－	－	4.4	－

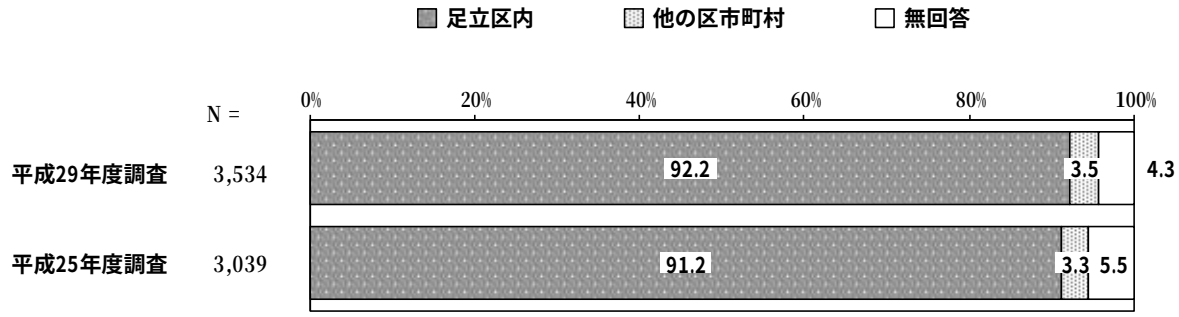
コ 今後の定期的な教育・保育事業の利用したい場所

問 11－1 ． 教育・保育事業を利用したい場所は次のどれですか（◯は１つだけ）。

「足立区内」の割合が 92.2%、「他の区市町村」の割合が 3.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【教育・保育事業を利用したい場所】



（５）職場の両立支援制度について

① 育児休業について

問 12．お子さんが生まれたとき、母親・父親のいずれかもしくは双方が、育児休業を取得しましたか。母親・父親それぞれについてお答えください（それぞれ◯は１つだけ）。
また、取得していない場合、取得していない理由は次のどれですか（◯はあてはまるものすべて）。

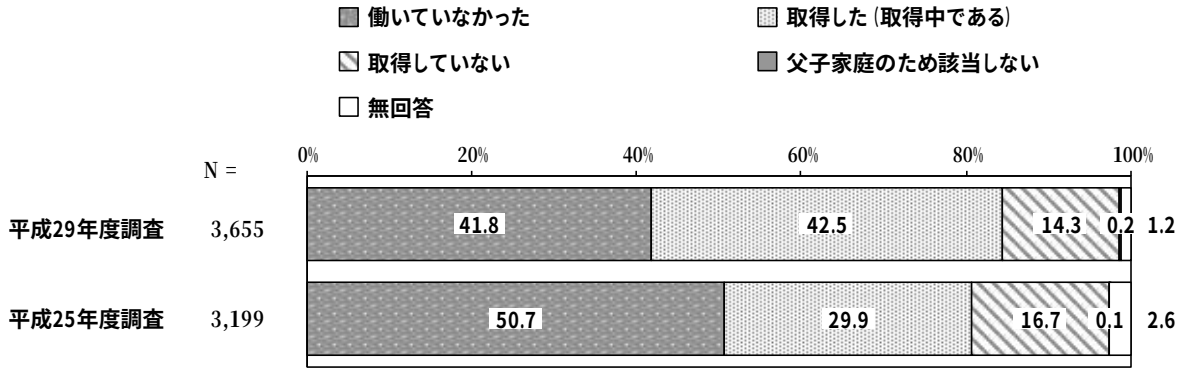
ア 育児休業の取得状況

（a）母親

「取得した（取得中である）」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 41.8%、「取得していない」の割合が 14.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「取得した（取得中である）」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。

【育児休業の取得状況（母親）】

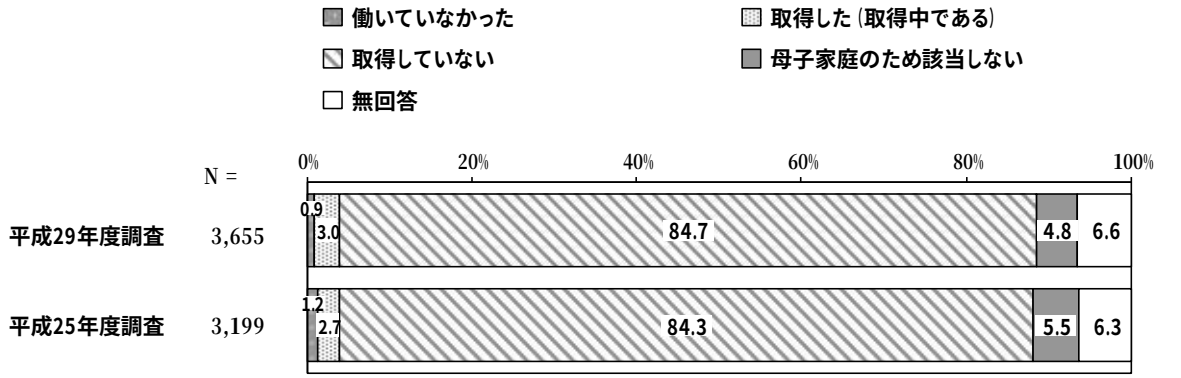


（b）父親

「取得していない」の割合が 84.7%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【育児休業の取得状況（父親）】



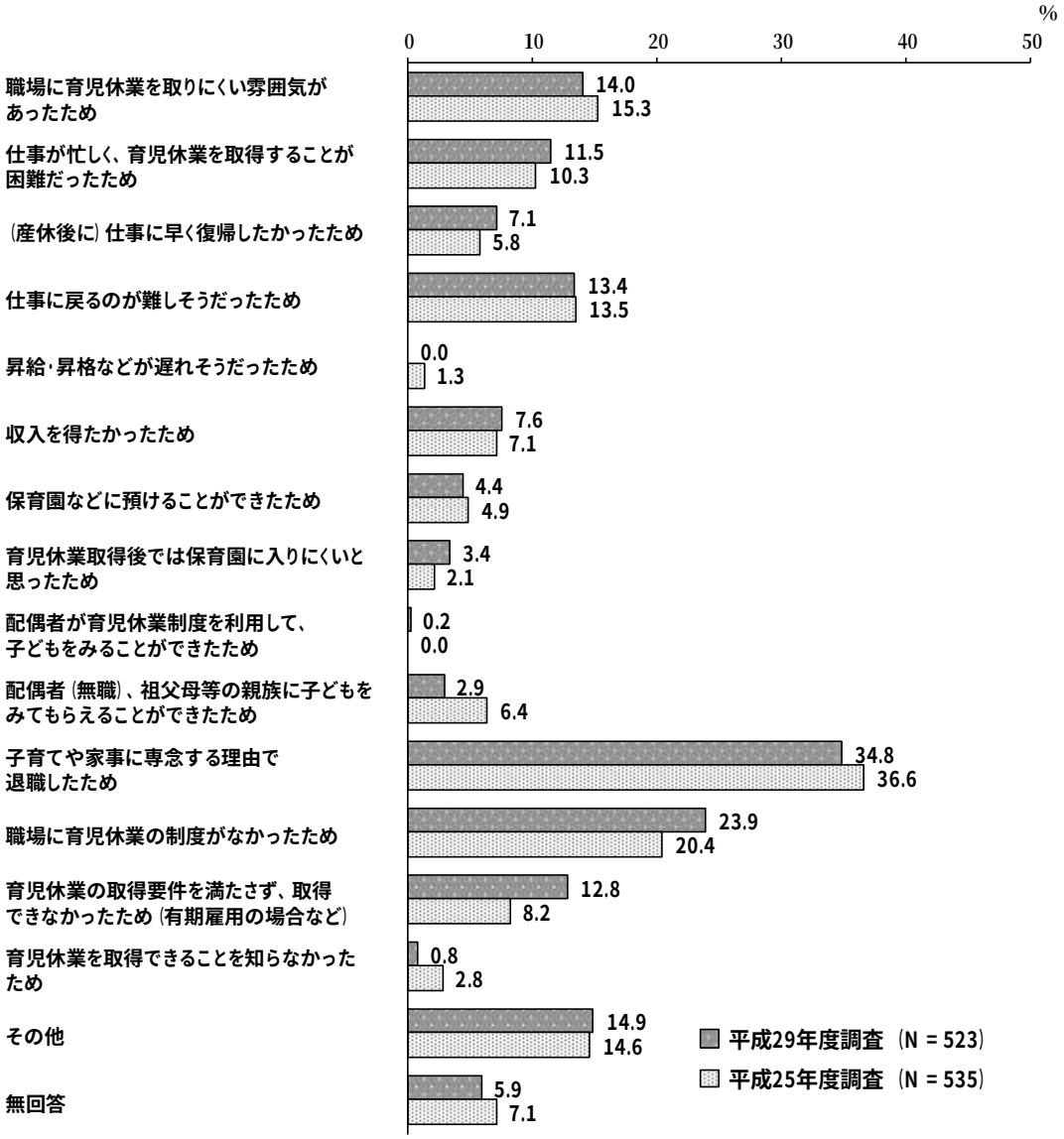
イ 育児休業を取得していない理由

（ａ）母親

「子育てや家事に専念する理由で退職したため」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかったため」の割合が 23.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」の割合が 14.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【育児休業を取得しなかった理由（母親）】



【育児休業を取得しなかった理由（母親）・母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「子育てや家事に専念する理由で退職したため」の割合が高くなっています。また、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」で「仕事が忙しく、育児休業を取得することが困難だったため」「（産休後に）仕事に早く復帰したかったため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため	仕事が忙しく、育児休業を取得することが困難だったため	（産休後に）仕事に早く復帰したかったため	仕事に戻るのが難しそうだったため	昇給・昇格などが遅れそうだったため	収入を得たかったため	保育園などに預けることができたため	育児休業取得後では保育園に入りにくいと思ったため
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	117	15.4	27.4	19.7	9.4	－	17.1	9.4	5.1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	3	－	－	－	－	－	－	－	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	174	12.6	10.3	5.7	14.4	－	9.2	4.6	4.6
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	11	18.2	9.1	9.1	9.1	－	18.2	－	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	198	14.1	4.0	1.5	15.7	－	1.0	1.5	2.0
これまで就労したことがない	7	14.3	－	－	－	－	－	－	－

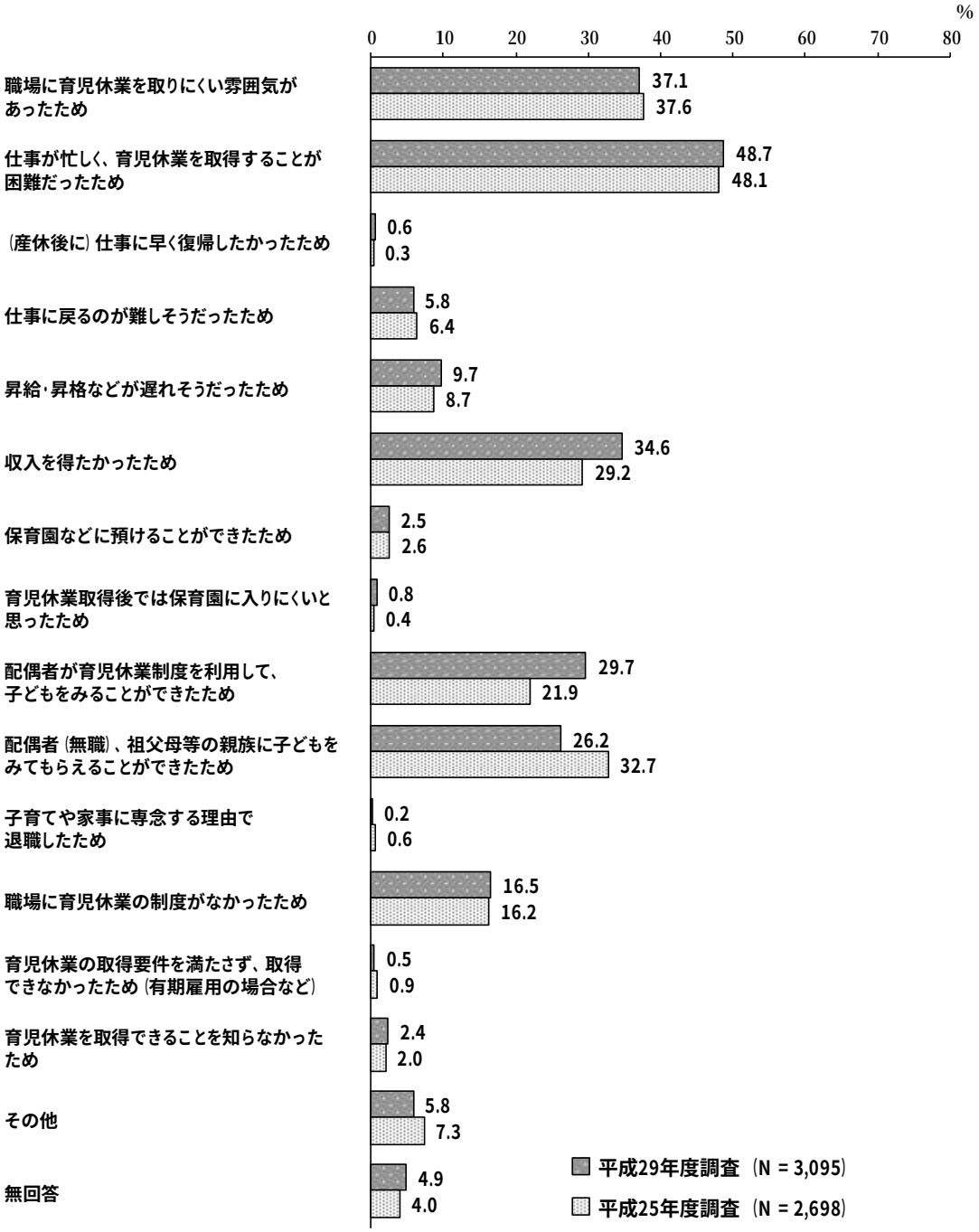
区分	配偶者が育児休業制度を利用して、子どもをみることができたため	配偶者（無職）、祖父母等の親族に子どもをみてもらえることができたため	子育てや家事に専念する理由で退職したため	職場に育児休業の制度がなかったため	育児休業の取得要件を満たさず、取得できなかったため（有期雇用の場合など）	育児休業を取得できることを知らなかったため	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	－	6.0	9.4	28.2	17.9	0.9	19.7	1.7
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	－	－	－	－	66.7	－	33.3	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	0.6	1.7	29.3	31.6	13.2	1.7	17.8	7.5
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	－	－	45.5	－	9.1	－	27.3	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	－	1.5	54.5	16.7	9.6	－	9.1	7.6
これまで就労したことがない	－	－	57.1	14.3	－	－	14.3	14.3

（ｂ）父親

「仕事が忙しく、育児休業を取得することが困難だったため」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」の割合が 37.1%、「収入を得たかったため」の割合が 34.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「収入を得たかったため」「配偶者が育児休業制度を利用して、子どもをみることができたため」の割合が増加しています。一方、「配偶者（無職）、祖父母等の親族に子どもをみてもらえることができたため」の割合が減少しています。

【育児休業を取得しなかった理由（父親）】



ウ 育児休業取得後の職場復帰の有無

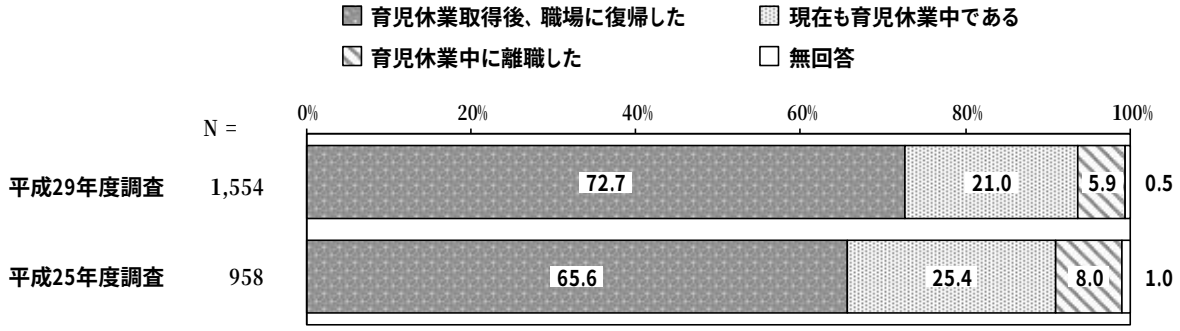
問 12－1．育児休業取得後、職場に復帰しましたか（それぞれ○は１つだけ）。

（a）母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 72.7%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 21.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が増加しています。

【育児休業取得後の職場復帰の有無（母親）】

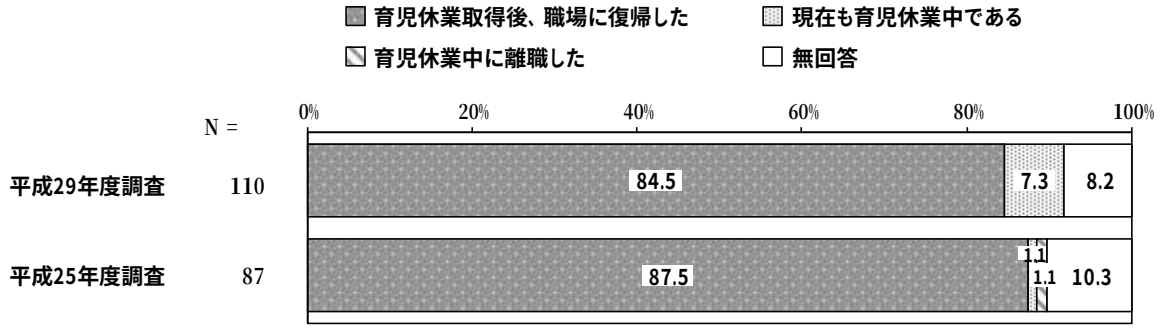


（b）父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 84.5%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「現在も育児休業中である」の割合が増加しています。

【育児休業取得後の職場復帰の有無（父親）】



エ 育児休業取得後の職場復帰のタイミング

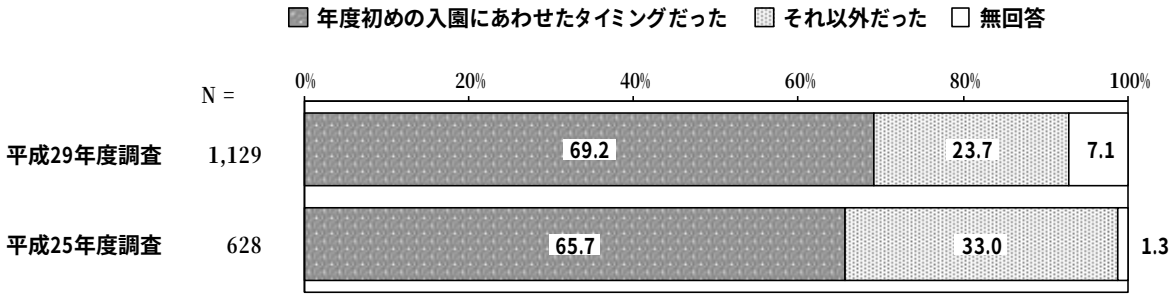
問 12－2. 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか（◯は１つだけ）。

（a）母親

「年度初めの入園にあわせたタイミングだった」の割合が 69.2%、「それ以外だった」の割合が 23.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「それ以外だった」の割合が減少しています。

【育児休業取得後の職場復帰のタイミング（母親）】

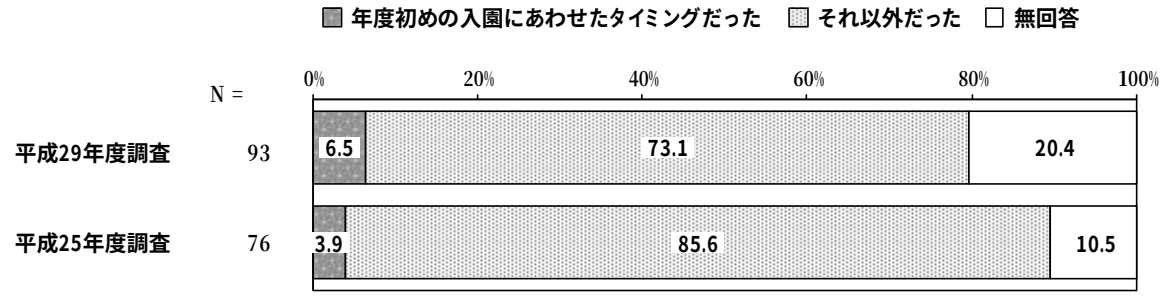


（b）父親

「年度初めの入園にあわせたタイミングだった」の割合が 6.5%、「それ以外だった」の割合が 73.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「それ以外だった」の割合が減少しています。

【育児休業取得後の職場復帰のタイミング（父親）】



オ 実際の育児休業取得期間と希望する育児休業取得期間

**問 12－3．育児休業からは、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか（かっこ内に数字で）。**

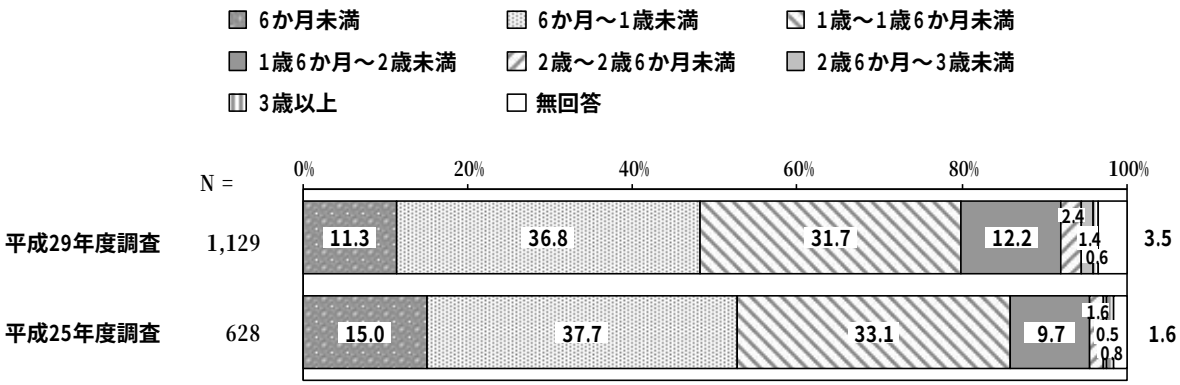
（ａ）母親

（ア）実際の取得期間

「６か月～１歳未満」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「１歳～１歳６か月未満」の割合が 31.7%、「１歳６か月～２歳未満」の割合が 12.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【実際の育児休業取得期間（母親）】

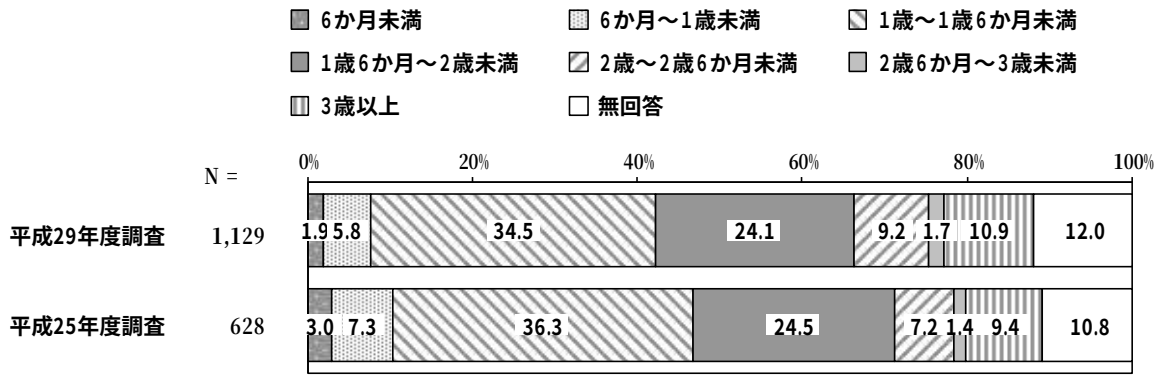


（イ）希望する取得期間

「１歳～１歳６か月未満」の割合が 34.5%と最も高く、次いで「１歳６か月～２歳未満」の割合が 24.1%、「３歳以上」の割合が 10.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【希望する育児休業取得期間（母親）】

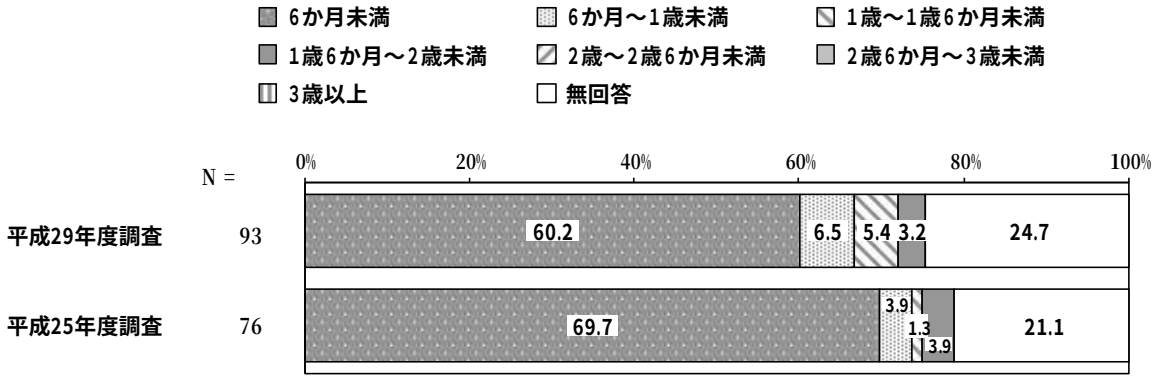


（ｂ）父親

（ア）実際の取得期間

「６か月未満」の割合が 60.2%と最も高くなっています。
平成 25 年度調査と比較すると、「６か月未満」の割合が減少しています。

【実際の育児休業取得期間（父親）】

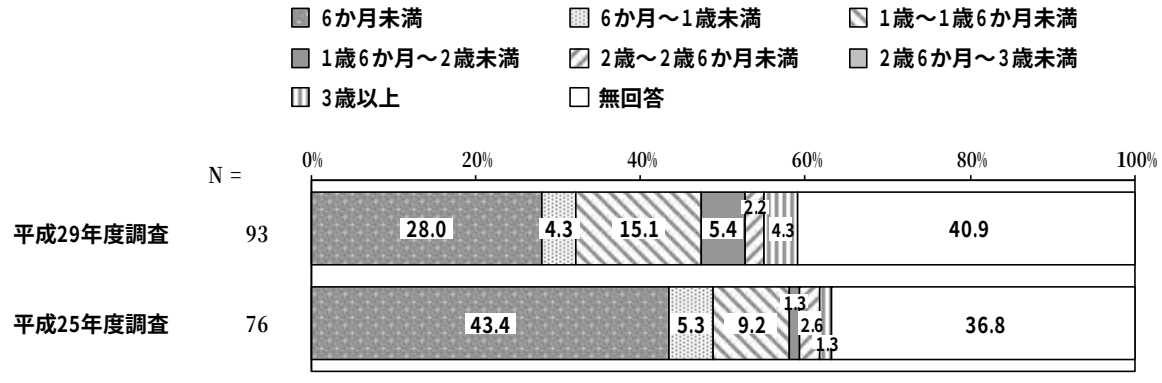


（イ）希望の取得期間

「６か月未満」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「１歳～１歳６か月未満」の割合が 15.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「１歳～１歳６か月未満」の割合が増加しています。一方、「６か月未満」の割合が減少しています。

【希望する育児休業取得期間（父親）】



カ 育児休業から希望の時期に復帰しなかった理由

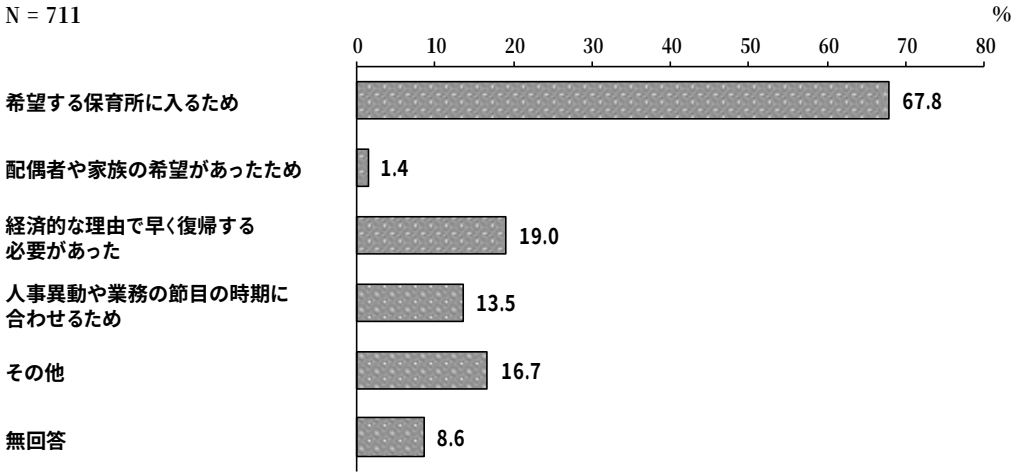
問 12－4．希望の時期に職場復帰しなかった（できなかった）理由は、次のうちどれですか（○はあてはまるものすべて）。

（ａ）希望より早く職場復帰した方

（ア）母親

「希望する保育所に入るため」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 19.0%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 13.5%となっています。

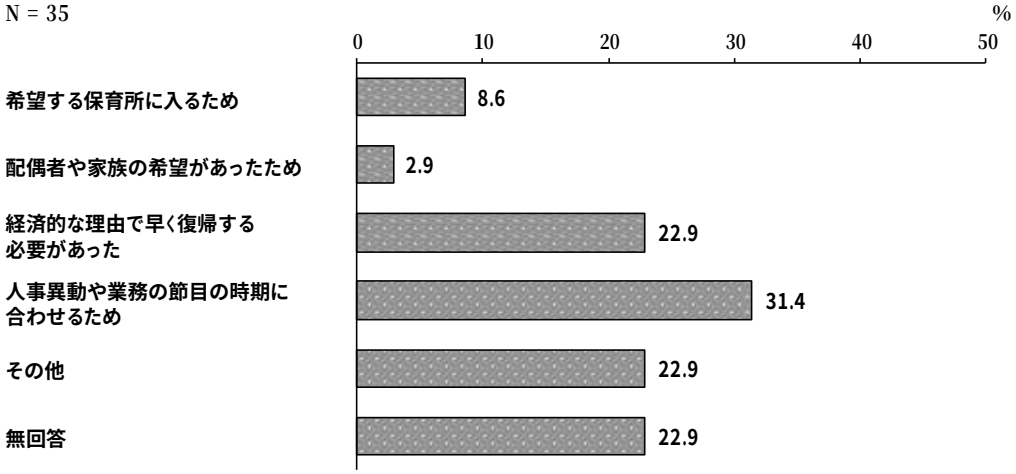
【希望より早く職場復帰した理由（母親）】



（イ）父親

「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が 22.9%となっています。

【希望より早く職場復帰した理由（父親）】

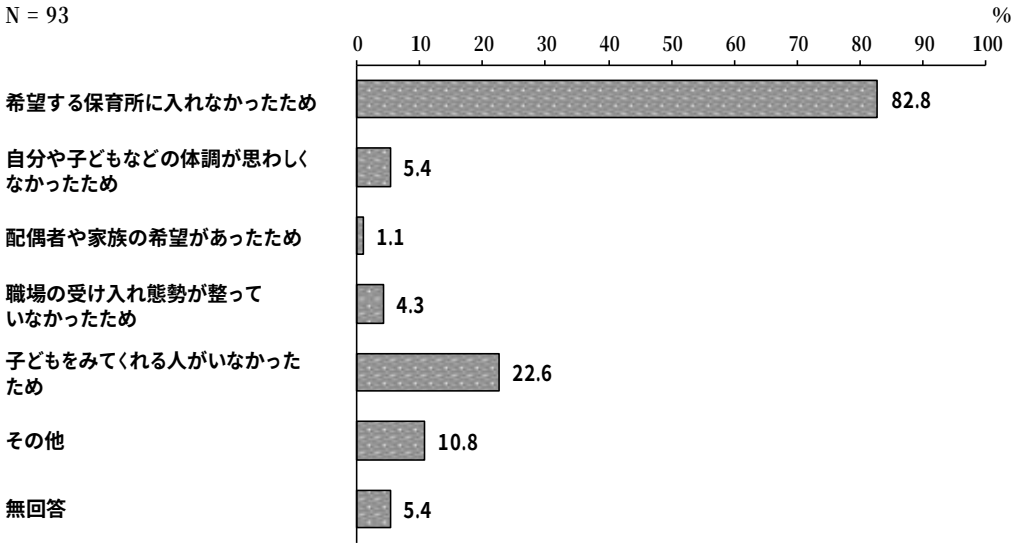


（ｂ）希望より遅く職場復帰した方

（ア）母親

「希望する保育所に入れなかったため」の割合が 82.8%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が 22.6%となっています。

【希望より遅く職場復帰した理由（母親）】



（イ）父親

有効回答はありません。

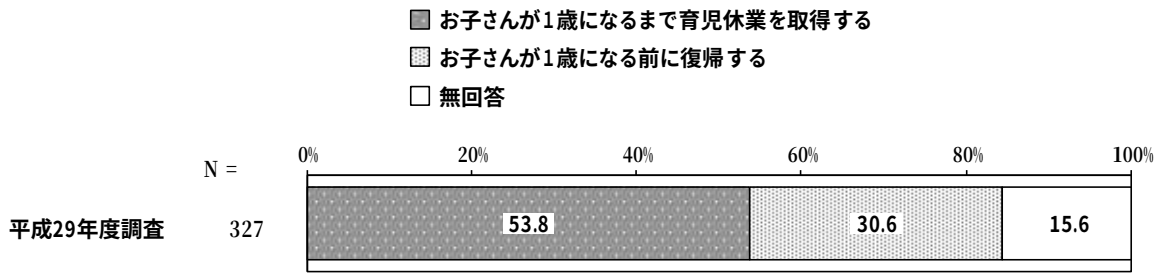
キ 育児休業の取得予定

問 12－5．現在も育児休業中の方にお聞きします。いつまで育児休業を取得する予定ですか（それぞれ○は１つだけ）。

（a）母親

「お子さんが１歳になるまで育児休業を取得する」の割合が 53.8%、「お子さんが１歳になる前に復帰する」の割合が 30.6%となっています。

【育児休業期間の予定（母親）】



（b）父親

「宛名のお子さんが１歳になるまで育児休業を取得する」が 3 件、「お子さんが１歳になる前に復帰する」が 5 件となっています。

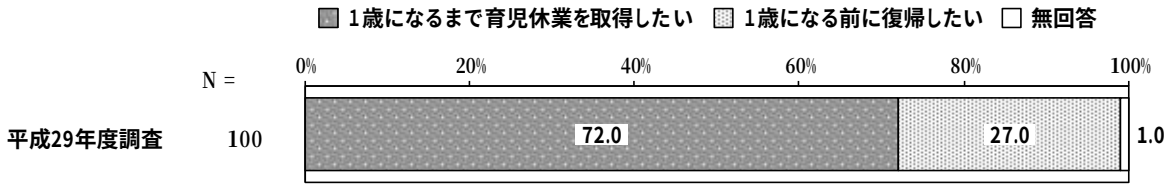
ク　１歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得

問 12－6．問 12－5 で「お子さんが１歳になる前に復帰する」と回答した方に伺います。お子さんが１歳になったときに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか（それぞれ◯は１つだけ）。

（ａ）母親

「１歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が 72.0%、「１歳になる前に復帰したい」の割合が 27.0%となっています。

【子どもが１歳時点で利用できる事業がある場合の育児休業期間（母親）】



（ｂ）父親

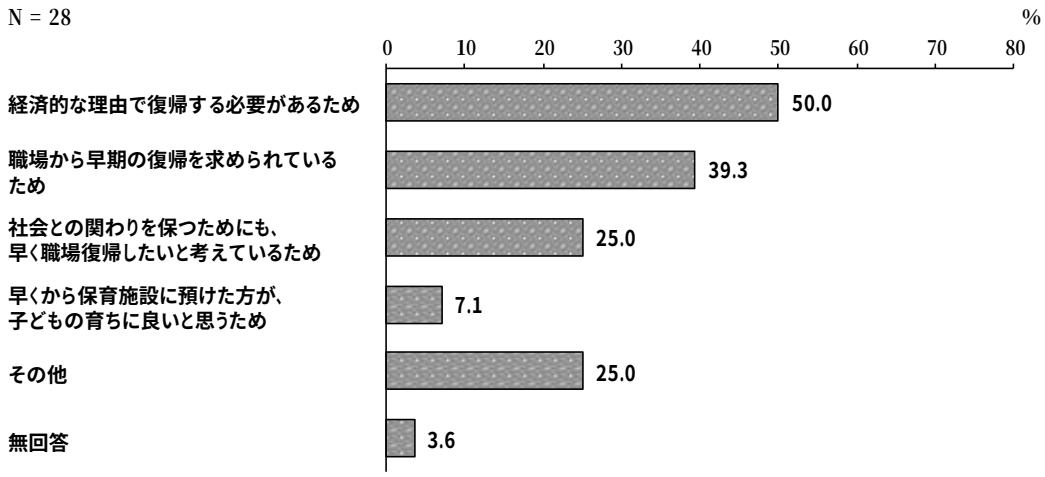
「１歳になるまで育児休業を取得したい」が 3 件、「１歳になる前に復帰したい」が 1 件となっています。

ケ　１歳になる前に育児休業から復帰したい理由

問 12－7．問 12－6 で「１歳になる前に復帰したい」と回答した方に伺います。１歳になる前に復帰したい理由は、次のうちどれですか（◯はあてはまるものすべて）。

「経済的な理由で復帰する必要があるため」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「職場から早期の復帰を求められているため」の割合が 39.3%、「社会との関わりを保つためにも、早く職場復帰したいと考えているため」の割合が 25.0%となっています。

【子どもが１歳になる前に復帰したい理由】



2　就学後児童（１年生～６年生）調査

（１）居住地区について

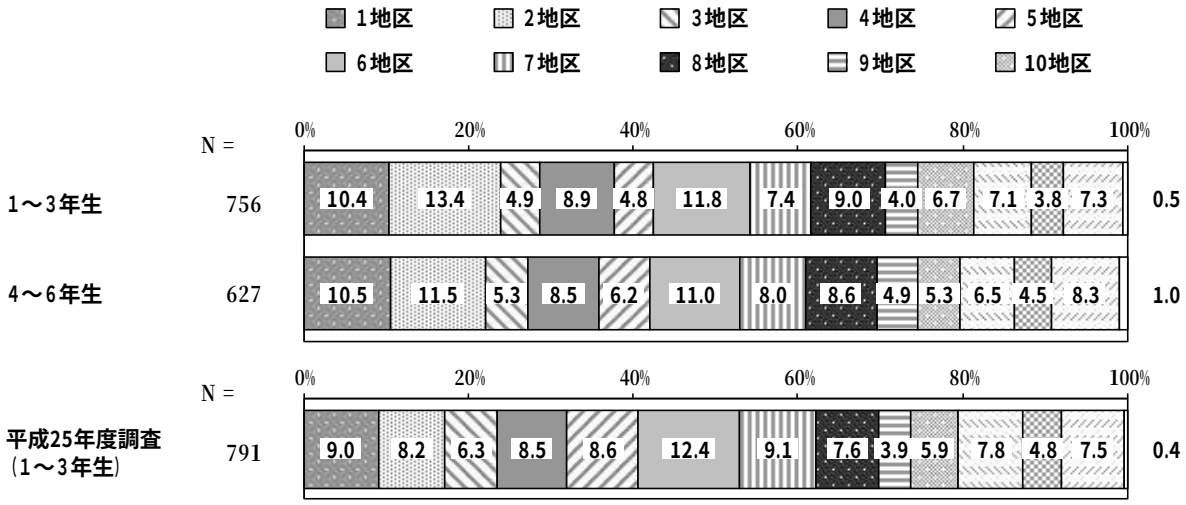
問１．お住まいの地区をご記入ください。

小学校低学年では、「２地区」の割合が 13.4%と最も高く、次いで「６地区」の割合が 11.8%、「１地区」の割合が 10.4%となっています。

小学校高学年では、「２地区」の割合が 11.5%と最も高く、次いで「６地区」の割合が 11.0%、「１地区」の割合が 10.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「２地区」の割合が増加しています。

【居住地区】



（２）子どもと家族の状況について

① お子さんの年齢

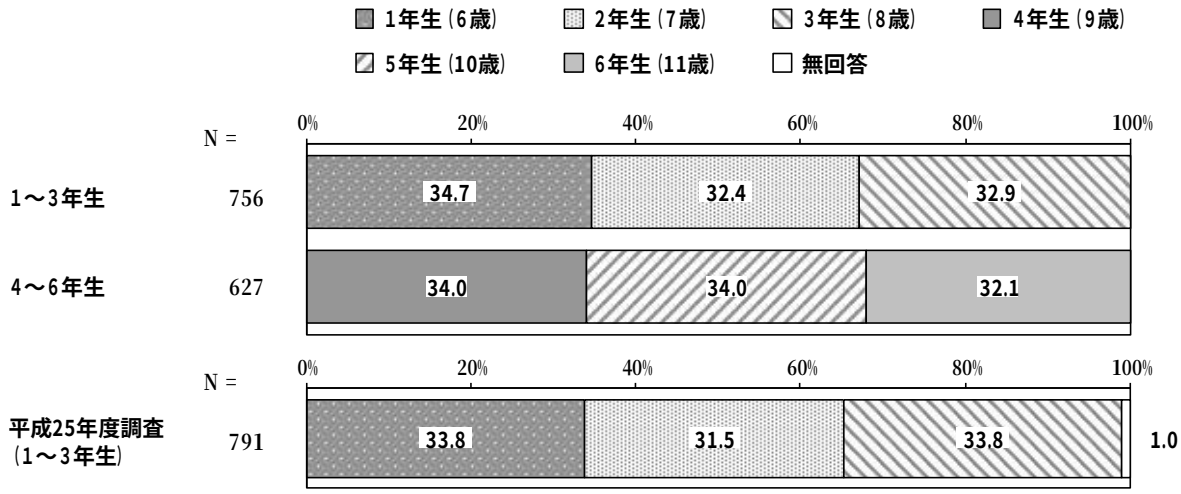
問２．お子さんの生年月をご記入ください。

小学校低学年では、「１年生（６歳）」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「３年生（８歳）」の割合が 32.9%、「２年生（７歳）」の割合が 32.4%となっています。

小学校高学年では、「４年生（９歳）」、「５年生（10 歳）」の割合が 34.0%と最も高く、次いで、「６年生（11 歳）」の割合が 32.1%となっています。

いずれも、ほぼ均等の回答比率となっています。

【児童の年齢（生年月）】



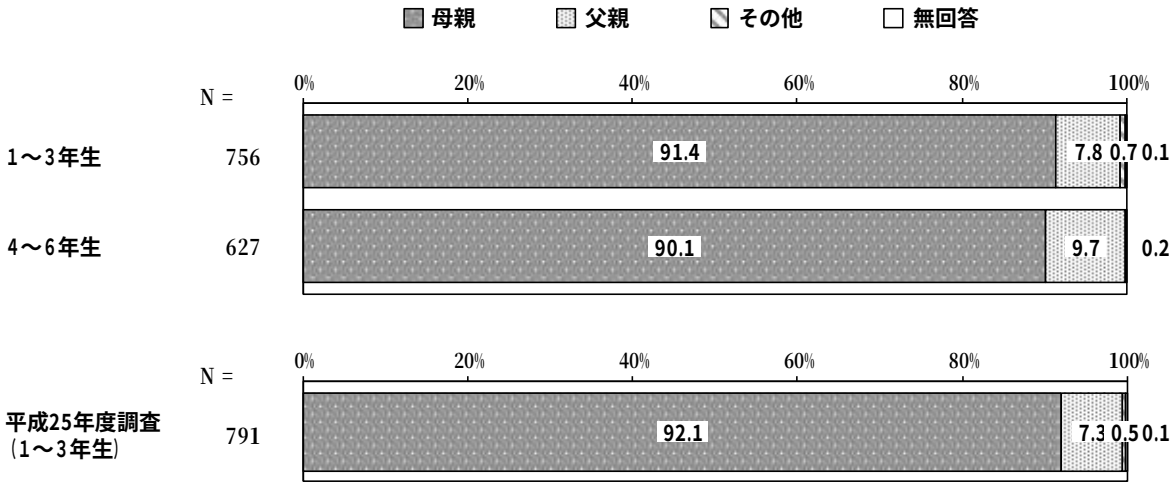
② 調査票の記入者

問３．この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください（◯は１つだけ）。

小学校低学年では、「母親」の割合が 91.4%、「父親」の割合が 7.8%となっています。
小学校高学年では、「母親」の割合が 90.1%、「父親」の割合が 9.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【調査票の記入者】



③ 調査票の記入者の配偶者の有無

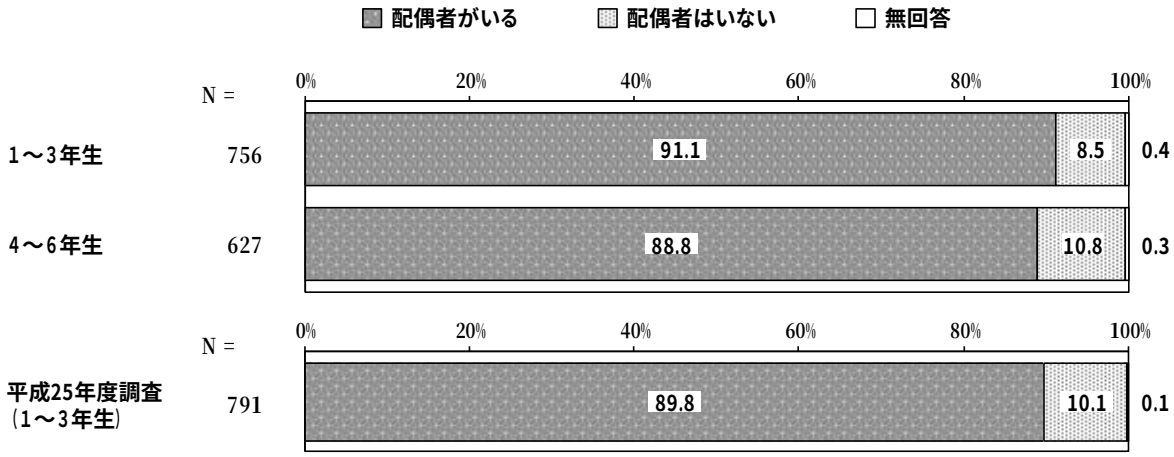
問４．この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか（◯は１つだけ）。

小学校低学年では、「配偶者がいる」の割合が 91.1%、「配偶者はいない」の割合が 8.5%となっています。

小学校高学年では、「配偶者がいる」の割合が 88.8%、「配偶者はいない」の割合が 10.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【記入者の配偶者】



④ 子育てを主に行っている方

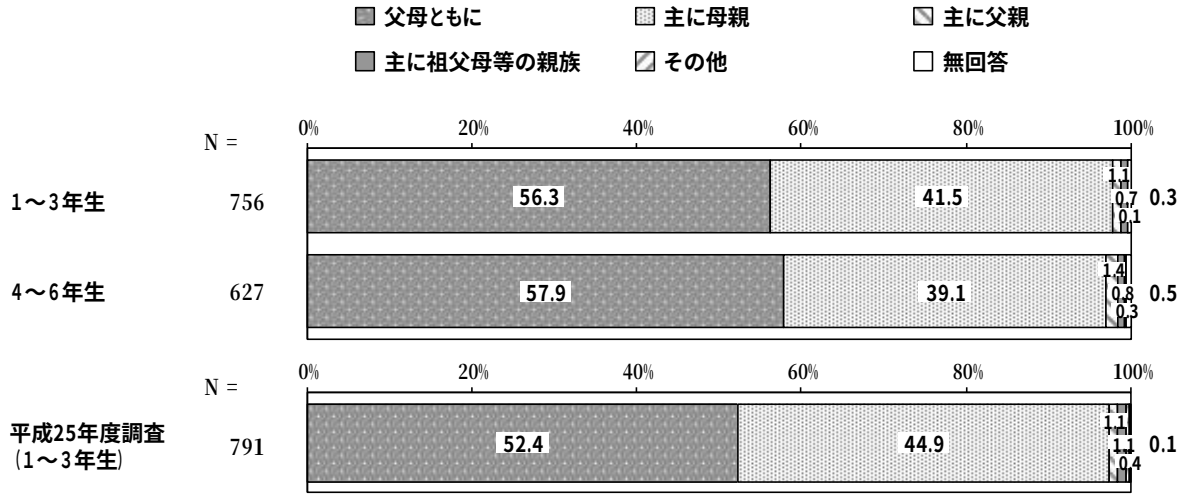
問５．宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください（○は１つだけ）。

小学校低学年では、「父母ともに」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 41.5%となっています。

小学校高学年では、「父母ともに」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 39.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【子育てを主に行っている方】



（３）保護者の就労状況について

① 母親

ア 母親の就労状況

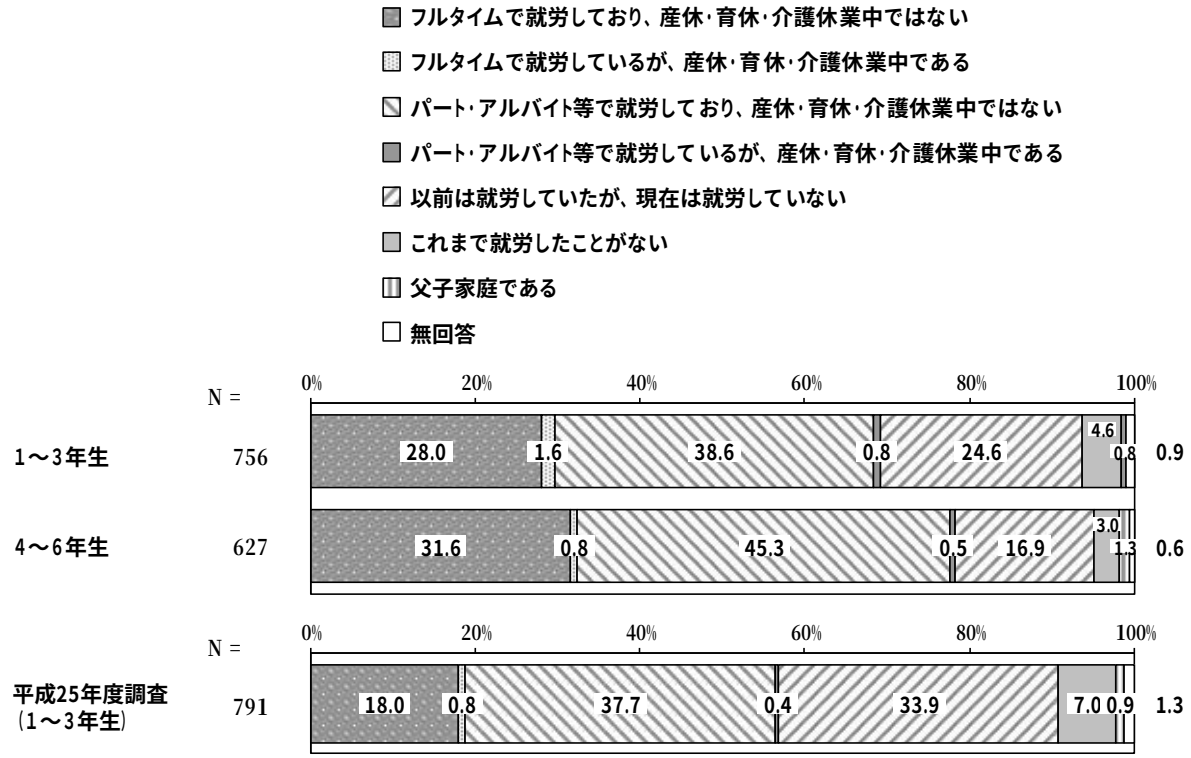
問６．お母さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（◯は１つだけ）。

小学校低学年では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 28.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 24.6%となっています。

小学校高学年では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 31.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 16.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が増加しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が減少しています。就学前調査（０歳～５歳）と同様の傾向が見受けられます。

【母親の就労状況と就労形態】



イ フルタイムの母親の就労状況

問６－1．お母さまの「（ａ）就労日数」「（ｂ）就労時間（通勤時間・残業時間を含む）」「（ｃ）出勤時刻」「（ｄ）「帰宅時刻」についてお答えください（かっこ内に数字で）。

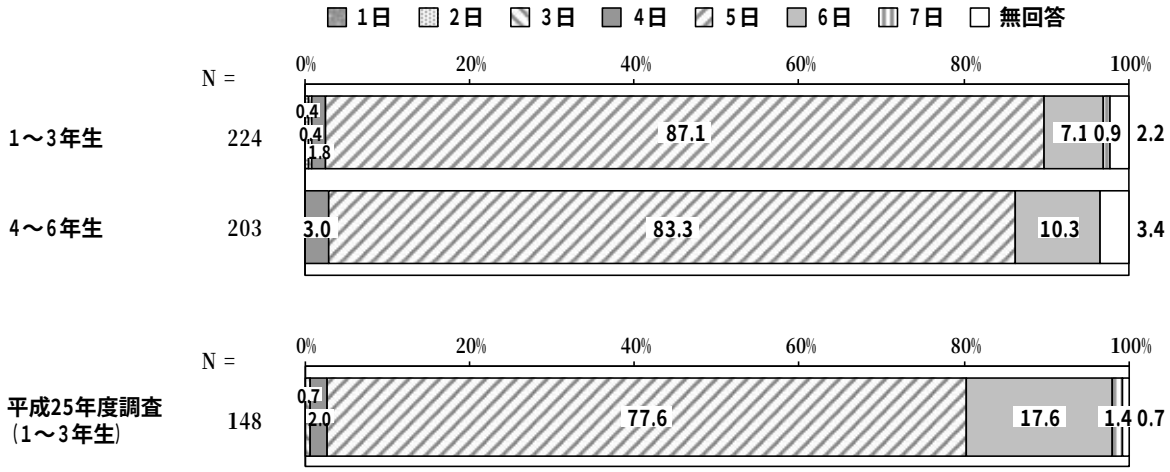
（ａ）１週あたり就労日数

小学校低学年では、「５日」の割合が 87.1%と最も高くなっています。

小学校高学年では、「５日」の割合が 83.3%と最も高く、次いで「６日」の割合が 10.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。一方、「６日」の割合が減少しています。

【フルタイムの母親の就労日数（1 週あたり）】



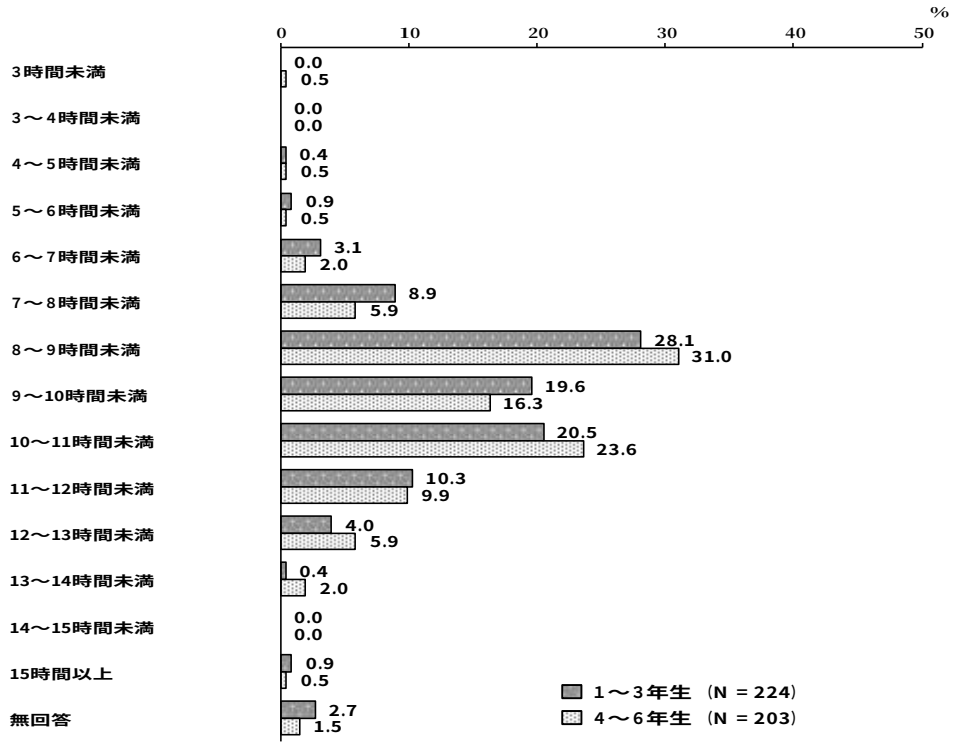
（ｂ）１日あたり就労時間（通勤、残業時間を含む）

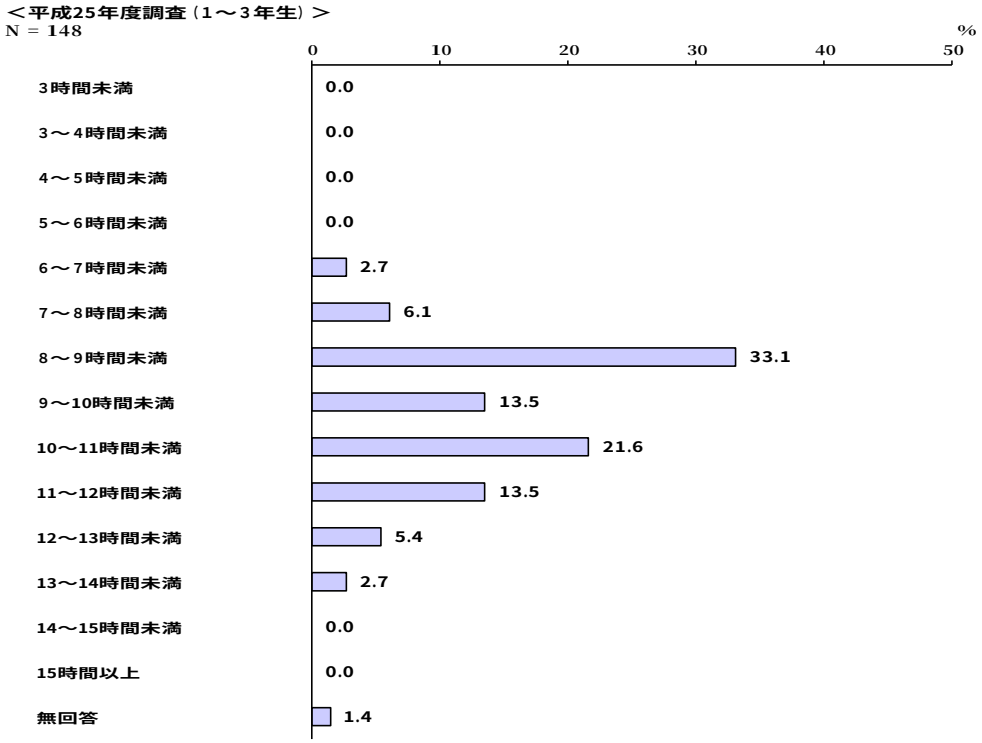
小学校低学年では、「８～９時間未満」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「10～11 時間未満」の割合が 20.5%、「９～10 時間未満」の割合が 19.6%となっています。

小学校高学年では、「８～９時間未満」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「10～11 時間未満」の割合が 23.6%、「９～10 時間未満」の割合が 16.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「９～10 時間未満」の割合が増加しています。

【フルタイムの母親の就労時間（１日あたり）】





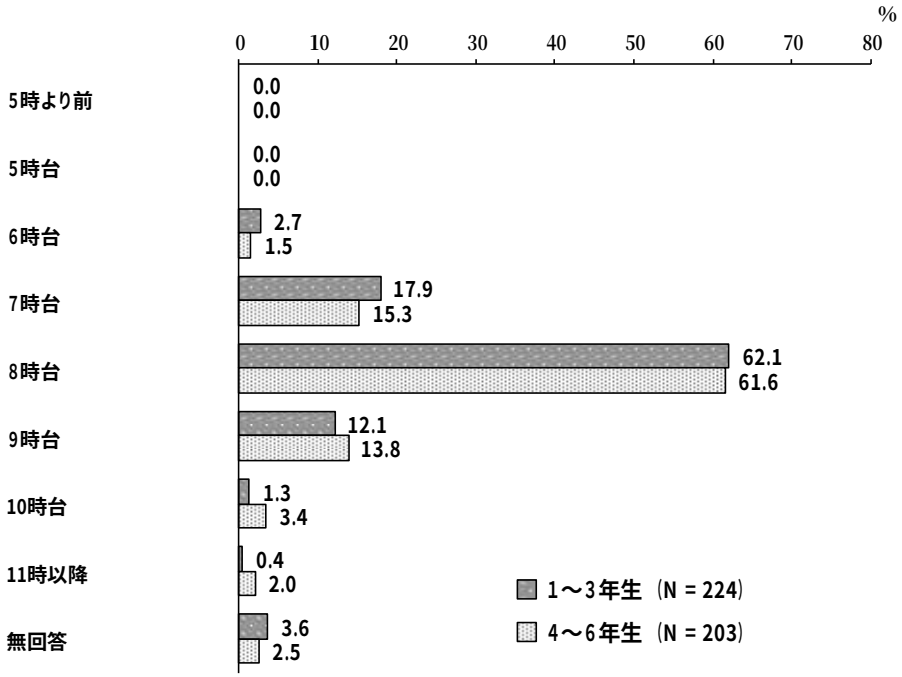
（ｃ）出勤時刻

小学校低学年では、「８時台」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「７時台」の割合が 17.9%、「９時台」の割合が 12.1%となっています。

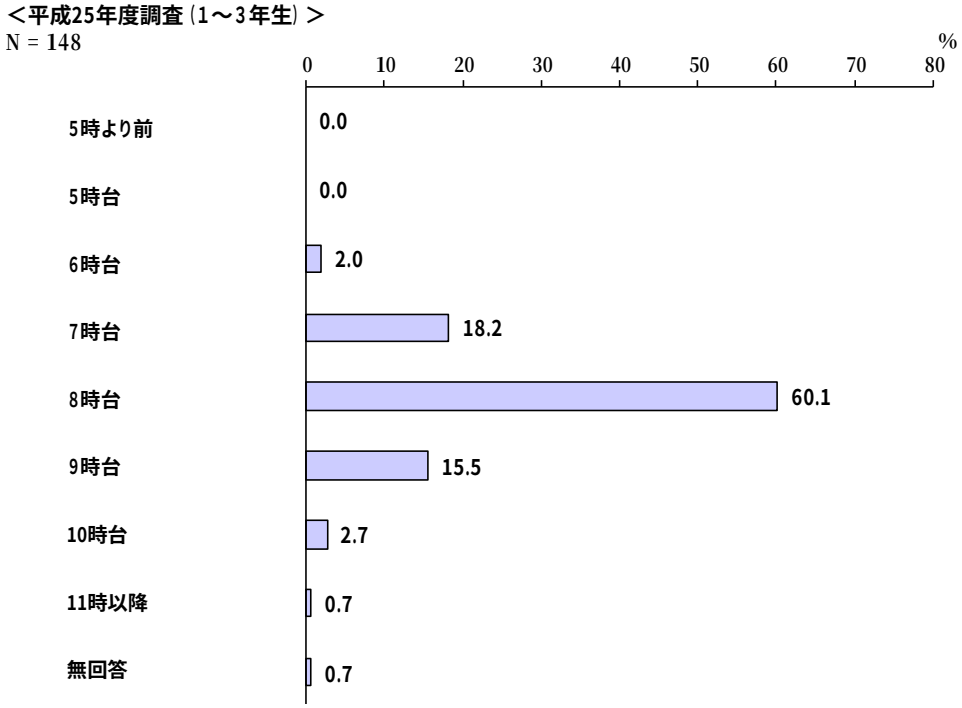
小学校高学年では、「８時台」の割合が 61.6%と最も高く、次いで「７時台」の割合が 15.3%、「９時台」の割合が 13.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【フルタイムの母親の出勤時刻】



＜平成25年度調査（1～3年生）＞



Ⅱ　調査結果　就学後児童（１年生～６年生）

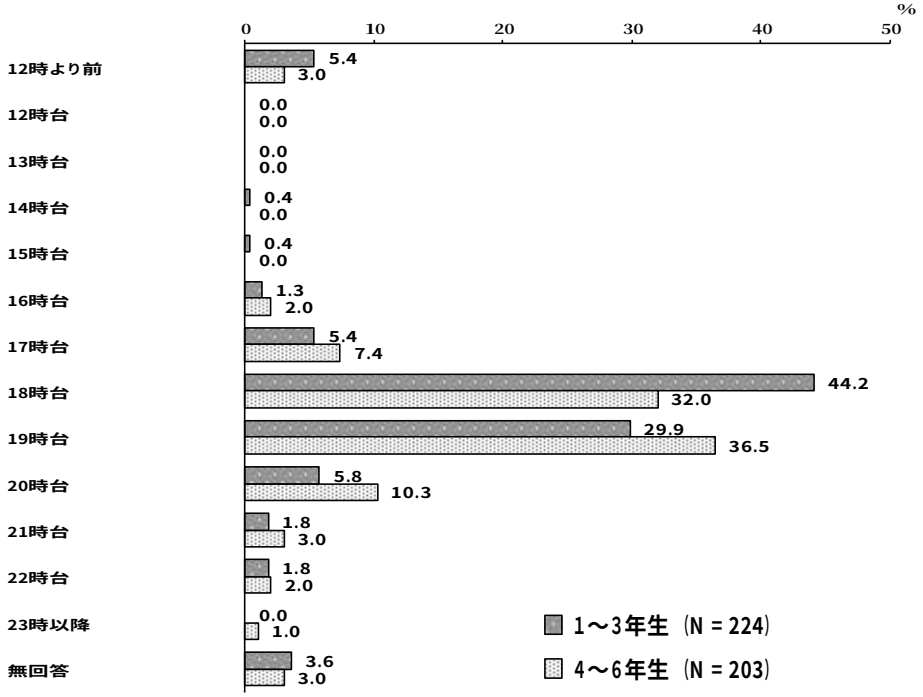
（ｄ）帰宅時刻

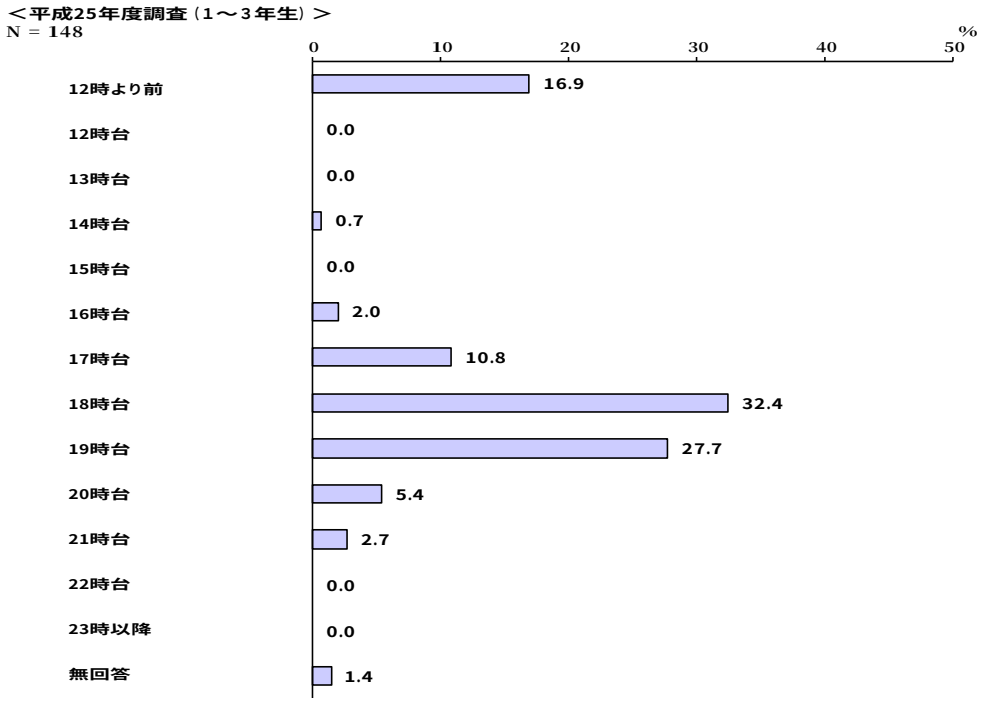
小学校低学年では、「18 時台」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 29.9%となっています。

小学校高学年では、「19 時台」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 32.0%、「20 時台」の割合が 10.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「18 時台」の割合が増加しています。一方、「12 時より前」「17 時台」の割合が減少しています。

【フルタイムの母親の帰宅時刻】





ウ パート・アルバイト等の母親の就労状況

問６－1．お母さまの「（ａ）就労日数」「（ｂ）就労時間（通勤時間・残業時間を含む）」「（ｃ）出勤時刻」「（ｄ）「帰宅時刻」についてお答えください（かっこ内に数字で）。

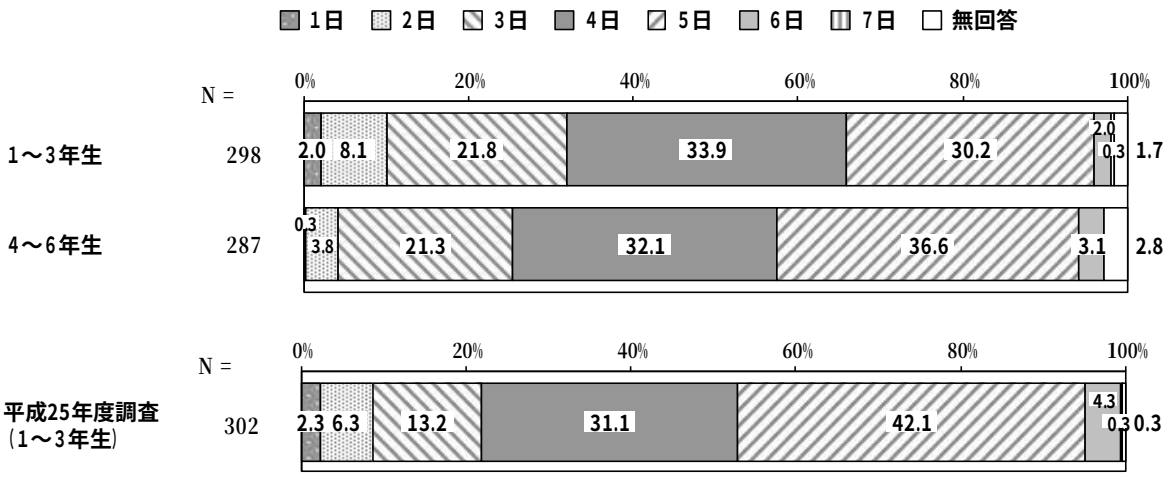
（ａ）１週あたり就労日数

小学校低学年では、「４日」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「５日」の割合が 30.2%、「３日」の割合が 21.8%となっています。

小学校高学年では、「５日」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「４日」の割合が 32.1%、「３日」の割合が 21.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「３日」の割合が増加しています。一方、「５日」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等の母親の就労日数（１週あたり）】



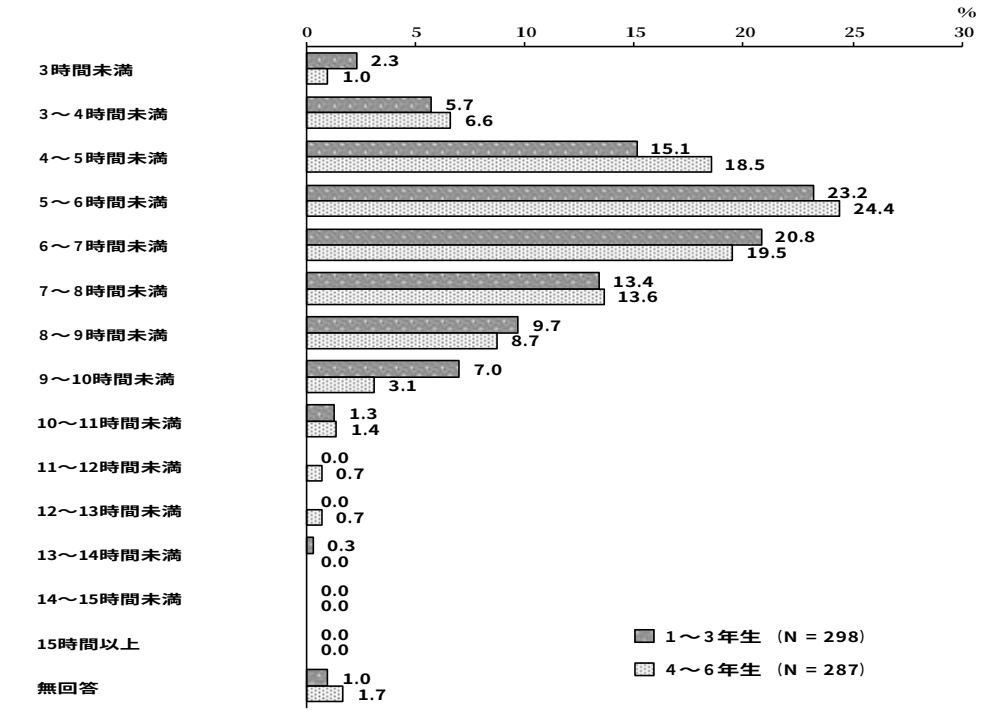
（ｂ）１日あたり就労時間

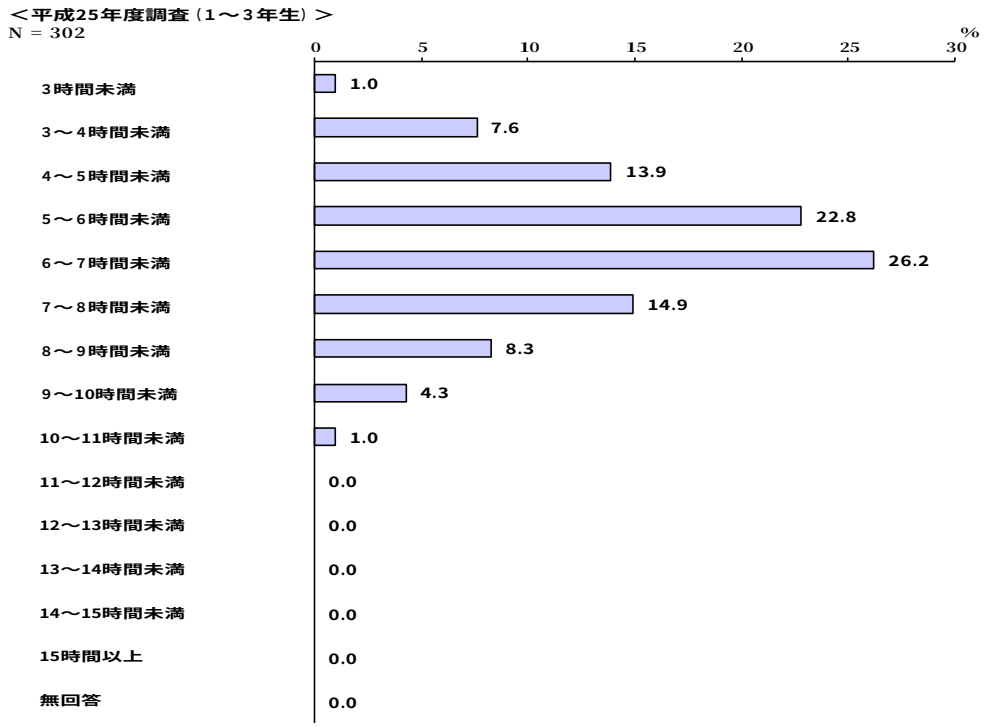
小学校低学年では、「５～６時間未満」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「６～７時間未満」の割合が 20.8%、「４～５時間未満」の割合が 15.1%となっています。

小学校高学年では、「５～６時間未満」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「６～７時間未満」の割合が 19.5%、「４～５時間未満」の割合が 18.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「６～７時間未満」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等の母親の就労時間（１日あたり）】





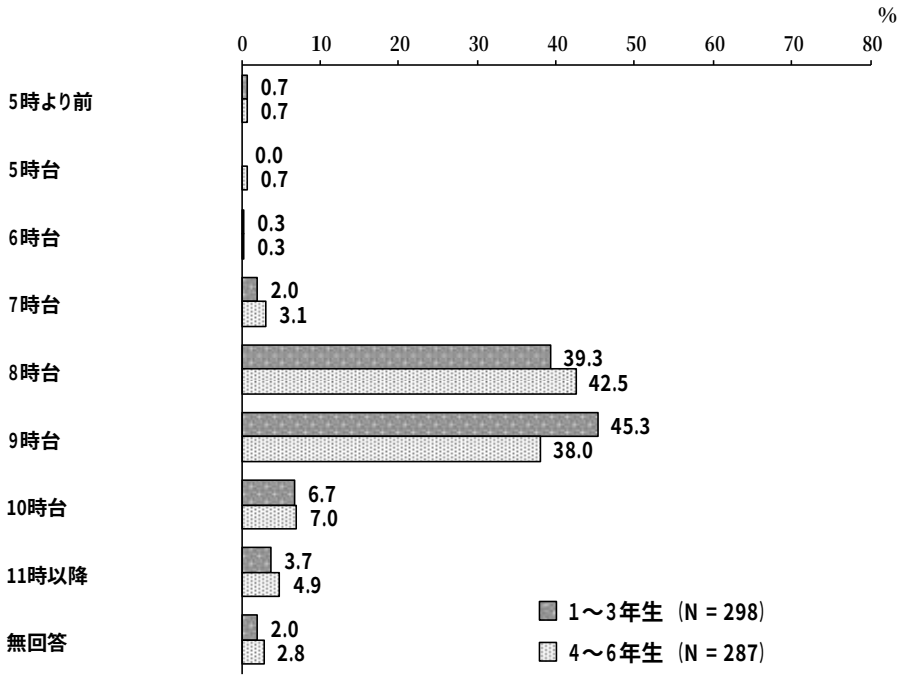
（ｃ）出勤時刻

小学校低学年では、「９時台」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「８時台」の割合が 39.3%となっています。

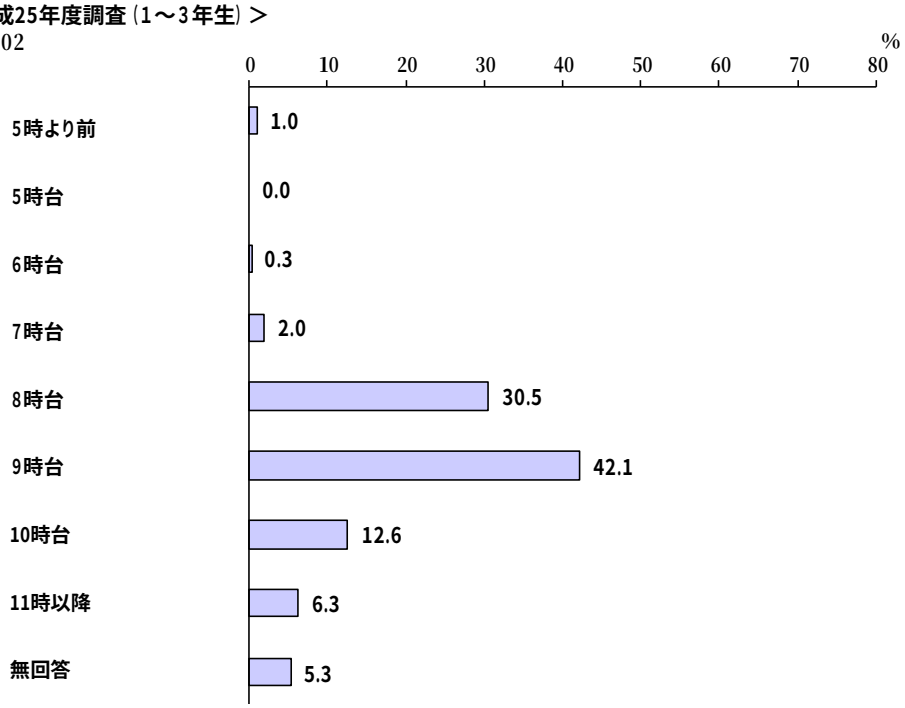
小学校高学年では、「８時台」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「９時台」の割合が 38.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「８時台」の割合が増加しています。一方、「10 時台」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等の母親の出勤時刻】



＜平成25年度調査（1～3年生）＞
N = 302



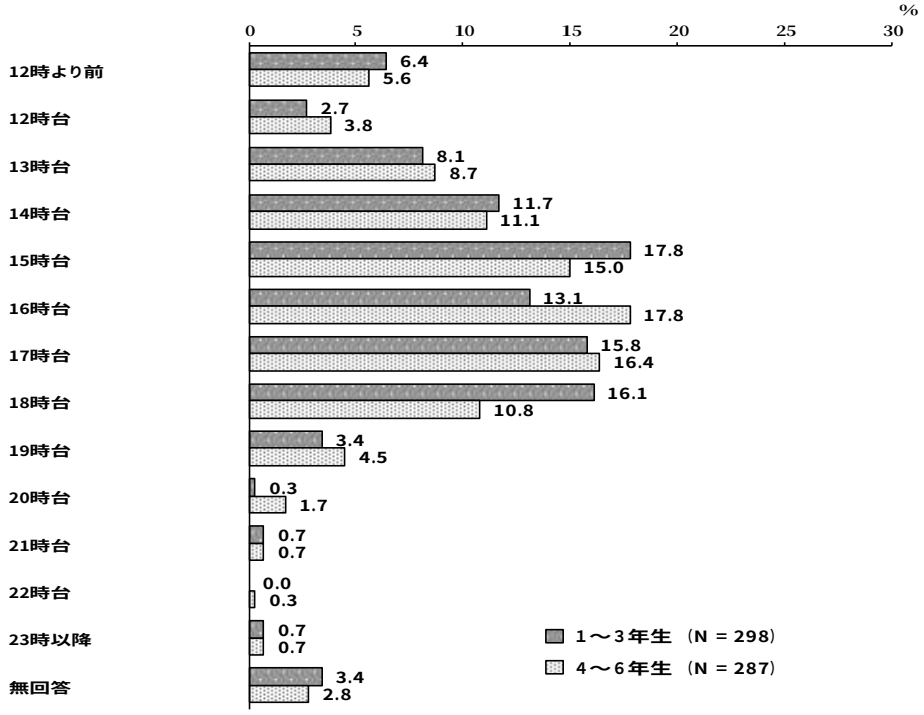
（ｄ）帰宅時刻

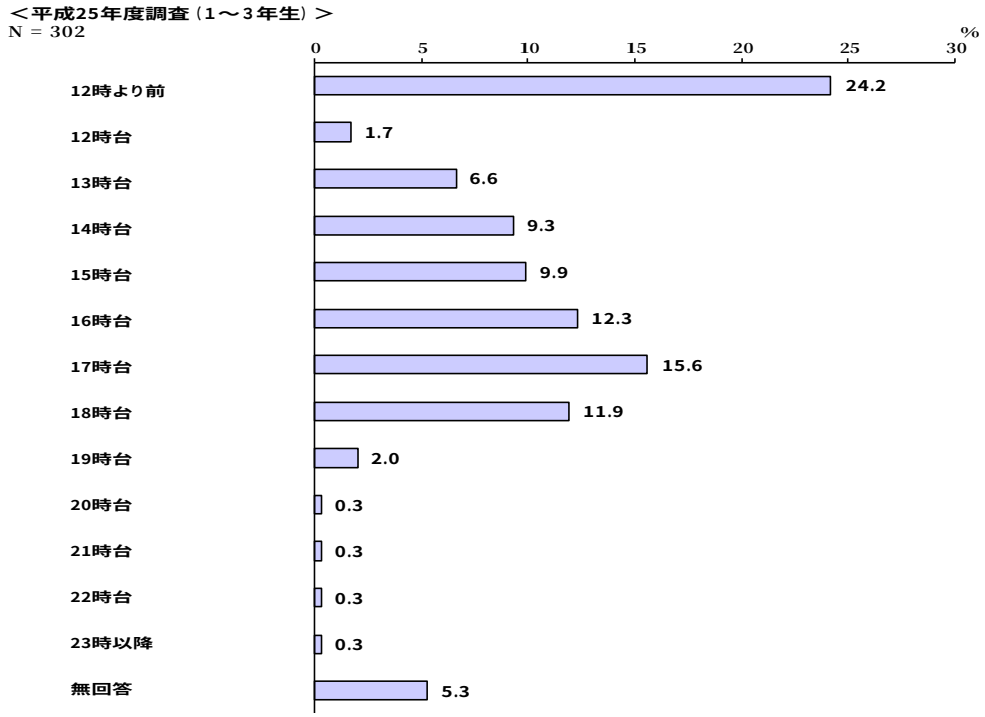
小学校低学年では、「15 時台」の割合が 17.8%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 16.1%、「17 時台」の割合が 15.8%となっています。

小学校高学年では、「16 時台」の割合が 17.8%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 16.4%、「15 時台」の割合が 15.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「15 時台」の割合が増加しています。一方、「12 時より前」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等の母親の帰宅時刻】





エ パート・アルバイト等の母親の今後の就労希望

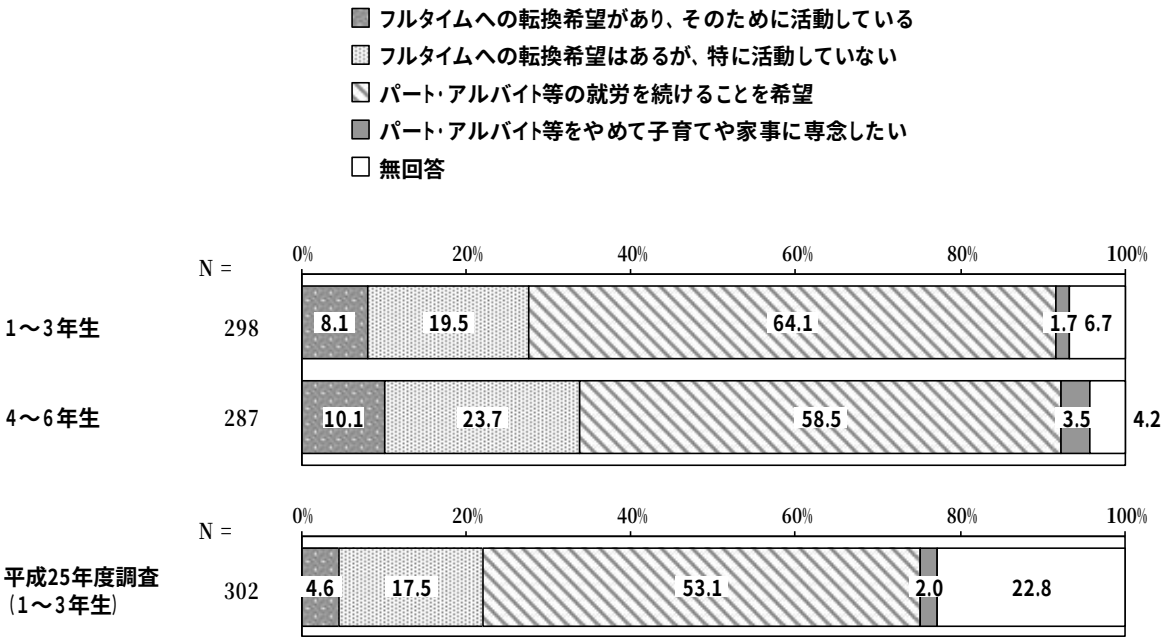
問８．今後の就労希望は、次のどれにあたりますか（◯は１つだけ）。

小学校低学年では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 64.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」の割合が 19.5%となっています。

小学校高学年では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」の割合が 23.7%、「フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している」の割合が 10.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が増加しています。

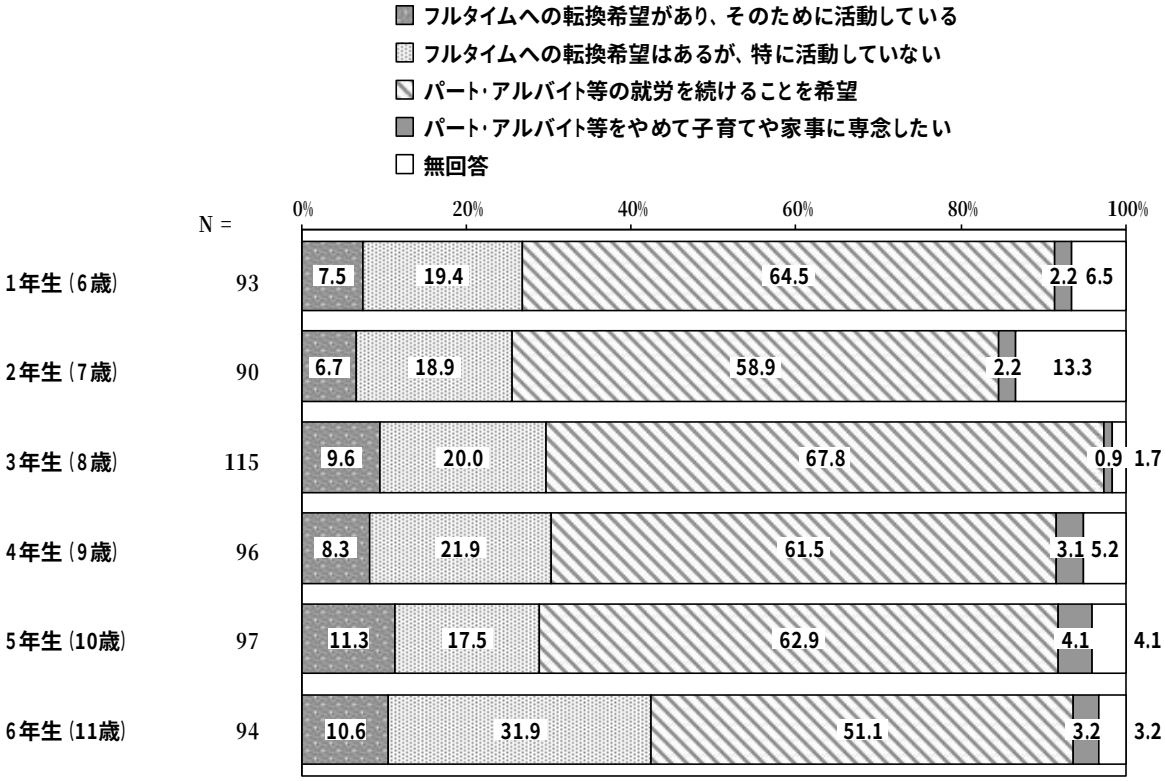
【パート・アルバイト等の母親のフルタイムへの転換希望】



Ⅱ　調査結果　就学後児童（１年生～６年生）

【パート・アルバイト等の母親のフルタイムへの転換希望・子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、他に比べ、６年生（11 歳）で「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」の割合が高くなっています。



オ 非就労の母親の今後の就労希望

問９．今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ１つだけ）。
また、「今後の就労希望として、パート・アルバイト等で就労したい」に○をつけた方は、希望する「就労日数」および「就労時間」についてもお答えください（かっこ内に数字で）。

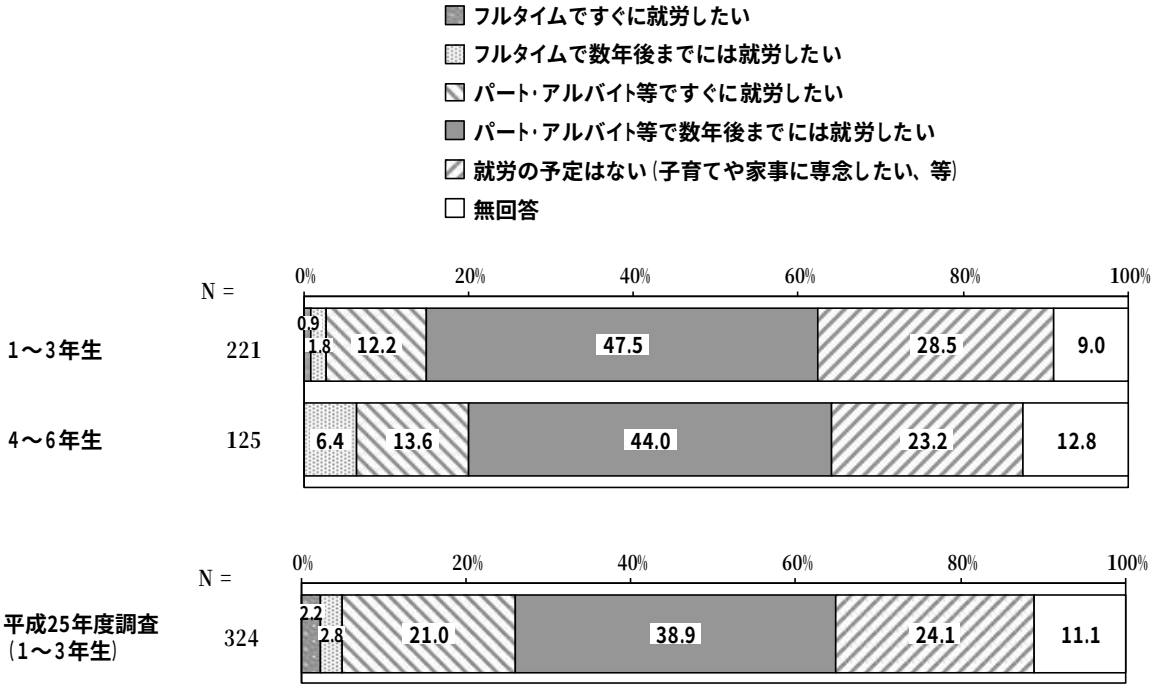
（ａ）非就労の母親の就労意向

小学校低学年では、「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「就労の予定はない（子育てや家事に専念したい、等）」の割合が 28.5%、「パート・アルバイト等ですぐに就労したい」の割合が 12.2%となっています。

小学校高学年では、「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「就労の予定はない（子育てや家事に専念したい、等）」の割合が 23.2%、「パート・アルバイト等ですぐに就労したい」の割合が 13.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」の割合が増加しています。一方、「パート・アルバイト等ですぐに就労したい」の割合が減少しています。

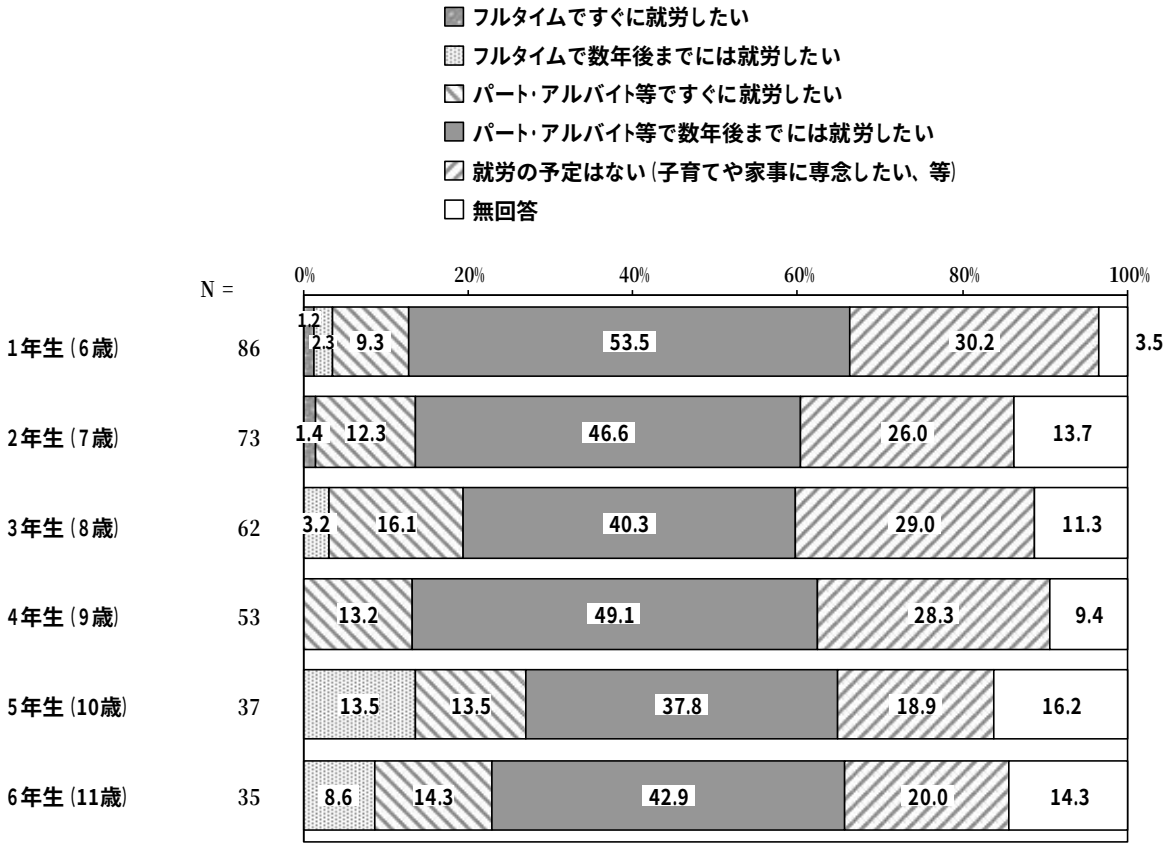
【非就労の母親の就労意向】



Ⅱ　調査結果　就学後児童（１年生～６年生）

【非就労の母親の就労意向・子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、他に比べ、１年生（６歳）で「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」の割合が高くなっています。また、５年生（10 歳）で「フルタイムで数年後までには就労したい」の割合が高くなっています。



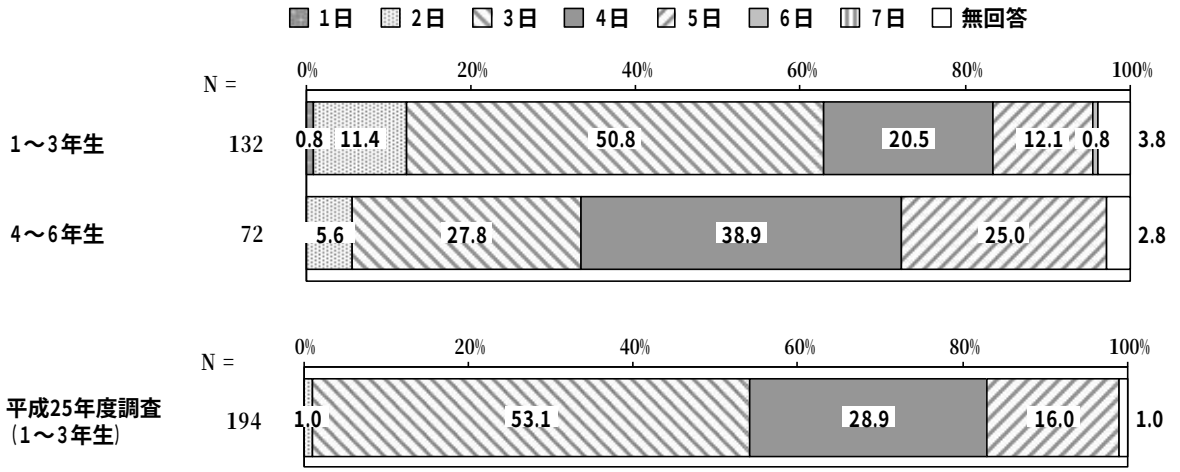
（b）非就労の母親で、パート・アルバイト等で就労した母親の希望する１週あたり就労日数

小学校低学年では、「３日」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「４日」の割合が 20.5%、「５日」の割合が 12.1%となっています。

小学校高学年では、「４日」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「３日」の割合が 27.8%、「５日」の割合が 25.0%となっています。

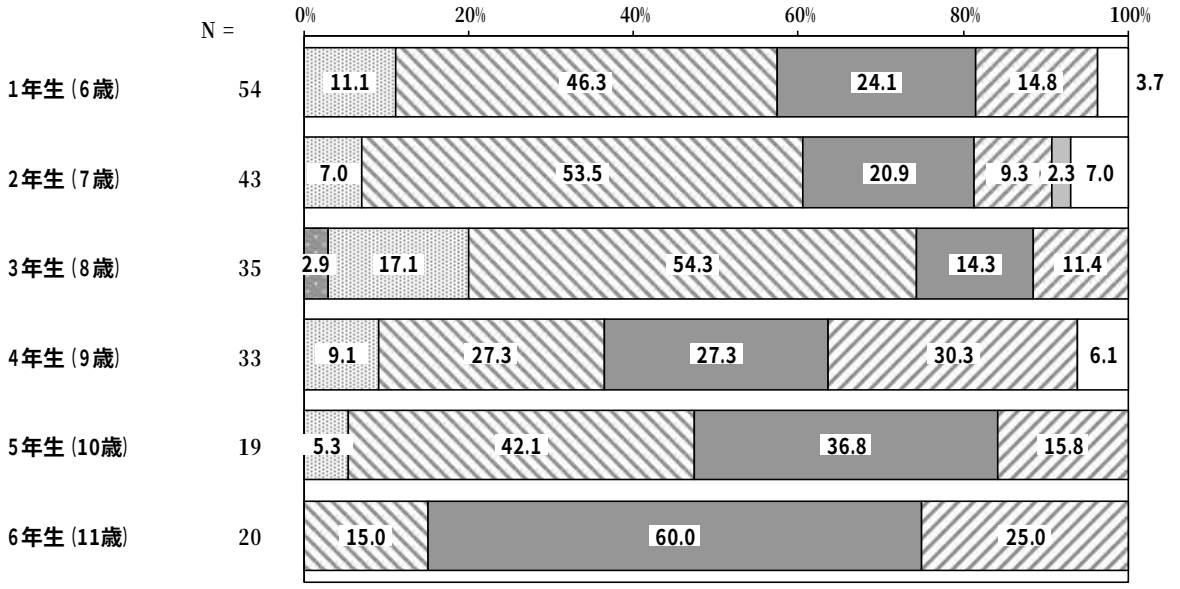
平成 25 年度調査と比較すると、「２日」の割合が増加しています。一方、「４日」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等を希望する母親の希望する就労日数（１週あたり）】



【パート・アルバイト等を希望する母親の希望する就労日数（１週あたり）・子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、他に比べ、６年生（11 歳）で「４日」の割合が高くなっています。また、２年生（７歳）、３年生（８歳）で「３日」の割合が高くなっています。



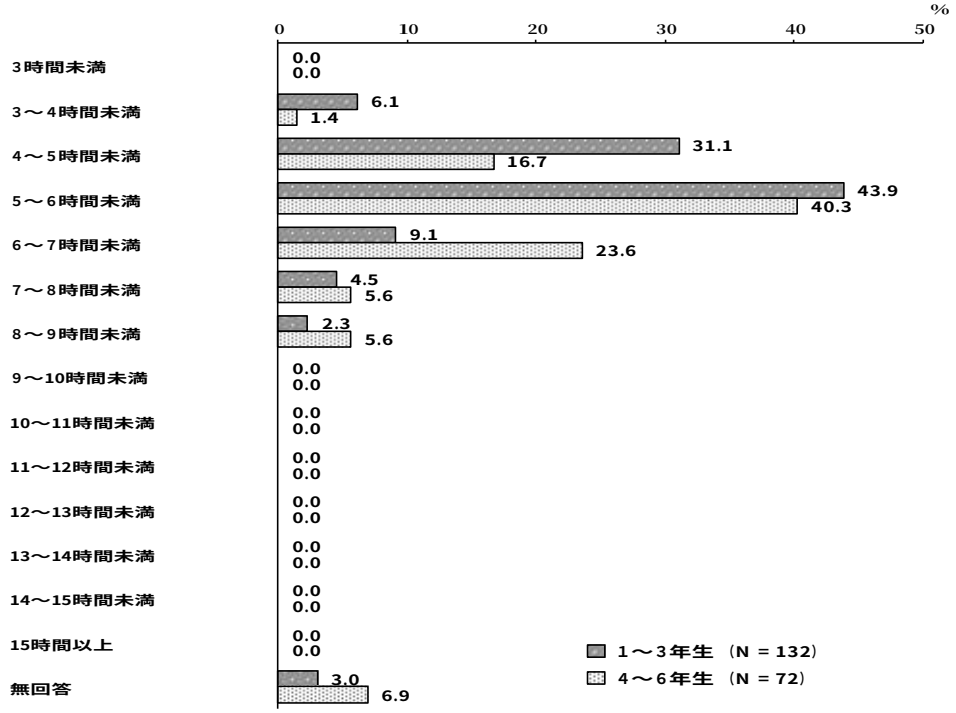
（ｃ）非就労の母親で、パート・アルバイト等で就労したい母親の希望する１日あたり就労時間

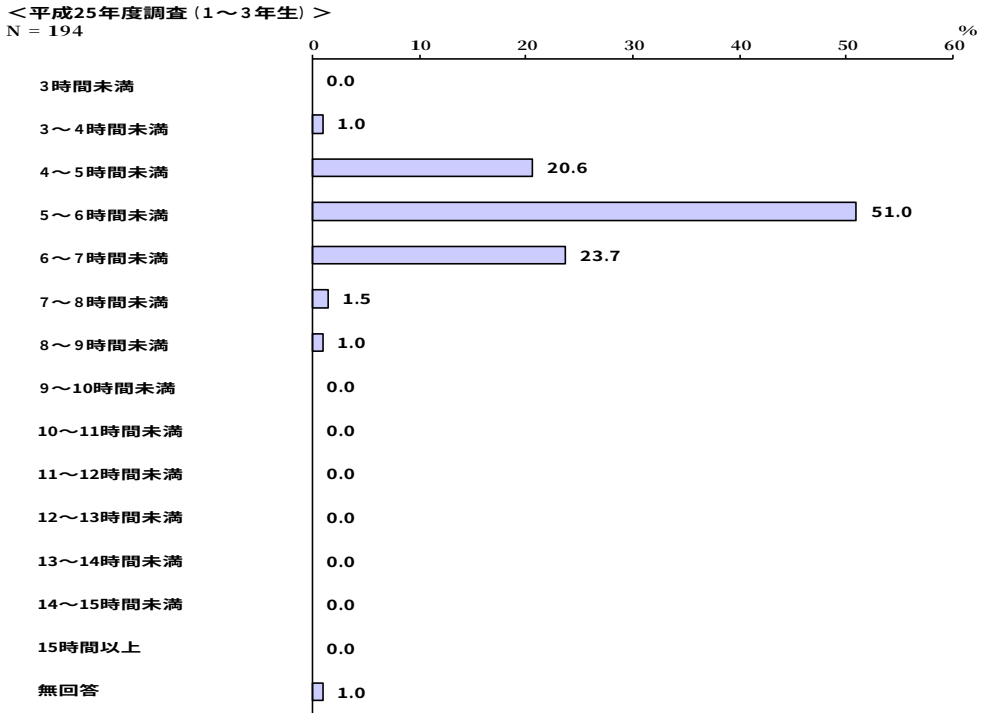
小学校低学年では、「５～６時間未満」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「４～５時間未満」の割合が 31.1%となっています。

小学校高学年では、「５～６時間未満」の割合が 40.3%と最も高く、次いで「６～７時間未満」の割合が 23.6%、「４～５時間未満」の割合が 16.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「３～４時間未満」「４～５時間未満」の割合が増加しています。一方、「５～６時間未満」「６～７時間未満」の割合が減少しています。

【パート・アルバイト等を希望する母親の希望する就労時間（１日あたり）】





② 父親

ア 父親の就労状況

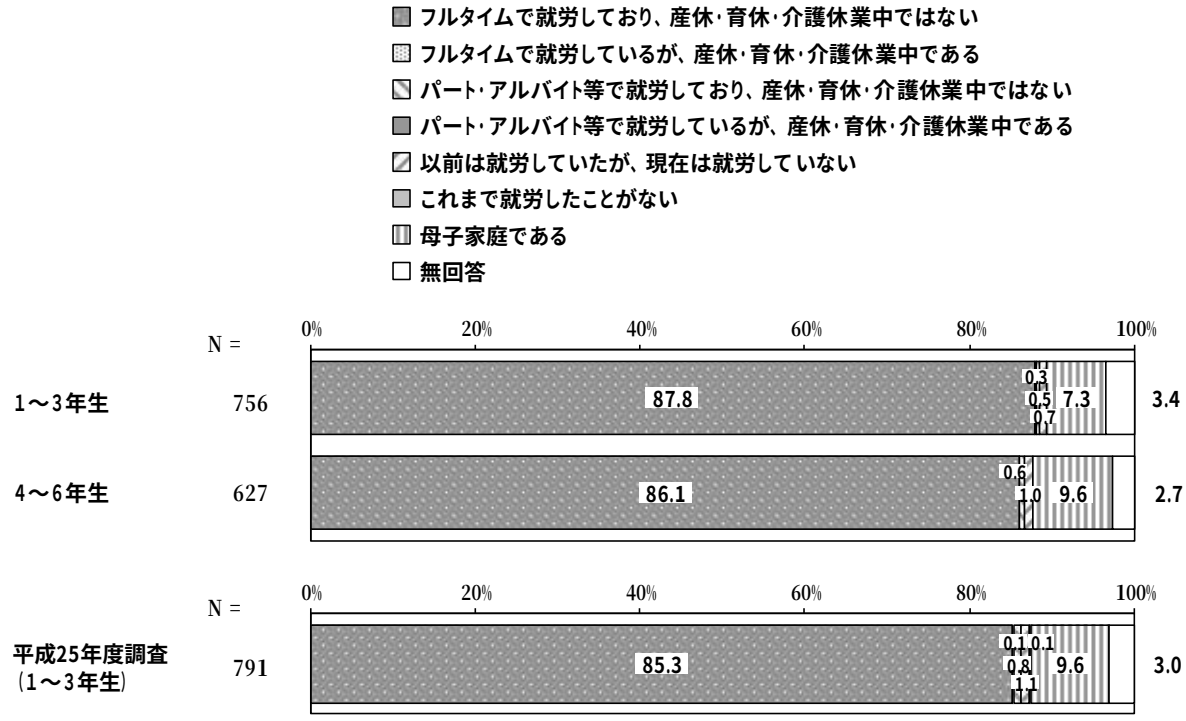
問７．お父さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（○は１つだけ）。

小学校低学年では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 87.8%と最も高くなっています。

小学校高学年では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 86.1%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【父親の就労状況と就労形態】



イ フルタイムの父親の就労状況

問７－1．お父さまの「（ａ）就労日数」「（ｂ）就労時間（通勤時間・残業時間を含む）」「（ｃ）出勤時刻」「（ｄ）「帰宅時刻」についてご記入ください（かっこ内に数字で）。

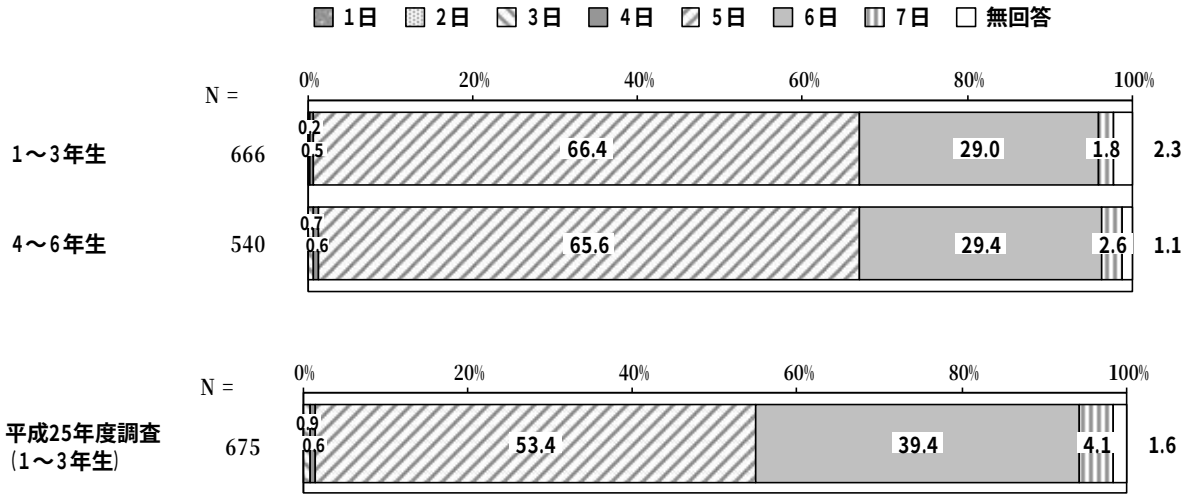
（ａ）就労日数

小学校低学年では、「５日」の割合が 66.4%と最も高く、次いで「６日」の割合が 29.0%となっています。

小学校高学年では、「５日」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「６日」の割合が 29.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「５日」の割合が増加しています。一方、「６日」の割合が減少しています。

【フルタイムの父親の就労日数（１週あたり）】



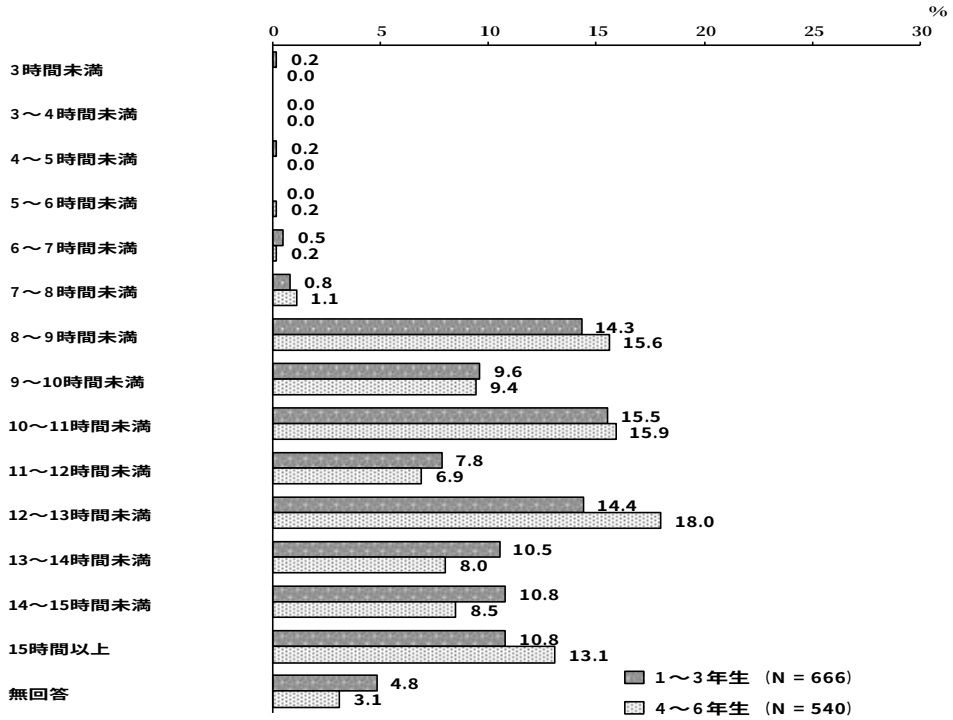
（ｂ）就労時間（通勤、残業時間を含む）

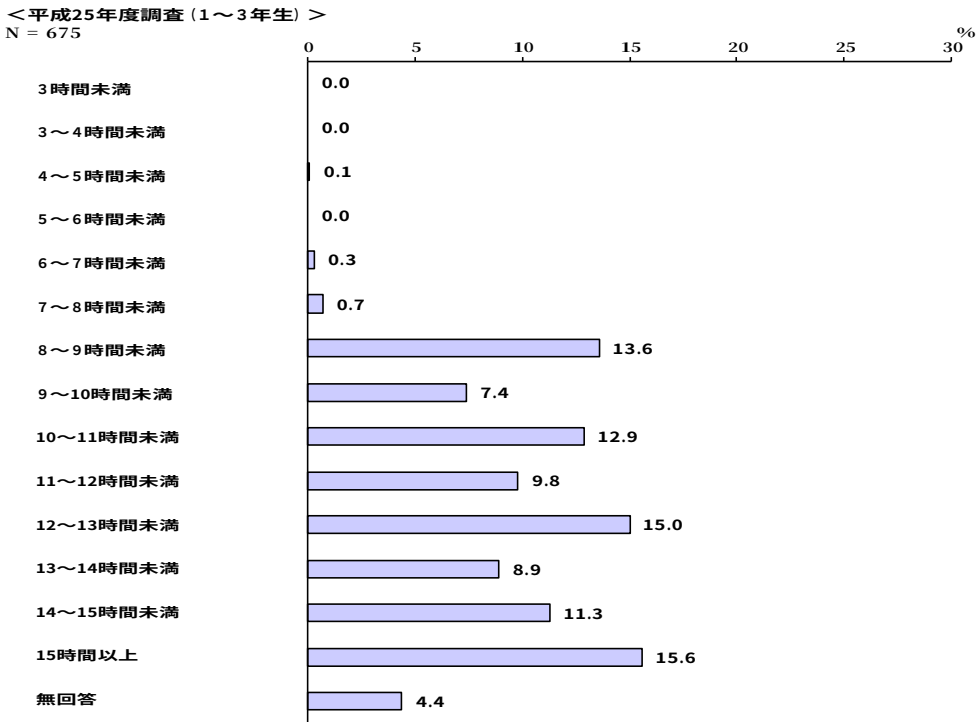
小学校低学年では、「10～11 時間未満」の割合が 15.5%と最も高く、次いで「12～13 時間未満」の割合が 14.4%、「８～９時間未満」の割合が 14.3%となっています。

小学校高学年では、「12～13 時間未満」の割合が 18.0%と最も高く、次いで「10～11 時間未満」の割合が 15.9%、「８～９時間未満」の割合が 15.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【フルタイムの父親の就労時間（１日あたり）】





Ⅱ　調査結果　就学後児童（１年生～６年生）

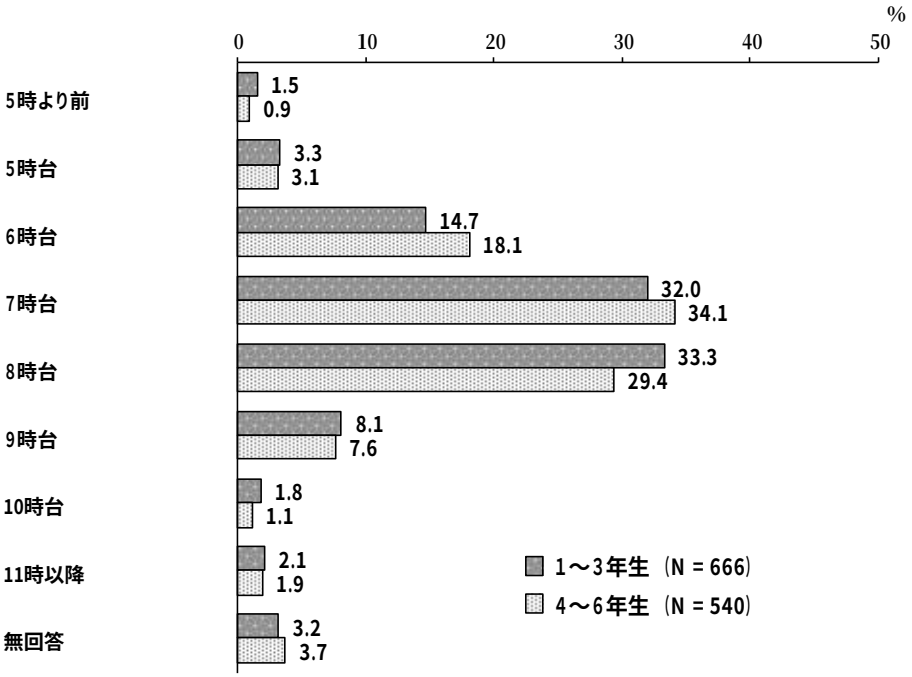
（ｃ）出勤時刻

小学校低学年では、「８時台」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「７時台」の割合が 32.0%、「６時台」の割合が 14.7%となっています。

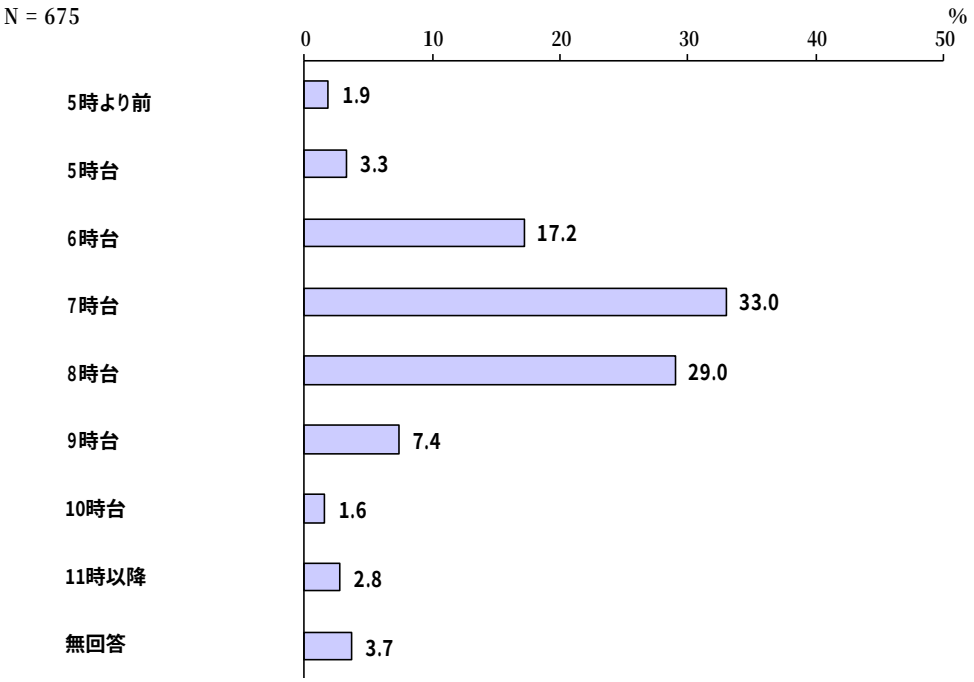
小学校高学年では、「７時台」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「８時台」の割合が 29.4%、「６時台」の割合が 18.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【フルタイムの父親の出勤時刻】



＜平成25年度調査（1～3年生）＞



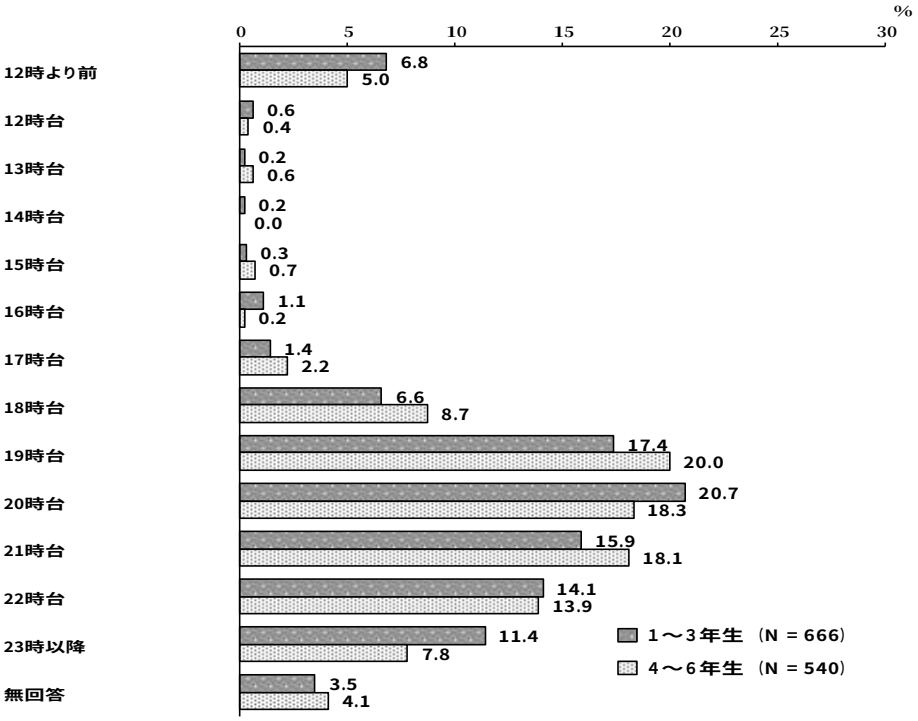
（ｄ）帰宅時刻

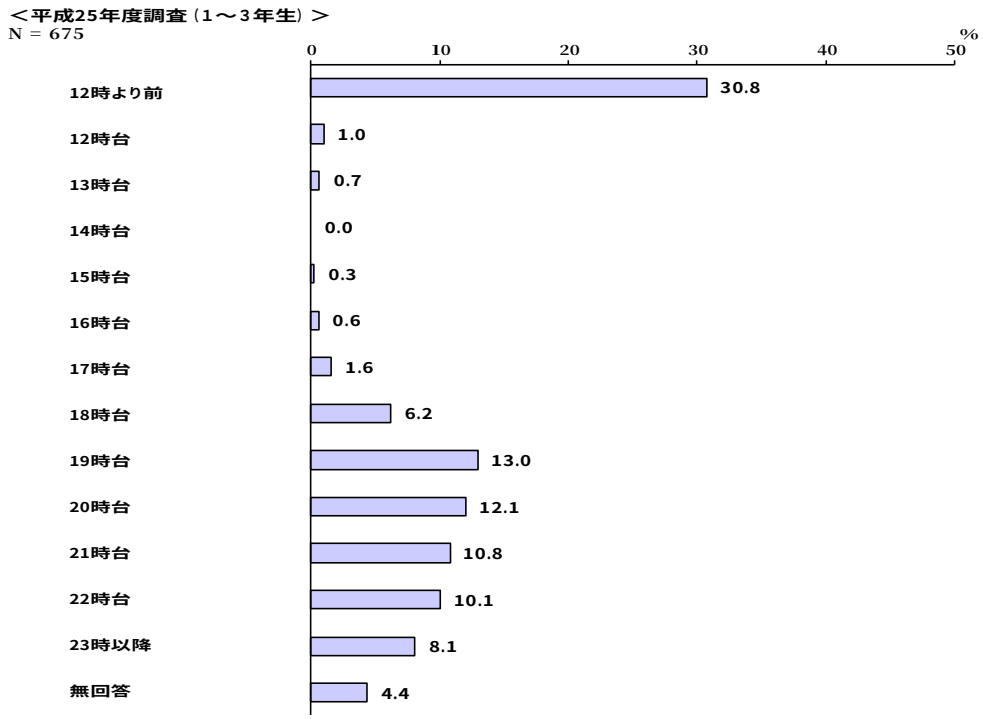
小学校低学年では、「20 時台」の割合が 20.7%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が 17.4%、「21 時台」の割合が 15.9%となっています。

小学校高学年では、「19 時台」の割合が 20.0%と最も高く、次いで「20 時台」の割合が 18.3%、「21 時台」の割合が 18.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「20 時台」「21 時台」の割合が増加しています。一方、「12 時より前」の割合が減少しています。

【フルタイムの父親の帰宅時刻】





ウ パート・アルバイト等の父親の就労状況

問７－1．お父さまの「（ａ）就労日数」「（ｂ）就労時間（通勤時間・残業時間を含む）」「（ｃ）出勤時刻」「（ｄ）「帰宅時刻」についてご記入ください（かっこ内に数字で）。

（ａ）１日あたり就労日数

小学校低学年では、「４日」が 2 件、「３日」、「６日」が 1 件となっています。
小学校高学年では、「２日」、「４日」、「５日」、「６日」が 1 件となっています。

（ｂ）就労時間（通勤、残業時間を含む）

小学校低学年では、「５～６時間未満」、「８～９時間未満」、「11～12 時間未満」、「13～14 時間未満」が 1 件となっています。

小学校高学年では、「８～９時間未満」が 2 件、「10～11 時間未満」、「11～12 時間未満」が 1 件となっています。

（ｃ）出勤時刻

小学校低学年では、「５時台」、「７時台」、「８時台」が 1 件となっています。
小学校高学年では、「７時台」、「８時台」、「９時台」が 1 件となっています。

（ｄ）帰宅時刻

小学校低学年では、「16 時台」、「18 時台」、「23 時以降」が 1 件となっています。
小学校高学年では、「17 時台」が 2 件、「23 時以降」が 1 件となっています。

エ パート・アルバイト等の父親の今後の就労希望

問８．今後の就労希望は、次のどれにあたりますか（○は１つだけ）。

小学校低学年では、「フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している」が 2 件、「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 1 件となっています。

小学校高学年では、「フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している」、「フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 1 件となっています。

オ 非就労の父親の今後の就労希望

問９．今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ１つだけ）。
また、「今後の就労希望として、パート・アルバイト等で就労したい」に○をつけた方は、希望する「就労日数」および「就労時間」についてもお答えください（かっこ内に数字で）。

（ａ）非就労父親の就労意向

小学校低学年では、「フルタイムですぐに就労したい」、「就労の予定はない（子育てや家事に専念したい、等）」が２件となっています。

小学校高学年では、「フルタイムですぐに就労したい」、「フルタイムで数年後までには就労したい」、「パート・アルバイト等ですぐに就労したい」、「パート・アルバイト等で数年後までには就労したい」が１件となっています。

（ｂ）非就労の父親で、パート・アルバイト等で就労したい父親の希望状況

小学校低学年では、有効回答はありません。

小学校高学年では、希望就労日数について「５日」が２件、希望終了時間について「６～７時間未満」、「８～９時間未満」が１件となっています。

（４）放課後の過ごし方について

問 10．宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか（○はあてはまるものすべて）。
また、それぞれの場所の週あたりの日数をお答えください（かっこ内に数字で）。

① 過ごしている場所

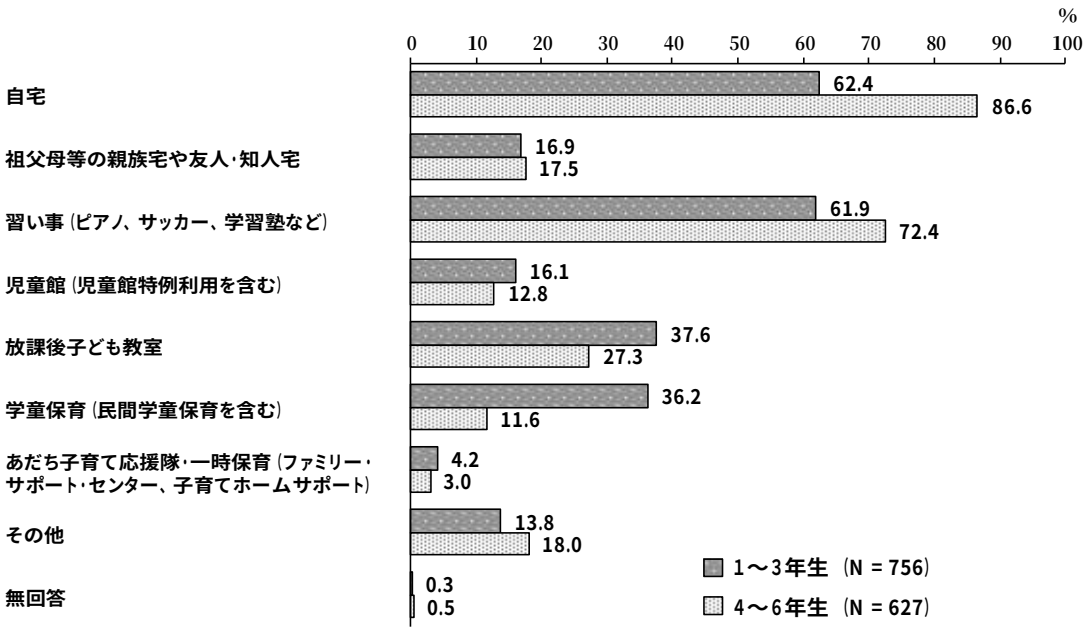
小学校低学年では、「自宅」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）」の割合が 61.9%、「放課後子ども教室」の割合が 37.6%となっています。

小学校高学年では、「自宅」の割合が 86.6%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）」の割合が 72.4%、「放課後子ども教室」の割合が 27.3%となっています。

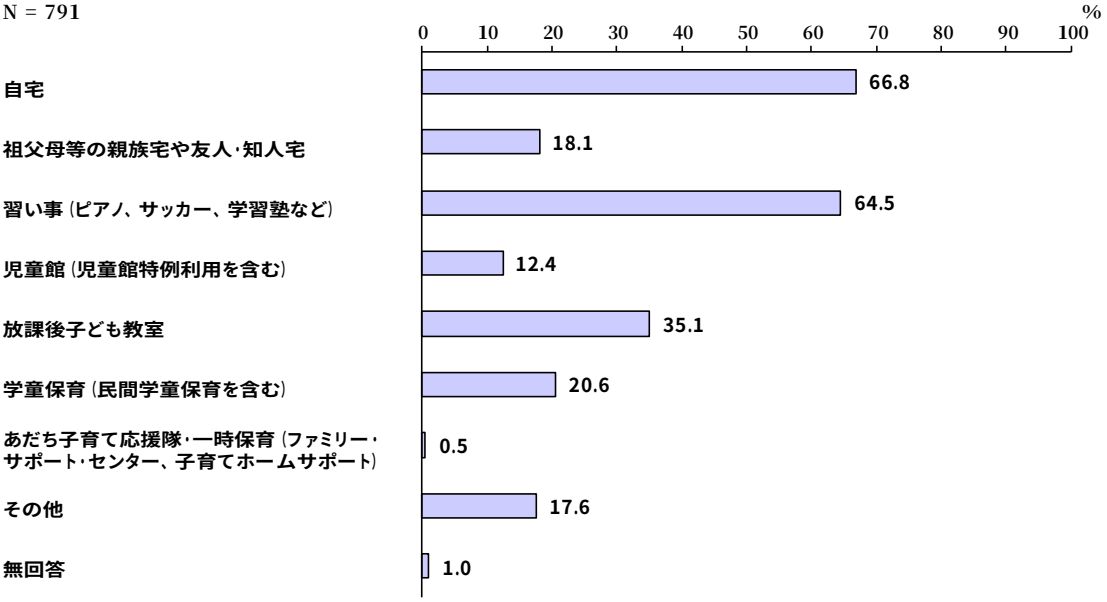
いずれにおいても「自宅」が最も高くなっているのは、複数回答が可であるためと思われます。

平成 25 年度調査と比較すると、「学童保育（民間学童保育を含む）」の割合が増加しています。

【放課後を過ごしている場所】



＜平成25年度調査（1～3年生）＞
N = 791



【放課後を過ごしている場所・母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、以前は就労していたが、現在は就労していない、これまで就労したことがないで「自宅」の割合が、以前は就労していたが、現在は就労していないで「習い事」の割合が高くなっています。また、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「学童保育（民間学童保育を含む）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	自宅	祖父母等の親族宅や友人・知人宅	習い事	児童館（児童館特例利用を含む）	放課後子ども教室	学童保育（民間学童保育を含む）	あだち子育て応援隊・一時保育	その他	無回答
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	420	51.2	16.0	55.5	10.5	23.8	46.7	3.8	10.0	0.7
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	17	76.5	5.9	47.1	23.5	52.9	35.3	－	17.6	－
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	584	79.5	19.0	69.5	16.3	37.2	20.2	4.1	17.6	0.5
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	9	88.9	22.2	66.7	44.4	22.2	33.3	11.1	22.2	－
以前は就労していたが、現在は就労していない	300	88.7	14.3	78.3	15.7	36.7	6.7	2.7	18.3	0.3
これまで就労したことがない	55	85.5	18.2	63.6	14.5	34.5	9.1	3.6	20.0	1.8

② 週あたりの日数

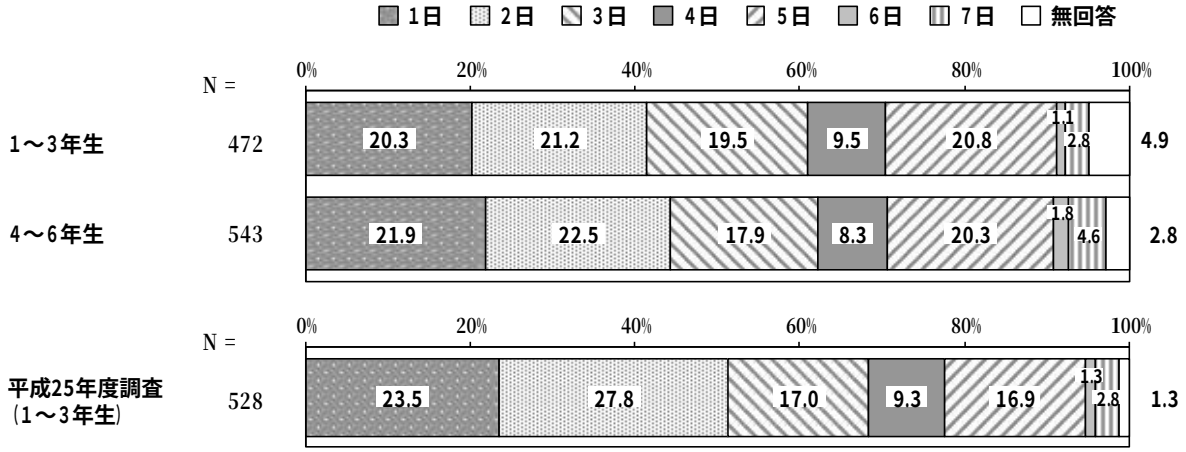
ア 自宅

小学校低学年では、「２日」の割合が 21.2%と最も高く、次いで「５日」の割合が 20.8%、「１日」の割合が 20.3%となっています。

小学校高学年では、「２日」の割合が 22.5%と最も高く、次いで「１日」の割合が 21.9%、「５日」の割合が 20.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「２日」の割合が減少しています。

【週あたりの日数（自宅)】



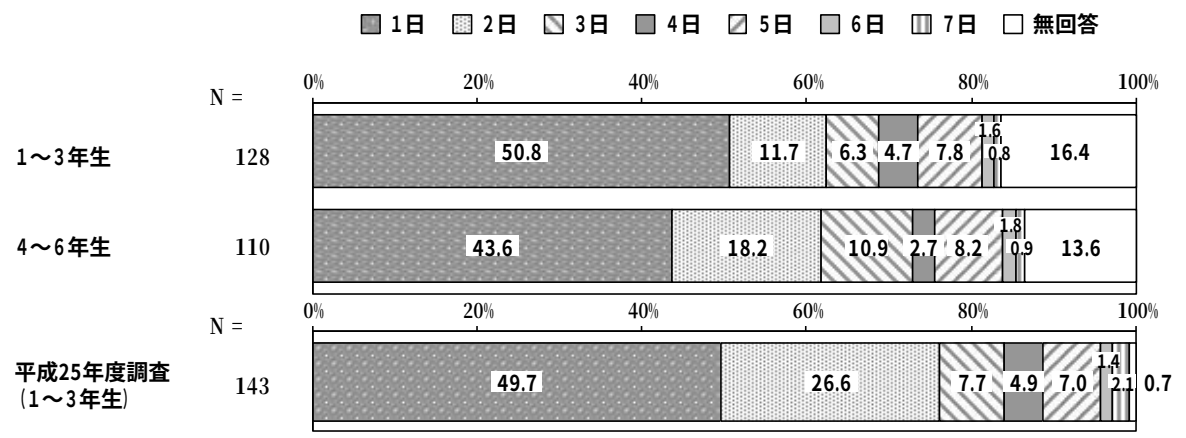
イ 祖父母等の親族宅や友人・知人宅

小学校低学年では、「１日」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「２日」の割合が 11.7%となっています。

小学校高学年では、「１日」の割合が 43.6%と最も高く、次いで「２日」の割合が 18.2%、「３日」の割合が 10.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「２日」の割合が減少しています。

【週あたりの日数（祖父母等の親族宅や友人・知人宅)】



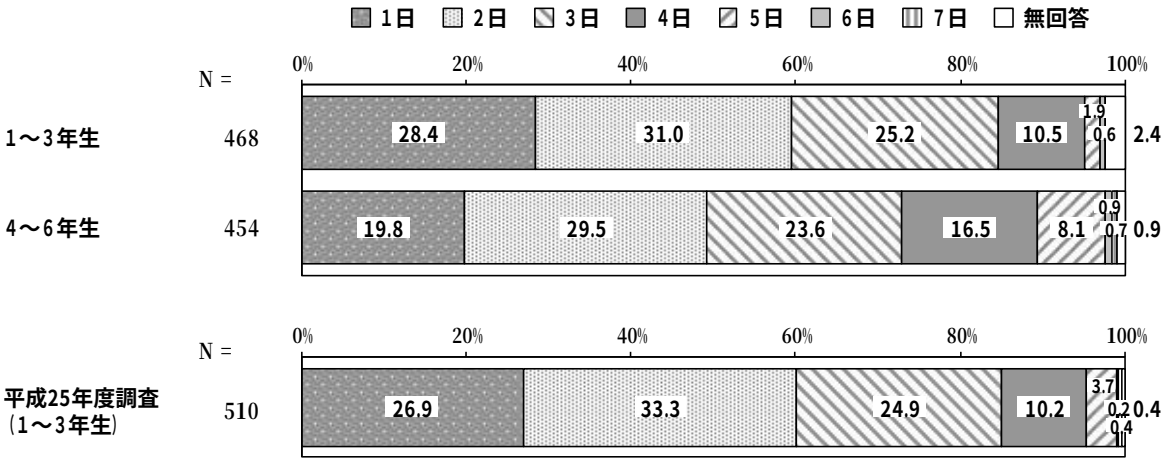
ウ 習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）

小学校低学年では、「２日」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「１日」の割合が 28.4%、「３日」の割合が 25.2%となっています。

小学校高学年では、「２日」の割合が 29.5%と最も高く、次いで「３日」の割合が 23.6%、「１日」の割合が 19.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【週あたりの日数（習い事）】



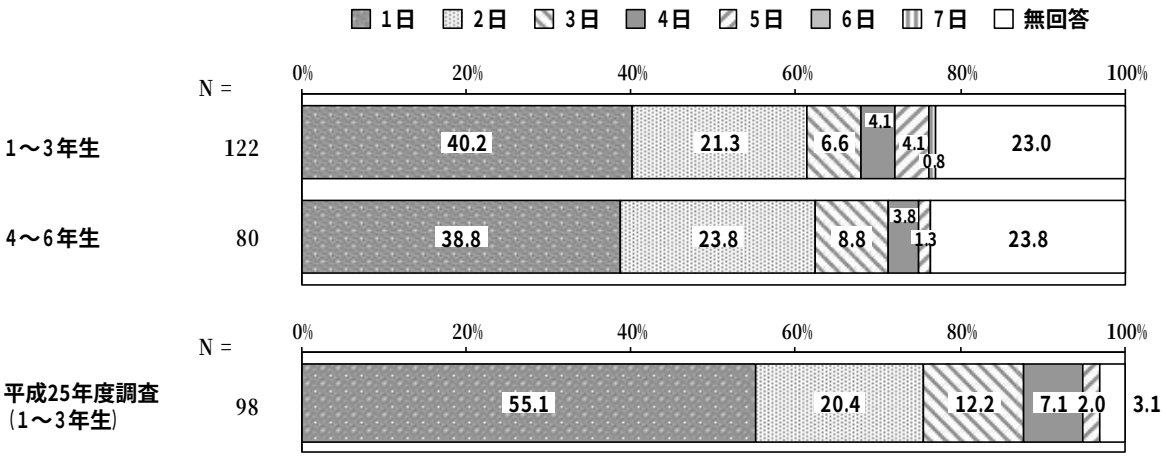
エ 児童館（児童館特例利用を含む）

小学校低学年では、「１日」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「２日」の割合が 21.3%となっています。

小学校高学年では、「１日」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「２日」の割合が 23.8%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「１日」「３日」の割合が減少しています。

【週あたりの日数（児童館）】



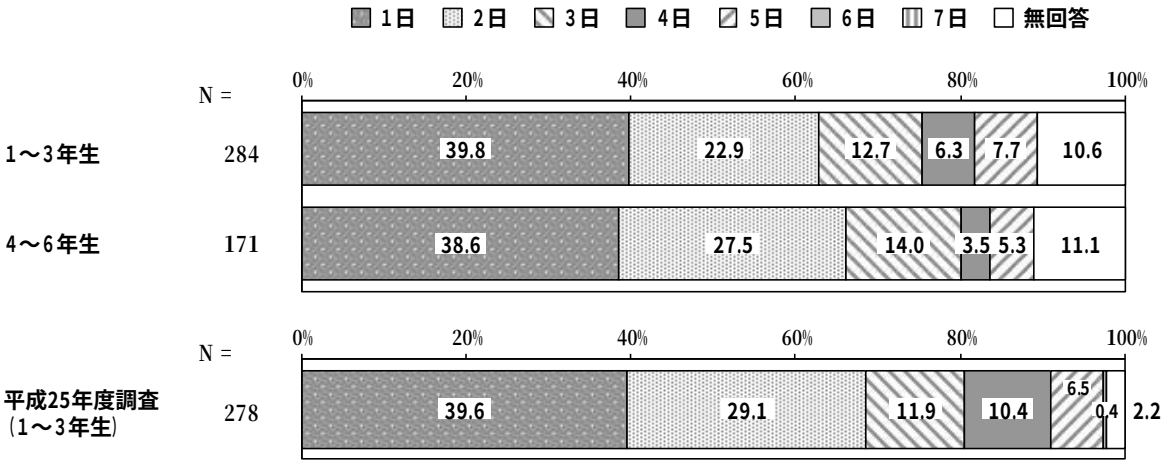
オ 放課後子ども教室

小学校低学年では、「１日」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「２日」の割合が 22.9%、「３日」の割合が 12.7%となっています。

小学校高学年では、「１日」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「２日」の割合が 27.5%、「３日」の割合が 14.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「２日」の割合が減少しています。

【週あたりの日数（放課後子ども教室）】



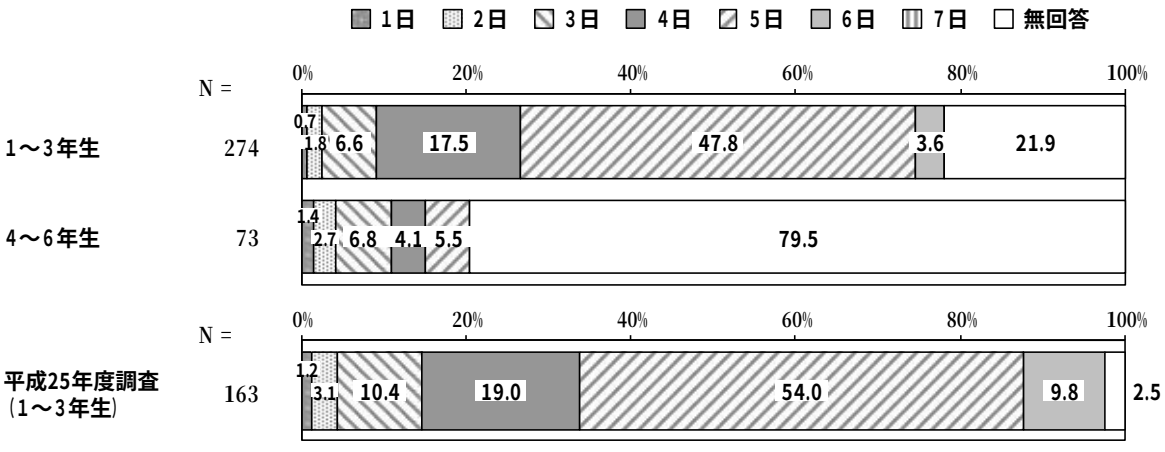
カ 学童保育（民間学童保育を含む）

小学校低学年では、「５日」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「４日」の割合が 17.5%となっています。

小学校高学年では、「３日」の割合が 6.8%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「５日」「６日」の割合が減少しています。

【週あたりの日数（学童保育）】

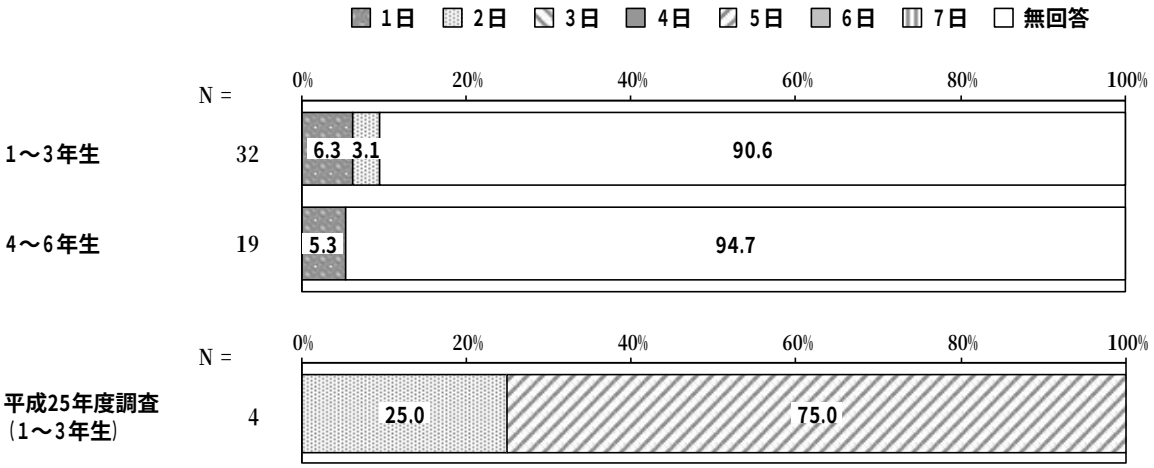


キ あだち子育て応援隊・一時保育（ﾌｧﾐﾘｰ・ｻﾎﾟｰﾄ・ｾﾝﾀｰ、子育てﾎｰﾑｻﾎﾟｰﾄ）

小学校低学年では、「１日」の割合が 6.3%と最も高くなっています。
小学校高学年では、「１日」の割合が 5.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「１日」の割合が増加しています。一方、「２日」「５日」の割合が減少しています。

【週あたりの日数（あだち子育て応援隊・一時保育)】

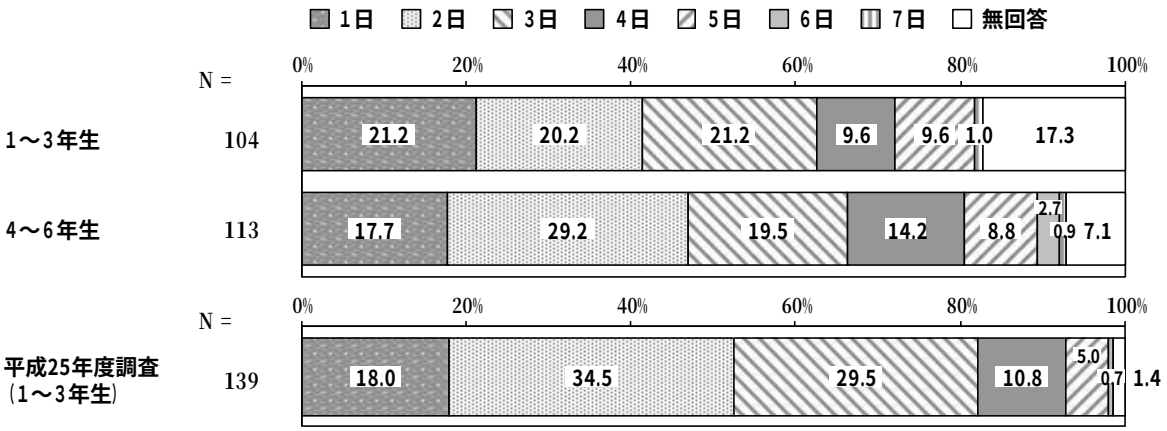


ク その他

小学校低学年では、「１日」、「３日」の割合が 21.2%と最も高く、次いで、「２日」の割合が 20.2%となっています。
小学校高学年では、「２日」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「３日」の割合が 19.5%、「１日」の割合が 17.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「２日」「３日」の割合が減少しています。

【週あたりの日数（その他)】



③ 学童保育の現在の利用時間帯と希望する利用時間帯

問 10－1．学童保育の現在の利用時間帯をお答えください。また、希望する利用時間帯をお答えください（かっこ内に数字）。

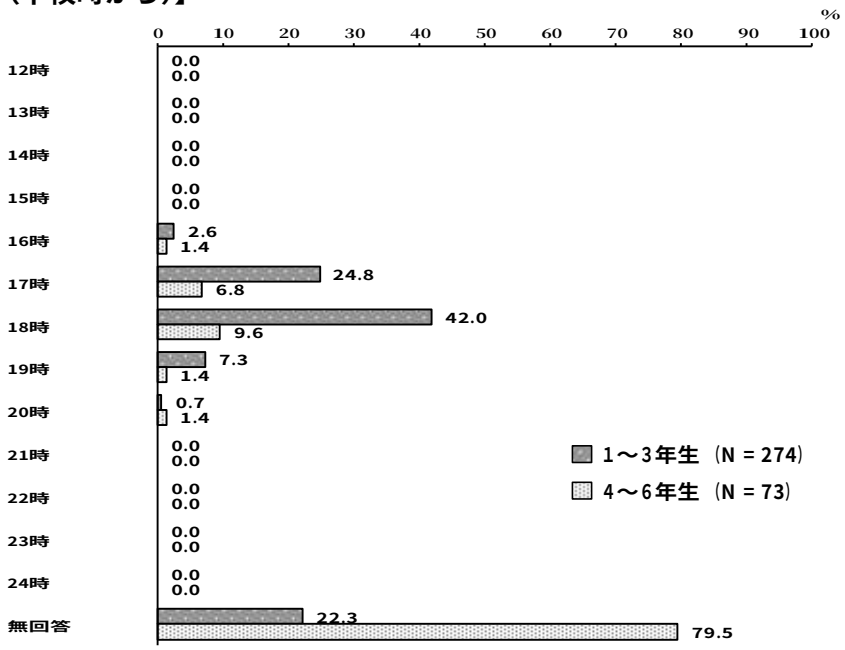
ア 現在の利用時間帯

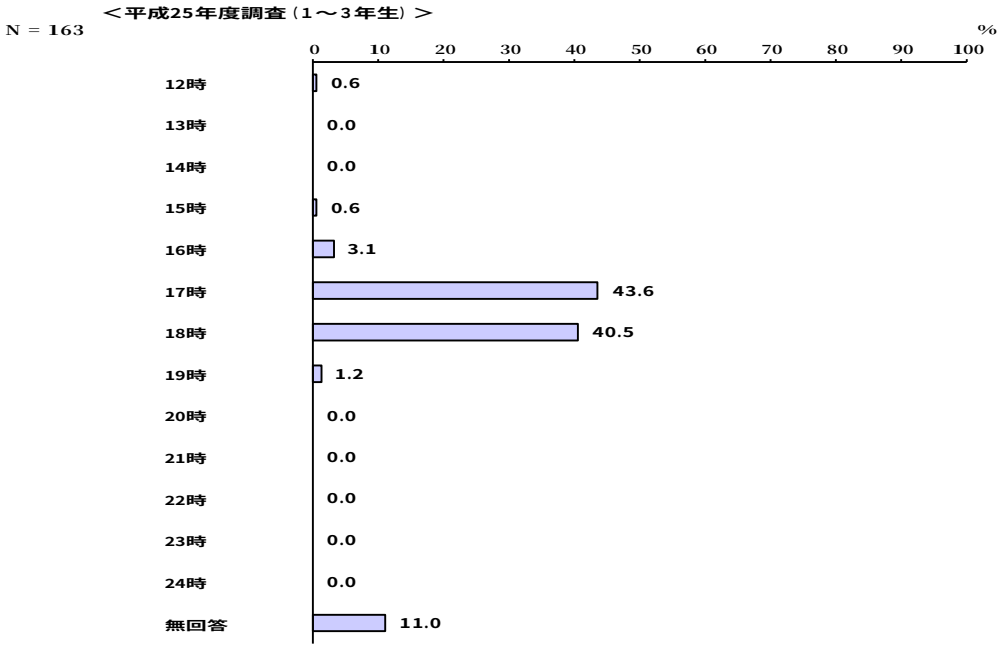
小学校低学年では、「18 時」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 24.8%となっています。

小学校高学年では、「18 時」の割合が 9.6%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「19 時」の割合が増加しています。一方、「17 時」の割合が減少しています。

【現在の利用時間帯（下校時から）】





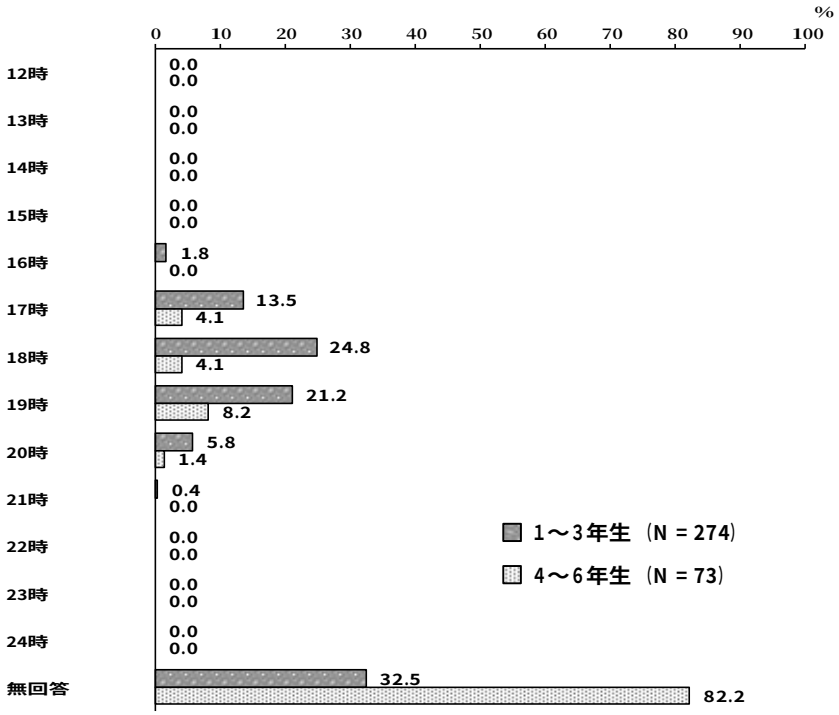
イ 希望する利用時間帯

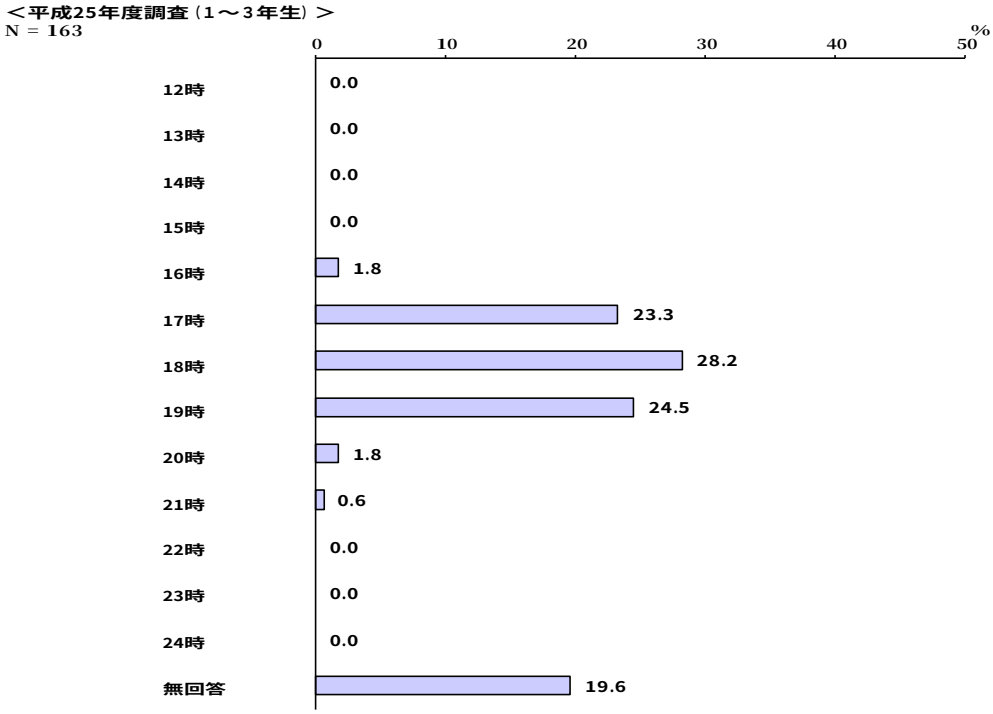
小学校低学年では、「18 時」の割合が 24.8%と最も高く、次いで「19 時」の割合が 21.2%、「17 時」の割合が 13.5%となっています。現在の利用時間では、「17 時」「18 時」が多数を占めていますが、希望の利用時間では「19 時」の割合が高くなっています。

小学校高学年では、「19 時」の割合が 8.2%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「17 時」の割合が減少しています。

【現在の利用時間帯（下校時から）】





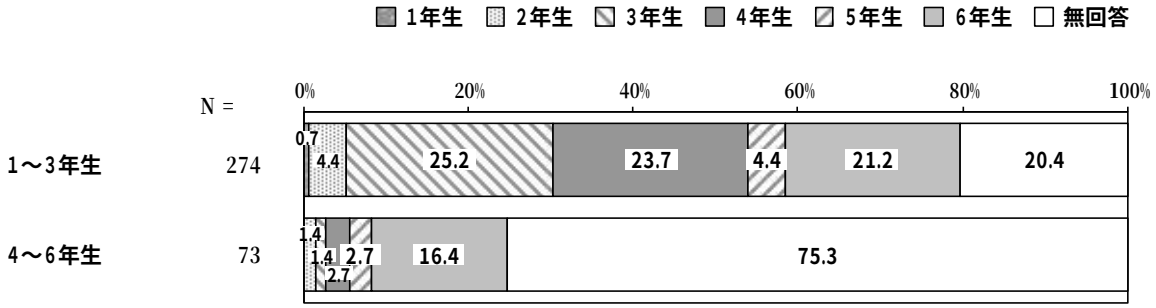
④ 学童保育の利用希望学年

問 10－2．何年生まで学童保育を利用したいですか（かっこ内に数字で）。

小学校低学年では、「３年生」の割合が 25.2%と最も高く、次いで「４年生」の割合が 23.7%、「６年生」の割合が 21.2%となっています。

小学校高学年では、「６年生」の割合が 16.4%と最も高くなっています。

【学童保育利用希望学年】



⑤ 学童保育の土曜日等の利用希望と利用希望時間帯

問 10－3．宛名のお子さんについて、（１）土曜日に、（２）日曜日・祝日に、（３）夏休み・冬休みなどの学校長期休業中に、学童保育を利用したいと思いますか（それぞれ○は１つだけ）。また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください（かっこ内に数字で）。

ア 土曜日

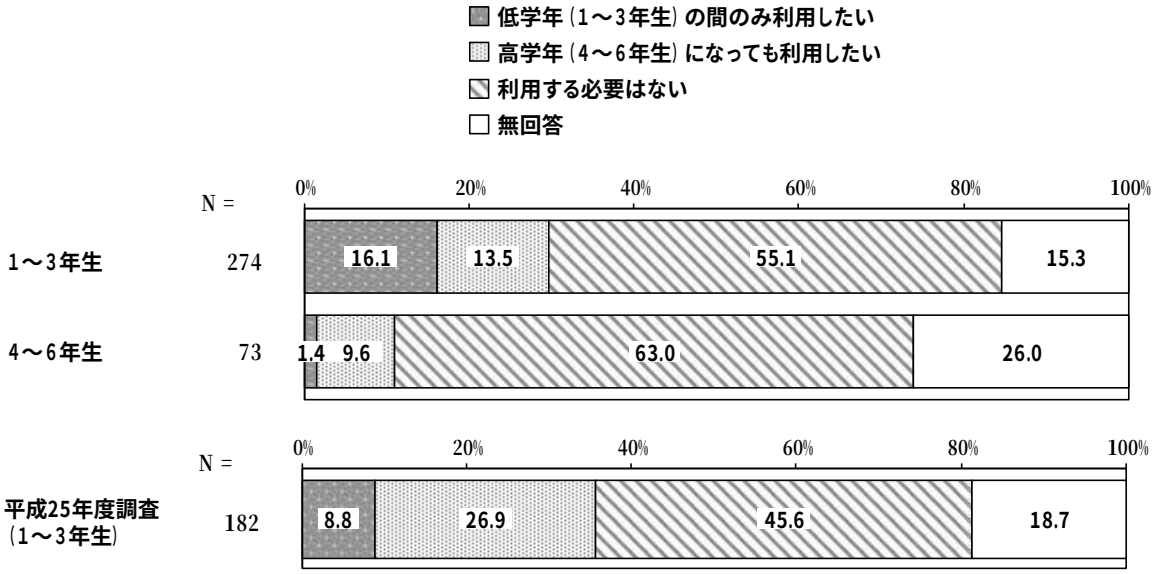
（ａ）利用希望

小学校低学年では、「利用する必要はない」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間のみ利用したい」の割合が 16.1%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が 13.5%となっています。

小学校高学年では、「利用する必要はない」の割合が 63.0%と最も高くなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「低学年（１～３年生）の間のみ利用したい」「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。

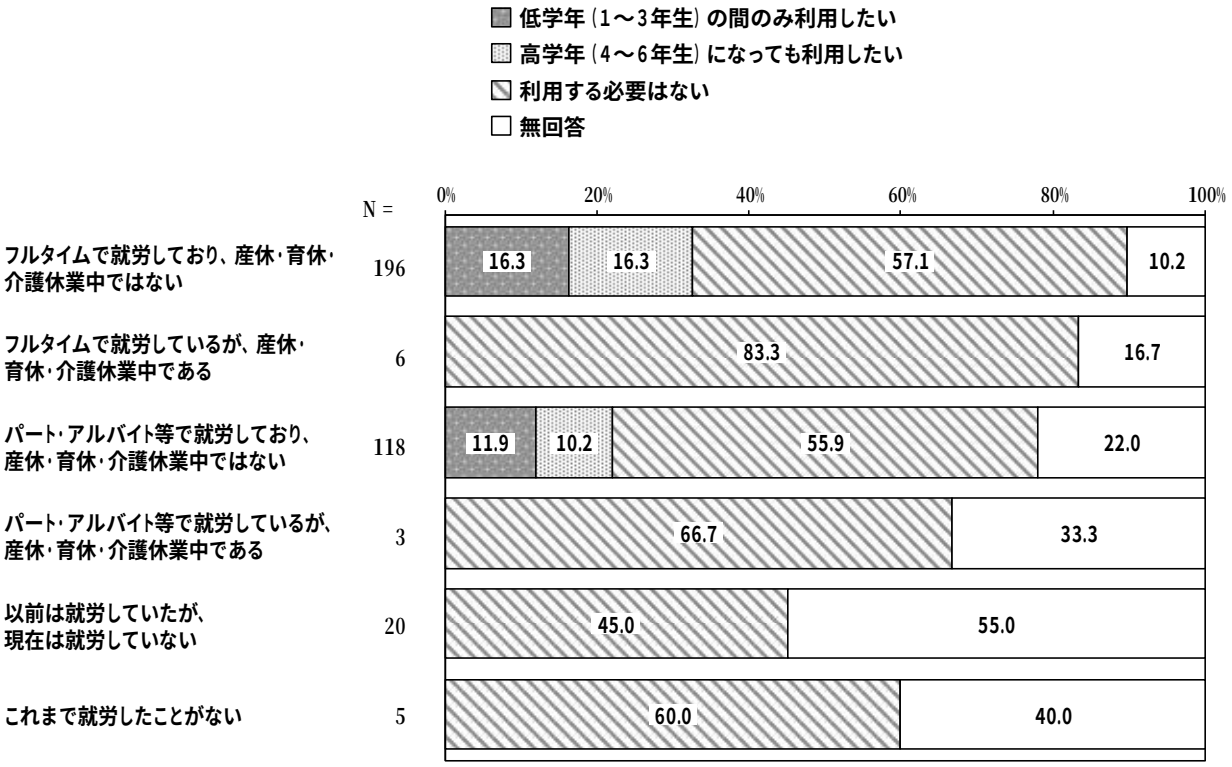
【土曜日の学童保育利用意向】



Ⅱ　調査結果　就学後児童（１年生～６年生）

【土曜日の学童保育利用意向・母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「低学年（１～３年生）の間のみ利用したい」「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が高くなっています。



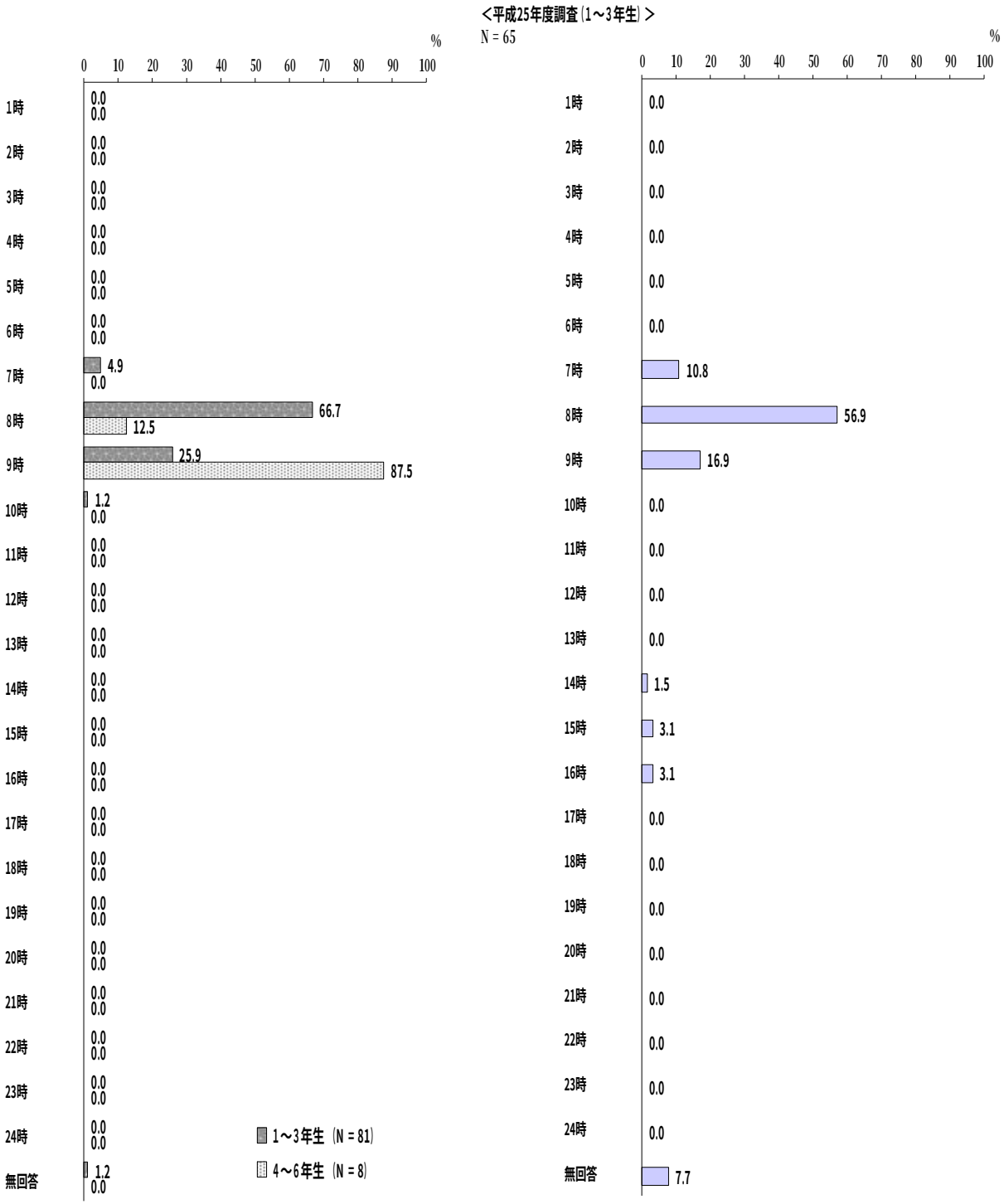
（b）希望する利用開始時刻

小学校低学年では、「８時」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「９時」の割合が 25.9%となっています。

小学校高学年では、「９時」が７件、「８時」が１件となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「８時」「９時」の割合が増加しています。一方、「７時」の割合が減少しています。

【土曜日の学童保育利用の希望時間帯（開始時刻）】



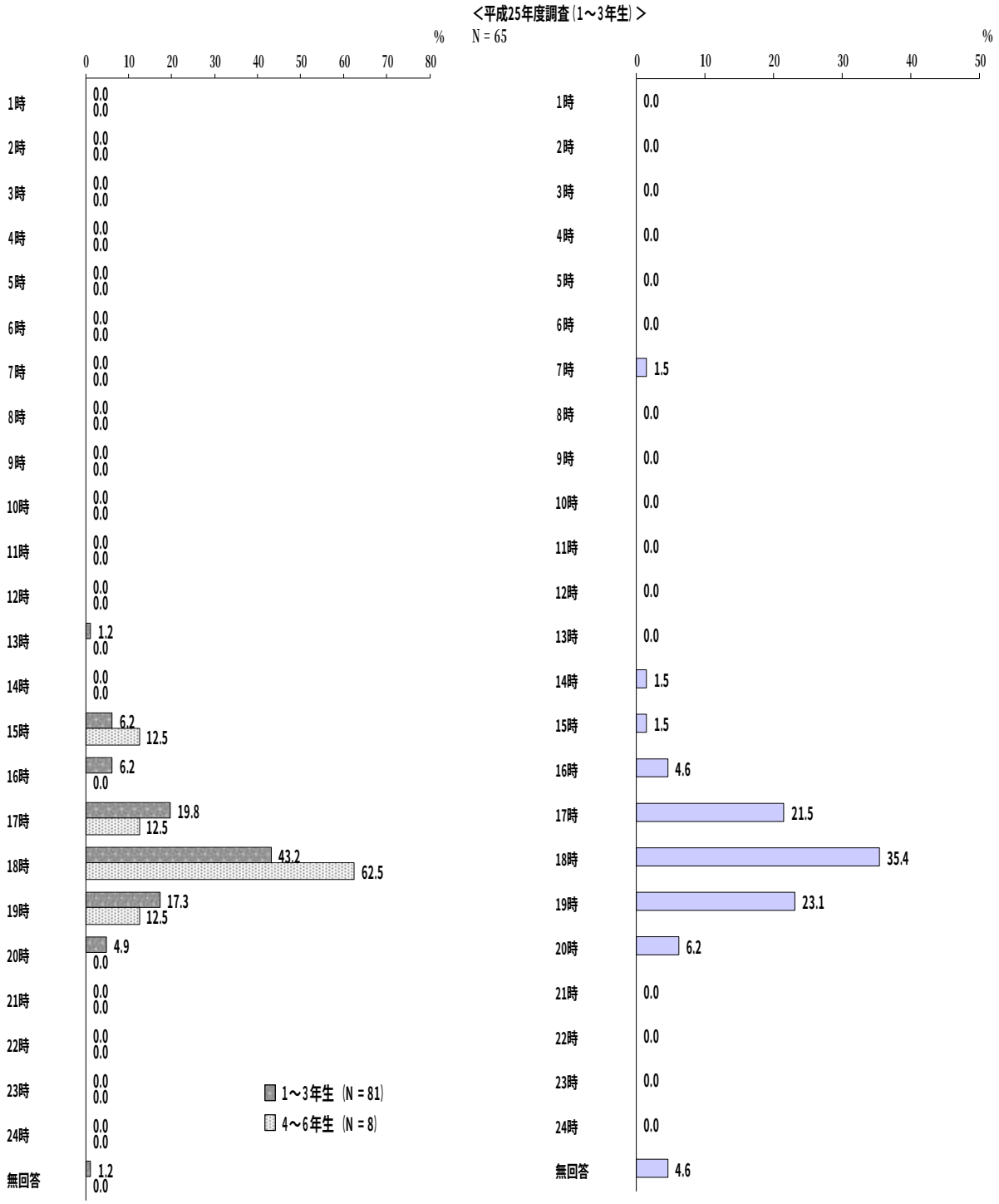
（ｃ）希望する利用終了時刻

小学校低学年では、「18 時」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 19.8%、「19 時」の割合が 17.3%となっています。

小学校高学年では、「18 時」が 5 件、「15 時」、「17 時」、「19 時」が 1 件となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「18 時」の割合が増加しています。一方、「19 時」の割合が減少しています。

【土曜日の学童保育利用の希望時間帯（終了時刻）】



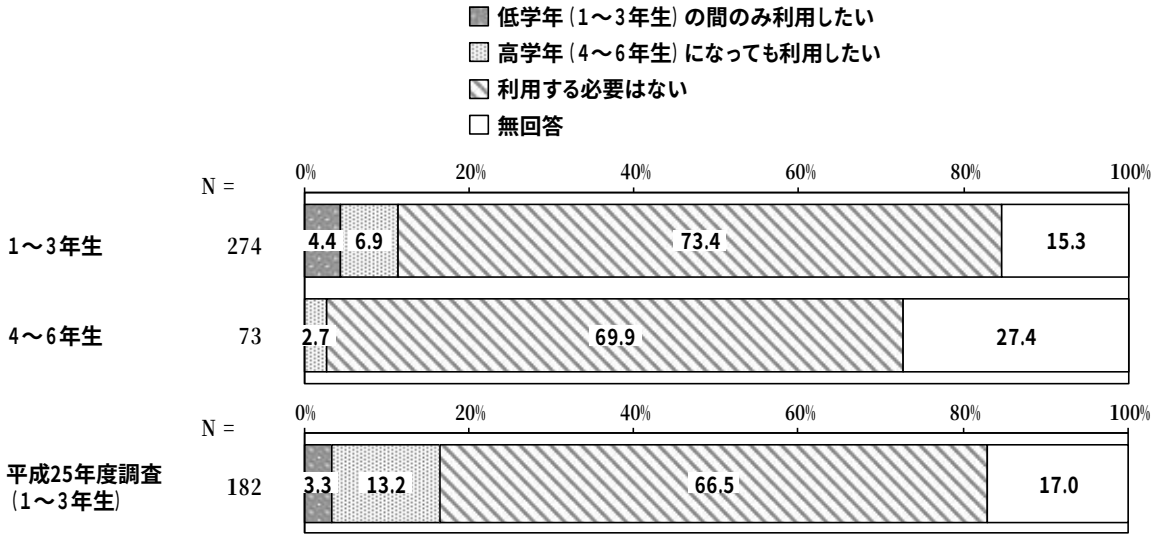
イ 日曜日・祝日

（ａ）利用希望

小学校低学年では、「利用する必要はない」の割合が 73.4%と最も高くなっています。
小学校高学年では、「利用する必要はない」の割合が 69.9%と最も高くなっています。

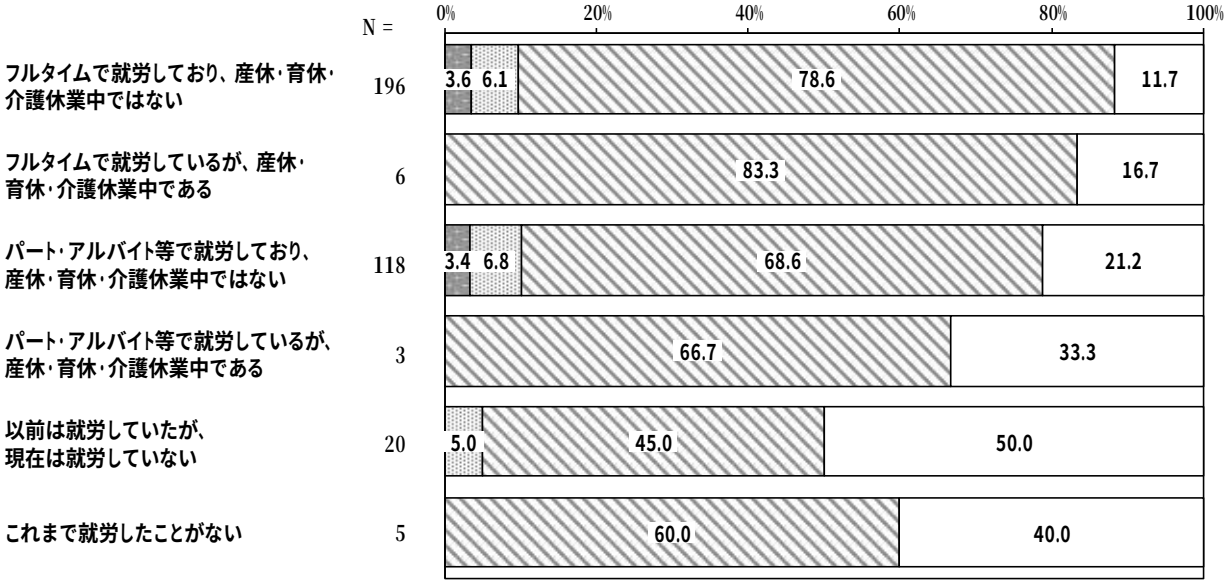
平成 25 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。

【日曜日・祝日の学童保育利用意向】



【日曜日・祝日の学童保育利用意向・母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「利用する必要はない」の割合が高くなっています。



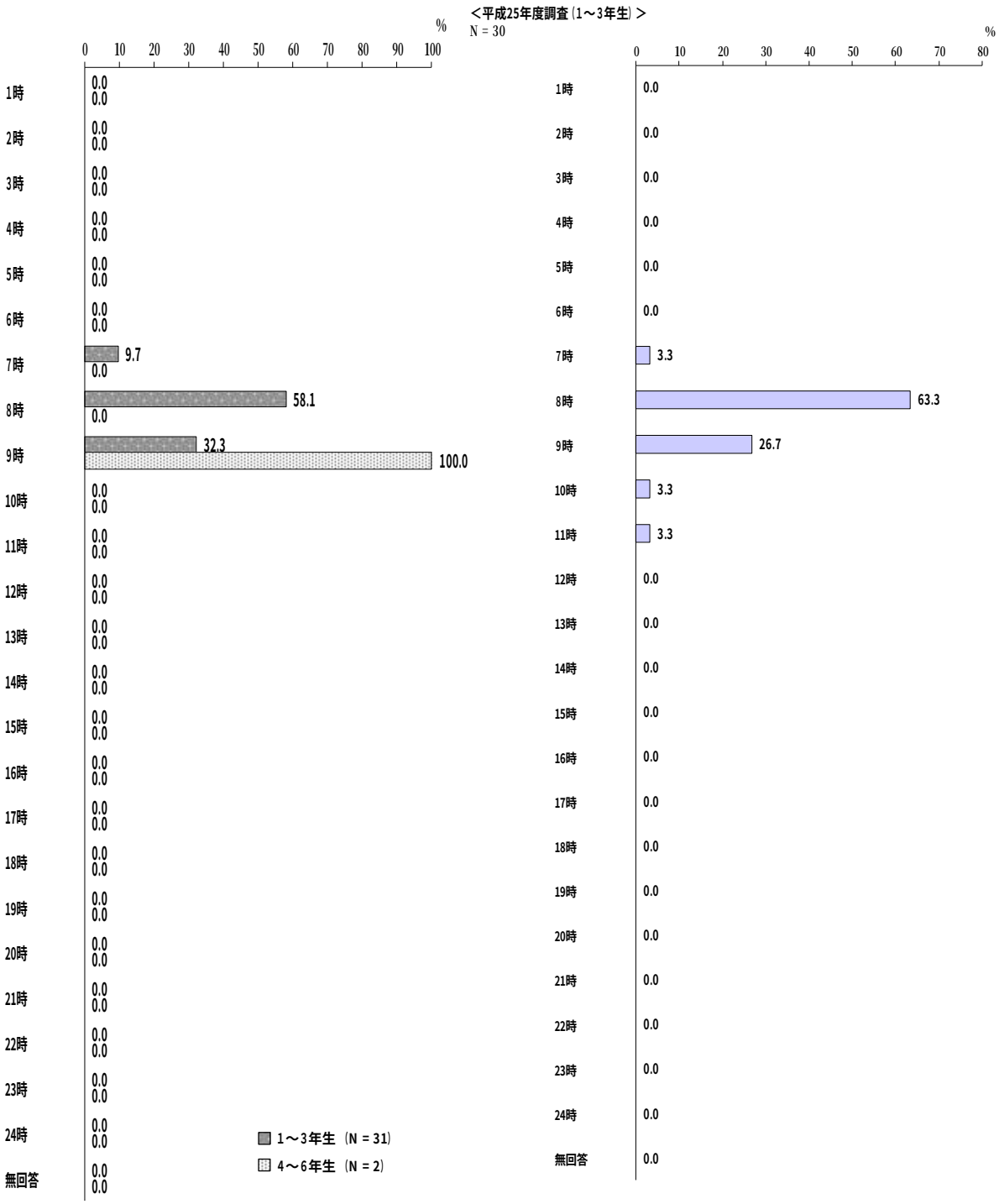
（b）希望する利用開始時刻

小学校低学年では、「８時」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「９時」の割合が 32.3%となっています。

小学校高学年では、「９時」が２件となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「７時」「９時」の割合が増加しています。一方、「８時」の割合が減少しています。

【日曜日・祝日の学童保育利用の希望時間帯（開始時刻）】



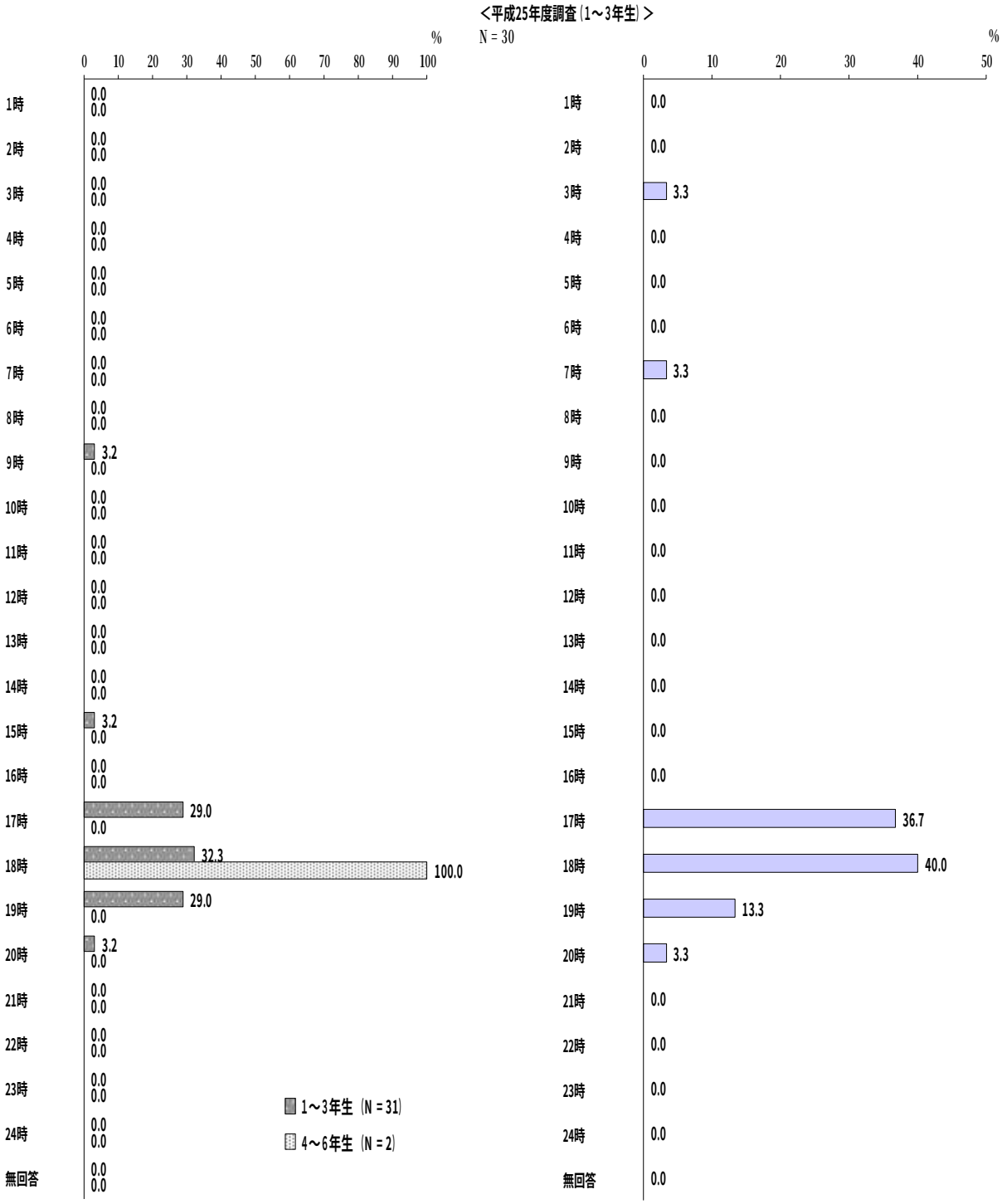
（ｃ）希望する利用終了時刻

小学校低学年では、「18 時」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「17 時」、「19 時」の割合が 29.0%となっています。

小学校高学年では、「18 時」が 2 件となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「19 時」の割合が増加しています。一方、「17 時」「18 時」の割合が減少しています。

【日曜日・祝日の学童保育利用の希望時間帯（終了時刻）】



ウ 夏休み・冬休みなどの学校長期休業中

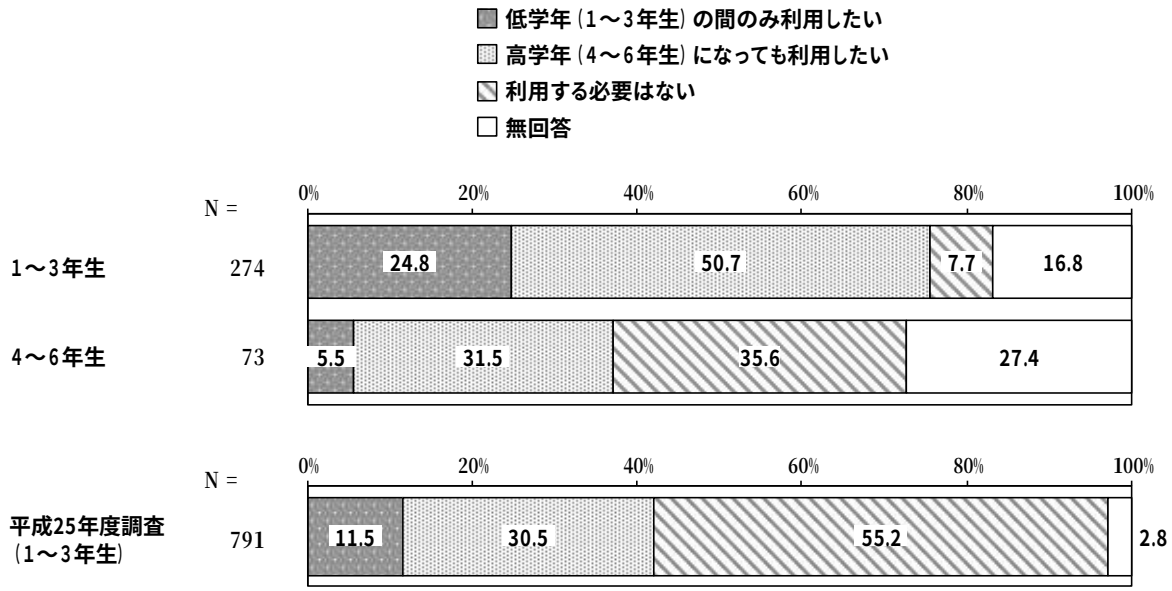
（ａ）利用希望

小学校低学年では、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間のみ利用したい」の割合が 24.8%となっています。

小学校高学年では、「利用する必要はない」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が 31.5%となっています。

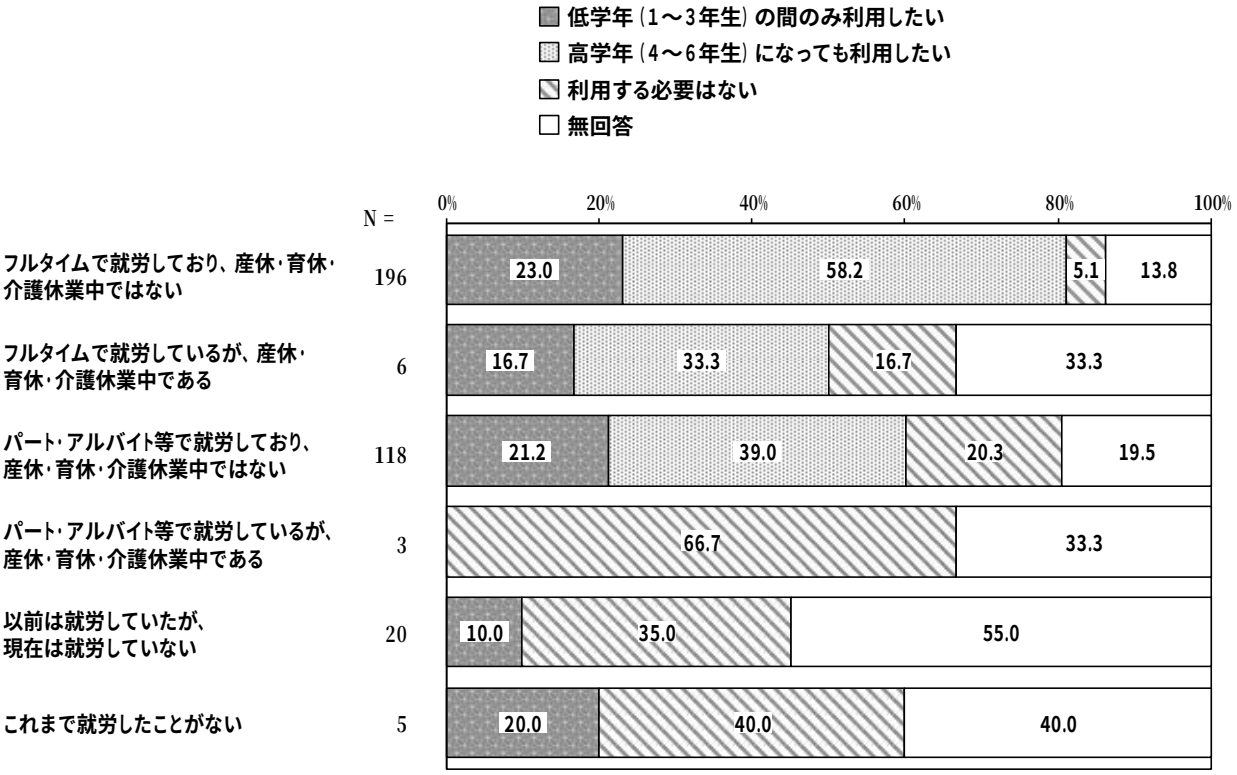
平成 25 年度調査と比較すると、「低学年（１～３年生）の間のみ利用したい」「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用する必要はない」の割合が減少しています。

【学校長期休業中の学童保育利用意向】



【学校長期休業中の学童保育利用意向・母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではないで「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が高くなっています。一方で、就労していない世帯については、「利用する必要はない」の割合が高くなっています。。



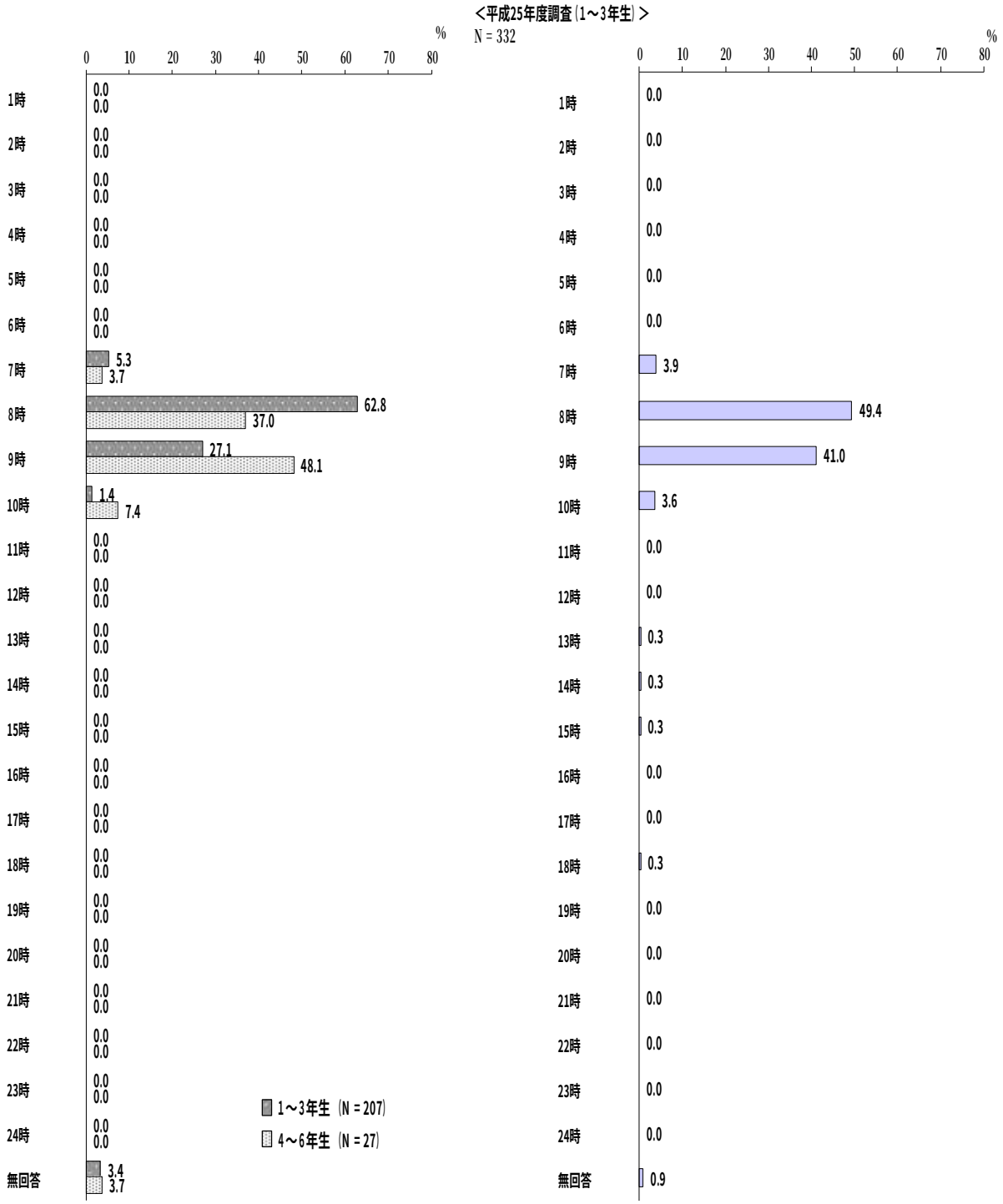
（ｂ）希望する利用開始時刻

小学校低学年では、「８時」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「９時」の割合が 27.1%となっています。

小学校高学年では、「９時」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「８時」の割合が 37.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「８時」の割合が増加しています。一方、「９時」の割合が減少しています。

【学校長期休業中の学童保育利用の希望時間帯（開始時刻）】



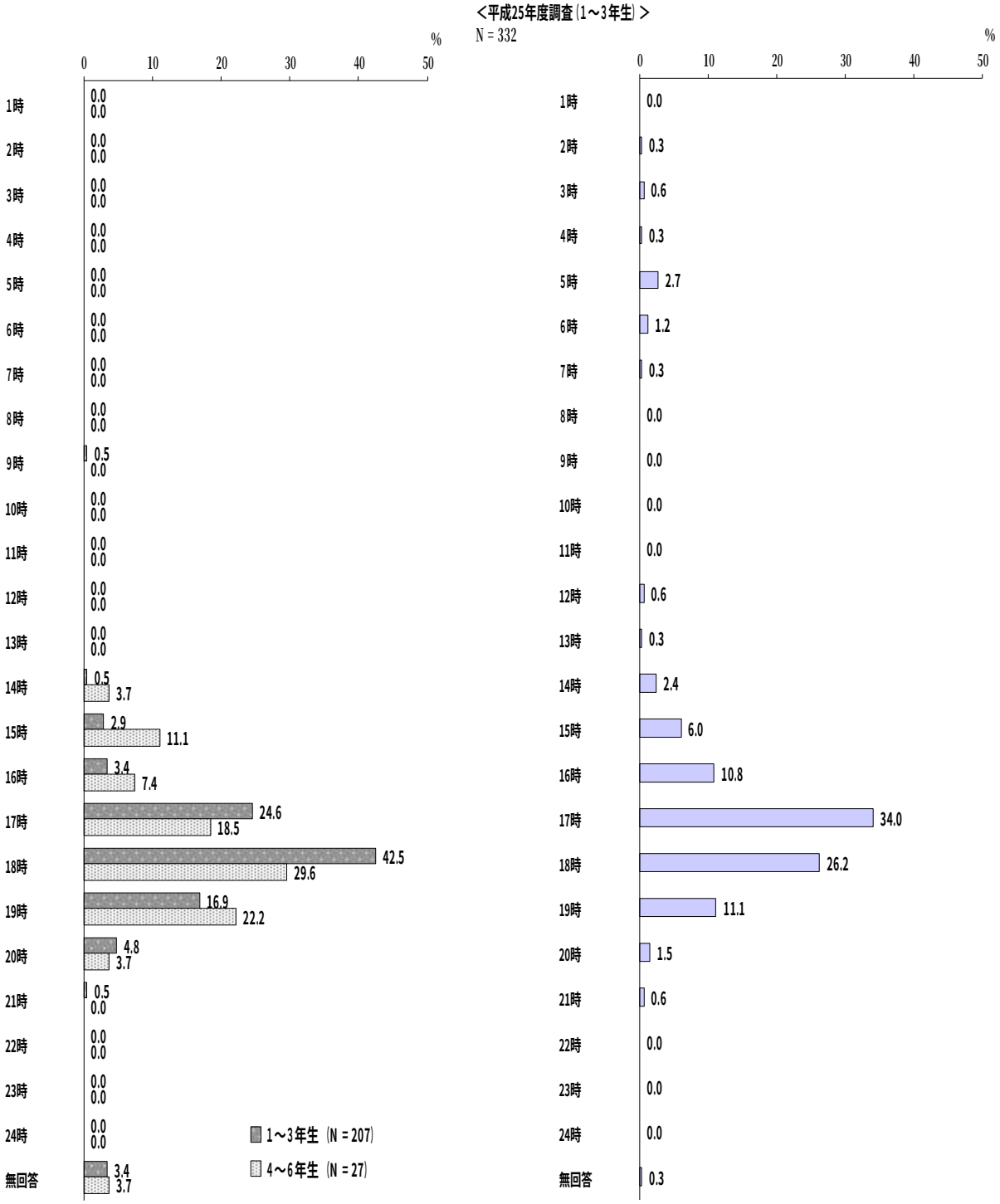
（ｃ）希望する利用終了時刻

小学校低学年では、「18 時」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「17 時」の割合が 24.6%、「19 時」の割合が 16.9%となっています。

小学校高学年では、「18 時」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「19 時」の割合が 22.2%、「17 時」の割合が 18.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「18 時」「19 時」の割合が増加しています。一方、「16 時」「17 時」の割合が減少しています。

【学校長期休業中の学童保育利用の希望時間帯（終了時刻）】



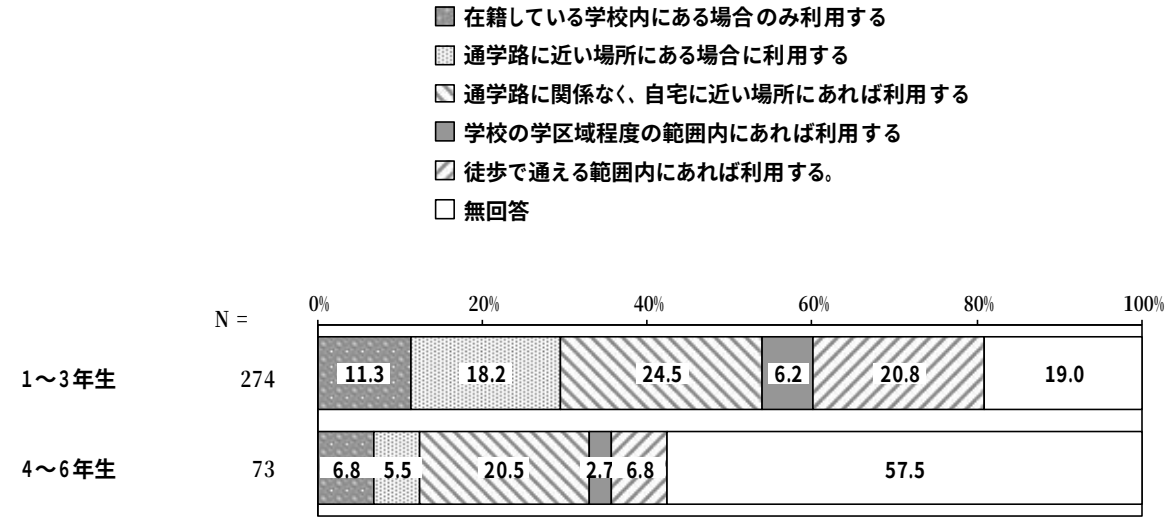
⑥ 学童保育の設置場所

問 10－４．学童保育室の設置場所について、どの範囲内にあれば学童保育室を利用しますか（○はひとつだけ）。

小学校低学年では、「通学路に関係なく、自宅に近い場所にあれば利用する」の割合が 24.5%と最も高く、次いで「徒歩で通える範囲内にあれば利用する。」の割合が 20.8%、「通学路に近い場所にある場合に利用する」の割合が 18.2%となっています。

小学校高学年では、「通学路に関係なく、自宅に近い場所にあれば利用する」の割合が 20.5%と最も高くなっています。

【学童保育室の希望設置場所】



⑦ 学童保育を利用していない理由

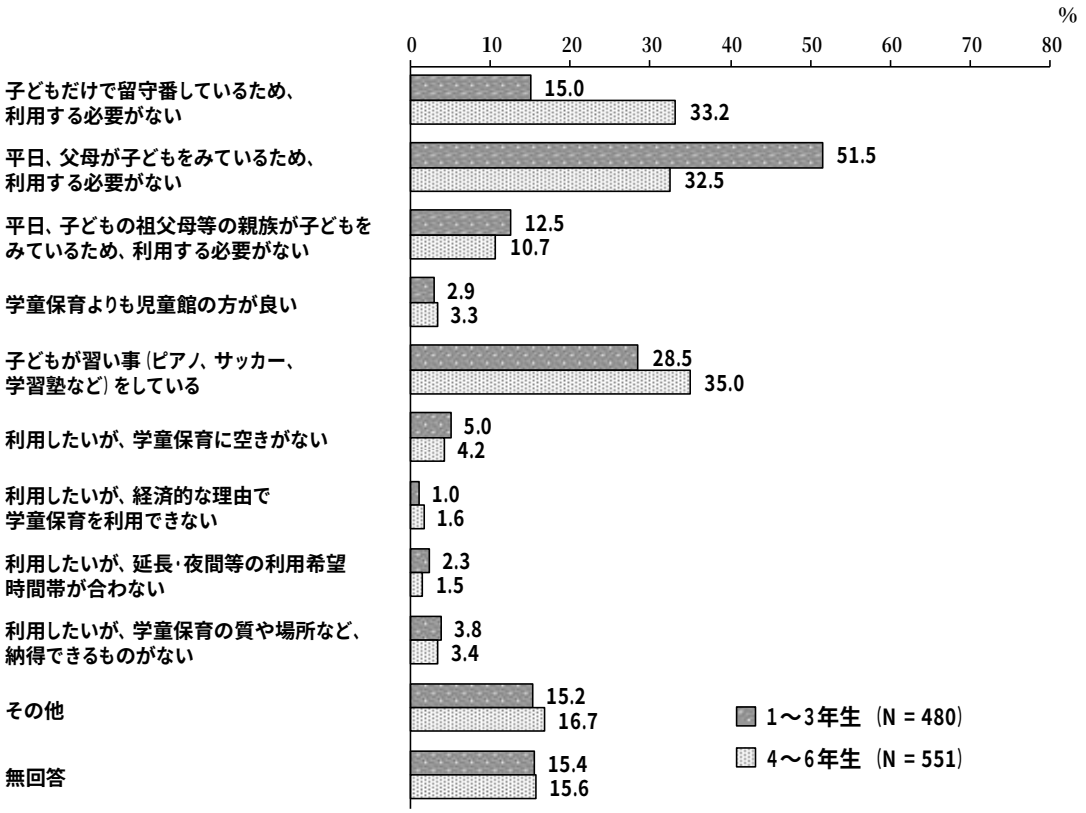
問 10－5 ．学童保育を利用していない理由は、次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

小学校低学年では、「平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしている」の割合が 28.5%、「子どもだけで留守番しているため、利用する必要がない」の割合が 15.0%となっています。

小学校高学年では、「子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしている」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「子どもだけで留守番しているため、利用する必要がない」の割合が 33.2%、「平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない」の割合が 32.5%となっています。

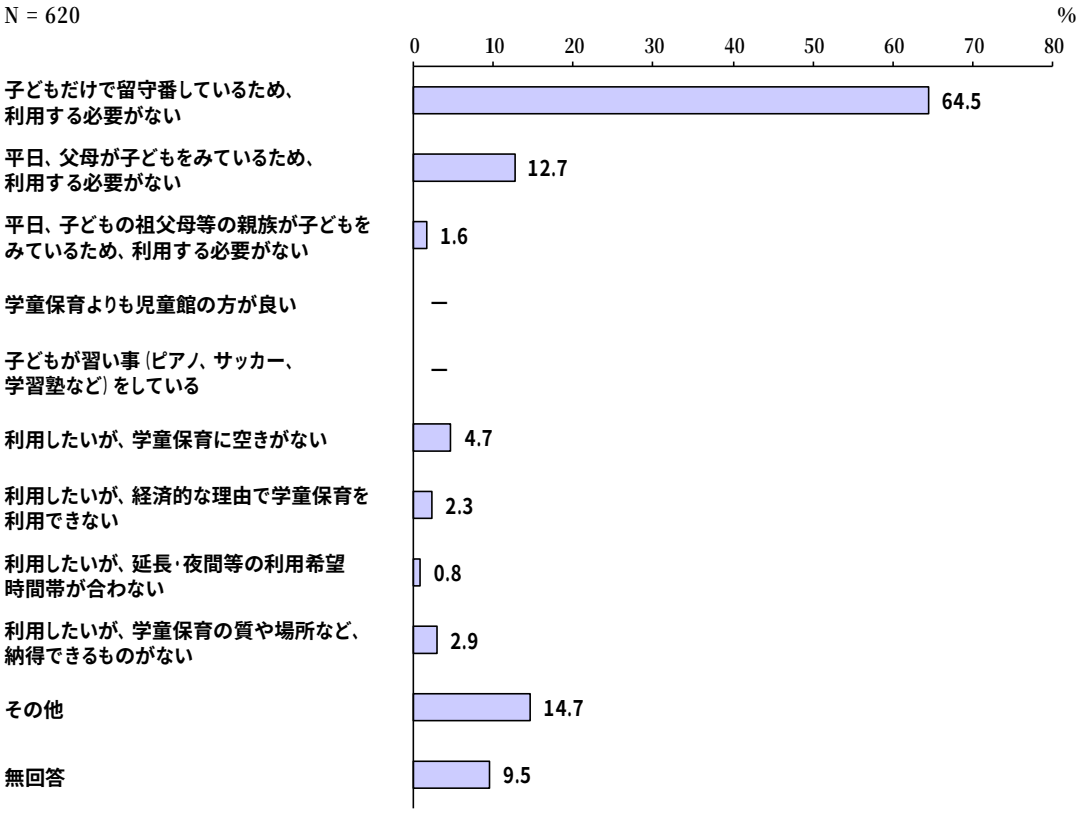
平成 25 年度調査と比較すると、「平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない」「平日、子どもの祖父母等の親族が子どもをみているため、利用する必要がない」の割合が増加しています。一方、「子どもだけで留守番しているため、利用する必要がない」の割合が減少しています。

【学童保育を利用していない理由】



Ⅱ　調査結果　就学後児童（１年生～６年生）

＜平成25年度調査（1～3年生）＞
N = 620



※平成 25 年度調査には「学童保育よりも児童館の方が良い」「子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしている」の選択肢はありませんでした。

Ⅲ　参考資料

1　就学前児童（０歳～５歳）調査票

【①就学前児童の保護者の方用】

教育・保育施設等の整備に関するニーズ調査

回答時間（目安）：5～10分

ひとりでも多くの皆様からの回答が必要です。
本調査へのご協力をお願いいたします。

当区に置きましても保育園等の待機児問題は年々深刻化しております。これまでも「待機児童解消アクション・プラン」に沿って保育定員の増に努めてまいりましたが、保育需要の急激な伸びに対応が追いつかないのが現状です。

そこで保育施設・学童保育室の整備等に向けて、皆様の保育ニーズをより的確に把握することを目的に実施するのが本調査です。お忙しいところ誠に恐縮には存じますが、待機児童解消に向けて区としても最善を尽くしてまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成29年11月
足立区長　近藤　やよい

ご記入にあたって

- 特に断りがない限り、封筒の宛名のお子さんについて、保護者の方がご記入ください。
- 特に断りがない限り、回答日現在の状況でお答えください。
- お答えの内容は、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

同封の返信用封筒に入れてご投函ください。（切手は不要です）

ご投函締切：１１月２７日（月）

お問い合わせ先

足立区教育委員会子ども家庭部　子ども政策課子ども・子育て支援制度担当
電話：03－3880－5795（受付時間：月～金　8時30分～17時15分　※祝日除く）
Ｅメール：kosodate@city.adachi.tokyo.jp

～　本調査票は、小学校6年生以下のお子さんを住民票から無作為に抽出し、その保護者の皆様9,950人の方々に送付させていただきました　～

お住まいの地域についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問１．お住まいの地区をかっこ内にご記入ください。

足立区（　　）（　　）丁目

※記入例：（ 千住 ）（ ２ ）丁目 、（保塚町）（　　）丁目 など

宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問２．宛名のお子さんの生年月をご記入ください（かっこ内に数字で）。

平成（　　）年 （　　）月生まれ

問３．この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
宛名のお子さんからみた関係でお答えください（○は１つだけ）。

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

問４．この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか（○は１つだけ）。

１．配偶者がいる　　２．配偶者はいない

問５．宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください（○は１つだけ）。

１．父母ともに
２．主に母親
３．主に父親
４．主に祖父母等の親族
５．その他（　　）

→ 問６（２ページ）へ

宛名のお子さんの「保護者の方の就労状況」についてうかがいます。

（注）以下、「フルタイム」とは１週５日程度・１日８時間程度の就労を指します。
また、「パート・アルバイト等」とは「フルタイム」以外の就労を指します。

宛名のお子さんのお母さまにうかがいます。父子家庭の場合は問７（３ページ）へお進みください。

問６．お母さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか
（○は１つだけ）。

１．フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
２．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
３．パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
４．パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
５．以前は就労していたが、現在は就労していない
６．これまで就労したことがない

→ 問７（３ページ）へ

問６で「１．～ ４．」のいずれかに、○をつけた方におうかがいします。

問６－１．お母さまの「（１）就労日数」「（２）就労時間（通勤時間・残業時間を含む）」「（３）家を出る時刻」「（４）「帰宅時刻」についてお答えください（かっこ内に数字で）。

母　親	(1) 就労日数	１週あたり　（　　）日
	(2) 就労時間（通勤、残業時間を含む）	１日あたり　（　　）時間
	(3) 家を出る時刻	（　　）時
	(4) 帰宅時刻	（　　）時

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は、24時間制（例えば、家を出る時刻8時、帰宅時刻20時など）、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨て（例えば、家を出る時刻が８時15分のときは８時、帰宅時間が18時30分のときは19時）でお答えください。

→ 問７（３ページ）へ

宛名のお子さんのお父さまにうかがいます。母子家庭の場合は問８（４ページ）へお進みください。

問７．お父さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（○は１つだけ）。

1．フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2．フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
3．パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4．パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である

5．以前は就労していたが、現在は就労していない
6．これまで就労したことがない

→ 問８（４ページ）へ

問７で「1．～ 4．」のいずれかに、○をつけた方におうかがいします。

問７－１．お父さまの「（１）就労日数」「（２）就労時間（通勤時間・残業時間を含む）」「（３）家を出る時刻」「（４）帰宅時刻」についてご記入ください（かっこ内に数字で）。

父　親	(1) 就労日数	１週あたり　（　　）日
	(2) 就労時間（通勤、残業時間を含む）	１日あたり　（　　）時間
	(3) 家を出る時刻	（　　）時
	(4) 帰宅時刻	（　　）時

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は、24時間制（例えば、家を出る時刻8時、帰宅時刻20時など）、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨て（例えば、家を出る時刻が8時15分のときは8時、帰宅時間が18時30分のときは19時）でお答えください。

→ 問８（４ページ）へ

問６または問７で、お母さま またはお父さまのいずれかが「３．パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」または「４．パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」とお答えの方に、おうかがいします。

問８．今後の就労希望は、次のどれにあたりますか（○は１つだけ）。

母　親 （問６で３または４に○をつけた方）	1．フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している 2．フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない 3．パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
父　親 （問７で３または４に○をつけた方）	1．フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している 2．フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない 3．パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

→ 問９（４ページ）へ

問６または問７で、お母さま またはお父さまのいずれかが「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」とお答えの方に、おうかがいします。

問９．今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ１つだけ）。
また、下記で「３．または４．（パート・アルバイト等で就労したい）」に○をつけた方は、希望する「就労日数」および「就労時間」についてもお答えください（かっこ内に数字で）。

母　親 （問６で５または６に○をつけた方）	1．フルタイムですぐに就労したい 2．フルタイムで数年後までには就労したい 3．パート・アルバイト等ですぐに就労したい 4．パート・アルバイト等で数年後までには就労したい 5．就労の予定はない（子育てや家事に専念したい、等）	(1)希望する就労日数 １週あたり（　　）日 (2)希望する就労時間（残業、通勤時間を含む） １日あたり（　　）時間
父　親 （問７で５または６に○をつけた方）	1．フルタイムですぐに就労したい 2．フルタイムで数年後までには就労したい 3．パート・アルバイト等ですぐに就労したい 4．パート・アルバイト等で数年後までには就労したい 5．就労の予定はない（子育てや家事に専念したい、等）	(1)希望する就労日数 １週あたり（　　）日 (2)希望する就労時間（残業、通勤時間を含む） １日あたり（　　）時間

→ 問 10（５ページ）へ

宛名のお子さんの「平日の定期的な教育・保育事業の利用状況」についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

（注）ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業（サービスや施設など）を指します。具体的には、問１０－１に示した事業が含まれます。保育園や幼稚園であれば在園して利用していることを指します。

問10. 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの平日の定期的な教育・保育事業を利用されていますか（○は１つだけ）。

1．利用している　　2．利用していない→ 問 10−5（6ページ）へ

問 10 で「1．利用している」とお答えの方におうかがいします。

問10−1. 宛名のお子さんは、平日、年間を通じて定期的にどのような教育・保育事業を利用していますか（○はあてはまるものすべて）。

1．私立幼稚園（通常の就園時間の利用）※私立認定こども園の短時間利用（９～１４時）を含む
2．私立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3．私立認定こども園の長時間利用
4．区立認定こども園の短時間利用（４・５歳児）
5．認可保育所（国が定める基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
※区立認定こども園の長時間利用を含む
6．東京都認証保育所（東京都が認証した保育施設）
7．小規模保育（０～２歳児の子どもを預かる定員６～１９人の保育施設）
8．家庭的保育（保育ママ）（０～２歳児の子どもを保育者の自宅等で保育する事業）
9．あだち子育て応援隊・月ぎめ預かり（地域の子育て経験者などが子どもを預かる事業）
10．事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
11．居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
12．その他（施設・サービス名：　　）

問 10 で「1．利用している」とお答えの方におうかがいします。

問10−2. 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか（かっこ内に数字で）。

(1)現在	①利用日数	1週あたり　（　　）日
	②利用時間	1日あたり　（　　）時間 （　　）時から（　　）時まで
(2)希望	①利用日数	1週あたり　（　　）日
	②利用時間	1日あたり　（　　）時間 （　　）時から（　　）時まで

※時間は、24時間制（例えば、8時から20時まで など）、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨て（例えば、8時15分のときは8時、18時30分のときは19時など）でお答えください。

→ 問 10−3（6ページ）へ

問 10 で「1．利用している」とお答えの方におうかがいします。

問10−3. 現在、利用している教育・保育事業の利用場所は次のどれですか（○は１つだけ）。

1．足立区内　　2．他の区市町村（区市町村名：　　）

問 10 で「1．利用している」とお答えの方におうかがいします。

問 10−4. 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

1．子どもの教育や発達のため
2．子育て（教育を含む）をしている方が現在就労しているため
3．子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中であるため
4．子育て（教育を含む）をしている方が家族・祖父母等の親族などを介護しているため
5．子育て（教育を含む）をしている方が病気や障がいがあるため
6．子育て（教育を含む）をしている方が学生であるため
7．その他（　　）

→ 問 11（7ページ）へ

問 10 で「2．利用していない」とお答えの方におうかがいします。

問10−5. 平日に定期的に教育・保育事業を利用していない理由は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

1．平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない
2．平日、子どもの祖父母等の親族が子どもをみているため、利用する必要がない
3．平日、近所の人や父母の友人・知人が子どもをみているため、利用する必要がない
4．利用したいが、保育・教育の事業（施設等）に空きがない
5．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6．利用したいが、延長・夜間等の利用希望時間帯が合わない
7．利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8．子どもがまだ小さいため
9．その他（　　）

問 10−5 で「8．子どもがまだ小さいため」とお答えの方におうかがいします。

問10−6. 宛名のお子さんが何歳くらいになったら、平日に定期的に教育・保育事業を利用しようと考えていますか（かっこ内に数字で）。

利用希望年齢	（　　）歳

→ 問 11（7ページ）へ

すべての方におうかがいします。

問11．宛名のお子さんの平日の教育・保育事業について、現在、利用している、利用していないにかかわらず、定期的に利用したいと考える事業は次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。（下表参照）

1．私立幼稚園（通常の就園時間の利用）※私立認定こども園の短時間利用（9～14時）を含む
2．私立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3．私立認定こども園の長時間利用
4．区立認定こども園の短時間利用（4・5歳児）
5．認可保育所（国が定める基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
※区立認定こども園の長時間利用を含む
6．東京都認証保育所（東京都が認証した保育施設）
7．小規模保育（0～2歳児の子どもを預かる定員6～19人の保育施設）
8．家庭的保育（保育ママ）（0～2歳児の子どもを保育者の自宅等で保育する事業）
9．事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
10．居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
11．その他（施設・サービス名：　　）

12．いずれも利用したくない → 問12（8ページ）へ

問11で「1．～ 11．」のいずれかに、○をつけた方におうかがいします。

問11－1．教育・保育事業を利用したい場所は次のどれですか（○は1つだけ）。

1．足立区内　　2．他の区市町村（区市町村名：　　）

→ 問12（8ページ）へ

（参考）定期的な保育サービスの利用料

	利用料の目安
1．私立幼稚園	月額26,000～32,000円程度（区助成制度あり。区民税額等により異なる。3,500～32,000円）
2．私立幼稚園の預かり保育	「1．私立幼稚園」の利用料に加え、日額500円から800円程度
3．私立認定こども園の長時間利用	区民税額、年齢等によって異なる。【D8階層の場合】月額20,200円（4歳児以上）～27,500円（3歳児未満）
4．区立認定こども園の短時間利用	区民税額等によって異なる。【C階層の場合】月額11,000円
5．認可保育所	区民税額、年齢等によって異なる。【D8階層の場合】月額20,200円（4歳児以上）～27,500円（3歳児未満）
6．東京都認証保育所	月額35,000～80,000円（区助成制度あり。年齢、区民税額等により異なる。13,000～40,000円）
7．小規模保育	区民税額等によって異なる。【D8階層の場合】月額24,800円
8．家庭的保育（保育ママ）	区民税額等によって異なる。【D8階層の場合】月額19,800円
9．事業所内保育施設	各事業所により異なる。
10．居宅訪問型保育	各事業により異なる。

※施設により上記の他に給食等実費の負担があります。
※利用料の詳細については、ホームページをご覧ください。
http://www.city.adachi.tokyo.jp/kosodate/azukeru/index.html

育児休業など、「職場の両立支援制度」についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問12．宛名のお子さんが生まれたとき、母親・父親のいずれかもしくは双方が、育児休業を取得しましたか。母親・父親それぞれについてお答えください（それぞれ○は1つだけ）。
また、取得していない場合、取得していない理由は次のどれですか
（○はあてはまるものすべて）。

母親	父親
(1)取得状況（○は1つだけ） ※父子家庭の場合、記入は不要です。	(1)取得状況（○は1つだけ） ※母子家庭の場合、記入は不要です。
1．働いていなかった → 問13（12ページ）へ	1．働いていなかった → 問13（12ページ）へ
2．取得した（取得中である） → 問12－1（9ページ）へ	2．取得した（取得中である） → 問12－1（9ページ）へ
3．取得していない	3．取得していない

	(2)取得していない理由（あてはまる番号すべてに○）	
1	1．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため	1
2	2．仕事が忙しく、育児休業を取得することが困難だったため	2
3	3．（産休後に）仕事に早く復帰したかったため	3
4	4．仕事に戻るのが難しそうだったため	4
5	5．昇給・昇格などが遅れそうだったため	5
6	6．収入を得たかったため	6
7	7．保育園などに預けることができたため	7
8	8．育児休業取得後では保育園に入りにくいと思ったため	8
9	9．配偶者が育児休業制度を利用して、子どもをみることができたため	9
10	10．配偶者（無職）、祖父母等の親族に子どもをみてもらえることができたため	10
11	11．子育てや家事に専念する理由で退職したため	11
12	12．職場に育児休業の制度がなかったため	12
13	13．育児休業の取得要件を満たさず、取得できなかったため（有期雇用の場合など）	13
14	14．育児休業を取得できることを知らなかったため	14
15	15．その他（　　）	15

→ 母親・父親のいずれもが「3.取得していない」場合は、問13（12ページ）へ

問 12 で母親・父親のおひとりでも「2．取得した（取得中である）」とお答えの方にうかがいます。

問12－1．育児休業取得後、職場に復帰しましたか（それぞれ○は１つだけ）。

母親	父親
1．育児休業取得後、職場に復帰した	1．育児休業取得後、職場に復帰した
2．現在も育児休業中である	2．現在も育児休業中である
3．育児休業中に離職した	3．育児休業中に離職した

問 13（12 ページ）へ　　問 12－5（11 ページ）へ

問 12－1 で母親・父親のおひとりでも「1．育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方に、おうかがいします。

問12－2．育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか（○は１つだけ）。

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1．」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1．」を選択してください。

母親	父親
1．年度初めの入園にあわせたタイミングだった	1．年度初めの入園にあわせたタイミングだった
2．それ以外だった	2．それ以外だった

問 12－1 で母親・父親のおひとりでも「1．育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えの方に、おうかがいします。

問12－3．育児休業からは、お子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか（かっこ内に数字で）。

母親	父親
(1)実際の取得期間	(1)実際の取得期間
（　　）歳　（　　）ヶ月まで	（　　）歳　（　　）ヶ月まで
(2)希望の取得期間	(2)希望の取得期間
（　　）歳　（　　）ヶ月まで	（　　）歳　（　　）ヶ月まで

→ 問12－4（10ページ）へ

問 12－3 で母親・父親のおひとりでも、育児休業からの実際の職場復帰の時期と希望の職場復帰の時期が異なる方に、おうかがいします。

問12－4．希望の時期に職場復帰しなかった（できなかった）理由は、次のうちどれですか（○はあてはまるものすべて）。

（1）希望より早く職場復帰した方

母親	父親
1．希望する保育所に入るため	1．希望する保育所に入るため
2．配偶者や家族の希望があったため	2．配偶者や家族の希望があったため
3．経済的な理由で早く復帰する必要があった	3．経済的な理由で早く復帰する必要があった
4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5．その他（　　）	5．その他（　　）

→ 問12－5（11ページ）へ

（2）希望より遅く職場復帰した方

母親	父親
1．希望する保育所に入れなかったため	1．希望する保育所に入れなかったため
2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3．配偶者や家族の希望があったため	3．配偶者や家族の希望があったため
4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4．職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5．子どもをみてくれる人がいなかったため	5．子どもをみてくれる人がいなかったため
6．その他（　　）	6．その他（　　）

→ 問12－5（11ページ）へ

問 12－1で母親・父親のおひとりでも、「2．現在も育児休業中である」と回答した方におうかがいします。

問12－5．いつまで育児休業を取得する予定ですか（それぞれ○は１つだけ）。

母親	父親
1．お子さんが１歳になるまで育児休業を取得する → 問13（12ページ）へ	1．宛名のお子さんが１歳になるまで育児休業を取得する → 問13（12ページ）へ
2．お子さんが１歳になる前に復帰する	2．お子さんが１歳になる前に復帰する

問12－6．宛名のお子さんが１歳になったときに必ず利用できる事業があれば、１歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても１歳になる前に復帰しますか（それぞれ○は１つだけ）。

母親	父親
1．１歳になるまで育児休業を取得したい → 問 13（12 ページ）へ	1．１歳になるまで育児休業を取得したい → 問 13（12 ページ）へ
2．１歳になる前に復帰したい	2．１歳になる前に復帰したい

問 12－6で母親・父親のおひとりでも、「2．１歳になる前に復帰したい」と回答した方におうかがいします。

問12－7．１歳になる前に復帰したい理由は、次のうちどれですか（○はあてはまるものすべて）。

1．経済的な理由で復帰する必要があるため
2．職場から早期の復帰を求められているため
3．社会との関わりを保つためにも、早く職場復帰したいと考えているため
4．早くから保育施設に預けた方が、子どもの育ちに良いと思うため
5．その他（　　）

→ 問13（12ページ）へ

問13．最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。
調査にご協力いただき、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

ご投函締切：１１月２７日（月）

２　就学後児童（１年生～６年生）調査票

【②就学後児童（小学生）の保護者の方用】

学童保育室の利用に関するニーズ調査

回答時間（目安）：5～10分

ひとりでも多くの皆様からの回答が必要です。
本調査へのご協力をお願いいたします。

当区に置きましても保育園等の待機児問題は年々深刻化しております。これまでも「待機児童解消アクション・プラン」に沿って保育定員の増に努めてまいりましたが、保育需要の急激な伸びに対応が追いつかないのが現状です。

そこで保育施設・学童保育室の整備等に向けて、皆様の保育ニーズをより的確に把握することを目的に実施するのが本調査です。お忙しいところ誠に恐縮には存じますが、待機児童解消に向けて区としても最善を尽くしてまいりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成29年11月
足立区長　近藤　やよい

ご投函締切：１１月２７日（月）

同封の返信用封筒に
入れてご投函ください。
（切手は不要です）

お問い合わせ先

足立区教育委員会子ども家庭部　子ども政策課子ども・子育て支援制度担当
電話：03－3880－5795（受付時間：月～金　8時30分～17時15分　※祝日除く）
Ｅメール：kosodate@city.adachi.tokyo.jp

～　本調査票は、小学校6年生以下のお子さんを住民票から無作為に抽出し、その保護者の皆様9,950人の方々に送付させていただきました　～

ご記入にあたって

●特に断りがない限り、**封筒の宛名のお子さんについて、保護者の方がご記入**ください。

●特に断りがない限り、**回答日現在の状況でお答えください**。

●お答えの内容は、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

お住まいの地域についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問1．お住まいの地区をかっこ内にご記入ください。

足立区（　　）（　　）丁目

※記入例：（ 千住 ）（ 2 ）丁目 、（保塚町）（　　）丁目 など

宛名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問2．宛名のお子さんの生年月をご記入ください（かっこ内に数字で）。

平成（　　）年 （　　）月生まれ

問3．この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
宛名のお子さんからみた関係でお答えください（○は１つだけ）。

1．母親　　2．父親　　3．その他（　　）

問4．この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか（○は１つだけ）。

1．配偶者がいる　　2．配偶者はいない

問5．宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係でお答えください（○は１つだけ）。

1．父母ともに
2．主に母親
3．主に父親
4．主に祖父母等の親族
5．その他（　　）

→ 問6（2ページ）へ

宛名のお子さんの「保護者の方の就労状況」についてうかがいます。

（注）以下、「フルタイム」とは１週５日程度・１日８時間程度の就労を指します。
また、「パート・アルバイト等」とは「フルタイム」以外の就労を指します。

宛名のお子さんのお母さまにうかがいます。父子家庭の場合は問７（３ページ）へお進みください。

問6．お母さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか
（○は１つだけ）。

1．フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2．フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3．パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4．パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

5．以前は就労していたが、現在は就労していない
6．これまで就労したことがない

→ 問7（3ページ）へ

問6で「1．～ 4．」のいずれかに、○をつけた方におうかがいします。

問6－1．お母さまの「（1）就労日数」「（2）就労時間（通勤時間・残業時間を含む）」「（3）家を出る時刻」「（4）帰宅時刻」についてお答えください（かっこ内に数字で）。

母　親	(1) 就労日数	１週あたり　（　　）日
	(2) 就労時間（通勤、残業時間を含む）	１日あたり　（　　）時間
	(3) 家を出る時刻	（　　）時
	(4) 帰宅時刻	（　　）時

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は、24時間制（例えば、家を出る時刻8時、帰宅時刻20時など）、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨て（例えば、家を出る時刻が8時15分のときは8時、帰宅時間が18時30分のときは19時）でお答えください。

→ 問7（3ページ）へ

宛名のお子さんのお父さまにうかがいます。母子家庭の場合は問８（４ページ）へお進みください。

問７．お父さまの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のどれにあたりますか（○は１つだけ）。

1．フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2．フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
3．パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4．パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である

5．以前は就労していたが、現在は就労していない
6．これまで就労したことがない
→ 問８（４ページ）へ

問７で「1．～ 4．」のいずれかに、○をつけた方におうかがいします。

問７－１．お父さまの「（１）就労日数」「（２）就労時間（通勤時間・残業時間を含む）」「（３）家を出る時刻」「（４）帰宅時刻」についてご記入ください（かっこ内に数字で）。

父　親	(1) 就労日数	１週あたり　（　　）日
	(2) 就労時間（通勤、残業時間を含む）	１日あたり　（　　）時間
	(3) 家を出る時刻	（　　）時
	(4) 帰宅時刻	（　　）時

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時間は、24時間制（例えば、家を出る時刻8時、帰宅時刻20時など）、30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨て（例えば、家を出る時刻が8時15分のときは8時、帰宅時間が18時30分のときは19時）でお答えください。

→ 問８（４ページ）へ

問６または問７で、お母さま またはお父さまのいずれかが「３．パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」または「４．パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」とお答えの方に、おうかがいします。

問８．今後の就労希望は、次のどれにあたりますか（○は１つだけ）。

母　親 （問６で３または４に○をつけた方）	1．フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している 2．フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない 3．パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
父　親 （問７で３または４に○をつけた方）	1．フルタイムへの転換希望があり、そのために活動している 2．フルタイムへの転換希望はあるが、特に活動していない 3．パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4．パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

→ 問９（４ページ）へ

問６または問７で、お母さま またはお父さまのいずれかが「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」とお答えの方に、おうかがいします。

問９．今後の就労希望は次のどれにあたりますか（○はそれぞれ１つだけ）。
また、下記で「３．または４．（パート・アルバイト等で就労したい）」に○をつけた方は、希望する「就労日数」および「就労時間」についてもお答えください（かっこ内に数字で）。

母　親 （問6で５または６に○をつけた方）	1．フルタイムですぐに就労したい 2．フルタイムで数年後までには就労したい 3．パート・アルバイト等ですぐに就労したい 4．パート・アルバイト等で数年後までには就労したい 5．就労の予定はない（子育てや家事に専念したい、等）	(1)希望する就労日数 １週あたり（　　）日 (2)希望する就労時間（残業、通勤時間を含む） １日あたり（　　）時間
父　親 （問7で５または６に○をつけた方）	1．フルタイムですぐに就労したい 2．フルタイムで数年後までには就労したい 3．パート・アルバイト等ですぐに就労したい 4．パート・アルバイト等で数年後までには就労したい 5．就労の予定はない（子育てや家事に専念したい、等）	(1)希望する就労日数 １週あたり（　　）日 (2)希望する就労時間（残業、通勤時間を含む） １日あたり（　　）時間

→ 問 10（５ページ）へ

宛名のお子さんの「放課後の過ごし方」についてうかがいます。

すべての方におうかがいします。

問10. 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか（○はあてはまるものすべて）。
また、それぞれの場所の週あたりの日数をお答えください（かっこ内に数字で）。

（1）過ごしている場所（○はあてはまるものすべて）	（2）週あたりの日数（かっこ内に数字を記入）
1．自宅	週に（　　）日くらい
2．祖父母等の親族宅や友人・知人宅	週に（　　）日くらい
3．習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）	週に（　　）日くらい
4．児童館（児童館特例利用を含む）※1	週に（　　）日くらい
5．放課後子ども教室※2	週に（　　）日くらい
6．学童保育（民間学童保育を含む）※3	週に（　　）日くらい
7．あだち子育て応援隊・一時保育（ファミリー・サポート・センター、子育てホームサポート）	週に（　　）日くらい
8．その他（　　）	週に（　　）日くらい

※1「児童館特例利用（ランドセルで児童館）」とは、放課後に家庭が留守になる児童が、学校から帰宅せずに、直接児童館を利用することができる制度です（登録が必要です）。
※2「放課後子ども教室」とは、地域の方々の協力を得て、放課後に小学校の校庭や体育館、図書室などで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組みです。保護者の就労の有無に関わらず利用できます。学校により利用できる日、学年が異なります。
※3 足立区の事業として実施している「学童保育」とは、小学１年生から６年生の保護者が就労等により放課後お子さんを保育することができない家庭のお子さんを対象とした放課後の生活の場です。利用にあたっては、一定の利用料（6,000 円）がかかります。以下の①～③までのすべてを満たしていることが必要です（平成 29 年度現在）。
なお、民間学童保育の内容は施設ごとに異なります。
①週３日以上の就労等をしていること
②1 日４時間以上の就労等をしていること
③午後１時から午後５時までの１週間の就労等の合計額が 12 時間以上あること

問 10 で「6. 学童保育」とお答えの方に、おうかがいします。「6.」以外に○をつけた方は、問 10－5（7ページ）へお進みください。

問 10－1. 学童保育の現在の利用時間帯をお答えください。また、希望する利用時間帯をお答えください（かっこ内に数字）。
※時間は、24 時間制（例えば、17 時まで、18 時まで など）、30 分以上は切り上げ、30 分未満は切り捨て（例えば、16 時 15 分のときは 16 時、17 時 30 分のときは 18 時 など）でお答えください。

（1）現在の利用時間帯	下校時から（　　）時まで
（2）希望する利用時間帯	下校時から（　　）時まで

問 10 で「6. 学童保育」とお答えの方に、おうかがいします。

問10－2. 何年生まで学童保育を利用したいですか（かっこ内に数字で）。

利用希望学年	（　　）年生まで利用したい

問 10 で「6. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。

問 10－3. 宛名のお子さんについて、（1）土曜日に、（2）日曜日・祝日に、（3）夏休み・冬休みなどの学校長期休業中に、学童保育を利用したいと思いますか（それぞれ○は１つだけ）。また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください（かっこ内に数字で）。
※時間は、24 時間制（例えば、9 時から 17 時まで など）、30 分以上は切り上げ、30 分未満は切り捨て（例えば、9 時 15 分のときは 9 時、16 時 30 分のときは 17 時 など）でお答えください。
※これらの事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1．低学年（1～3年生）の間のみ利用したい
2．高学年（4～6年生）になっても利用したい
→ 利用したい時間帯（　　）時から（　　）時まで
3．利用する必要はない

（2）日曜日・祝日

1．低学年（1～3年生）の間のみ利用したい
2．高学年（4～6年生）になっても利用したい
→ 利用したい時間帯（　　）時から（　　）時まで
3．利用する必要はない

（3）夏休み・冬休みなどの学校長期休業中

1．低学年（1～3年生）の間のみ利用したい
2．高学年（4～6年生）になっても利用したい
→ 利用したい時間帯（　　）時から（　　）時まで
3．利用する必要はない

問 10 で「6. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。

問10－4. 学童保育室の設置場所について、どの範囲内にあれば学童保育室を利用しますか（○はひとつだけ）。

1．在籍している学校内にある場合のみ利用する
2．通学路に近い場所にある場合に利用する
3．通学路に関係なく、自宅に近い場所にあれば利用する
4．学校の学区域程度の範囲内にあれば利用する
5．徒歩で通える範囲内にあれば利用する。

→ 問 11（8ページ）へ

問 10 で「6. 学童保育」に○をつけなかった方（学童保育を利用していない方）にうかがいます。

問10−5. 学童保育を利用していない理由は、次のどれですか（○はあてはまるものすべて）。

1. 子どもだけで留守番しているため、利用する必要がない
2. 平日、父母が子どもをみているため、利用する必要がない
3. 平日、子どもの祖父母等の親族が子どもをみているため、利用する必要がない
4. 学童保育よりも児童館の方が良い
5. 子どもが習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）をしている
6. 利用したいが、学童保育に空きがない
7. 利用したいが、経済的な理由で学童保育を利用できない
8. 利用したいが、延長・夜間等の利用希望時間帯が合わない
9. 利用したいが、学童保育の質や場所など、納得できるものがない
10. その他（　　）

→ 問 11（8ページ）へ

問11. 最後に、足立区における子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。
調査にご協力いただき、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

ご投函締切：１１月２７日（月）

足立区
『教育・保育施設等の整備に関するニーズ調査』
『学童保育室の利用に関するニーズ調査』
調査結果報告書

平成３０年３月発行

発行　　足立区教育委員会
編集　　足立区数育委員会子ども家庭部子ども政策課
東京都足立区中央本町一丁目 17 番１号
電話　　03-3880-5795